

雷 ・ 雹 編

本県の雷雨の概要

最近の統計によれば、日本では、雷は関東地方の山地で最も多く発生し、次いで近畿地方などとなっている。また、近畿地方の過去10カ年（昭30～39）の6月から9月までの発生回数をみると、北東部と中部に最も多く、次いで京都府北部、兵庫県北部と南部の順となっている。本県では、特に伊吹山地付近を中心とした湖北地方に最も多く、湖南地方がこれに次いで多く、全体として近畿地方でも多い方である。

雷の発生回数を月別にみると、7月が最も多く、6月と8月がこれに次いでおり、4月から5月までの間と、9月にもや、多く発現している。時間的には夏の午後に多いのは周知のとおりであるが、夜中にもかなり起こっており、また、豪雨を伴うことが多い。

雷による被害は、比較的小規模のものであるが、時と所をとわず落雷し、場合によっては、全く瞬時のうちに感電死と火災の惨事をまねくことがあるので、昔から恐ろしいものの中に数えられている。

雷雨は、また、しばしば雹を伴うことがある。大正15年（1926）9月15日の湖東3郡を襲った雹は、代表的なもので、その大きさは桃の実大から鶏卵大のものがあつたと記録されており、農作物に与えた大きな被害の状況がうかがえるのである。

最近10カ年の彦根における月別雷電日数は、別表のとおりとなっている。

		月 別 雷 電 回 数 調					(彦根)						
年	月	5月	6月	7月	8月	9月	年	月	5月	6月	7月	8月	9月
昭31		—	3	8	2	—	昭37		1	—	2	6	1
32		—	1	5	4	—	38		—	3	6	6	—
33		—	2	5	4	5	39		2	1	4	—	5
34		—	4	4	4	3	40		1	3	6	2	—
35		—	1	6	8	6	計		6	20	51	41	24
36		2	2	5	5	4	平均		0.6	2.0	5.0	4.1	2.4

皇 極 天 皇 2 年 (643)

4月20日 (5.13)

西風吹きて雹ふる。天寒くして人綿袍3ツを着る。

4月25日 (5.18)

近江国雹ふる。其の大きさ径1寸。〔東浅井郡志（日本書紀）〕

承 平 5 年 (935)

3月6日 (4.11)

延暦寺、雷火。〔高野春秋編年輯録〕

天 仁 元 年 (1 1 0 8)

6月26日 (8 . 5)

比叡山に雹降る。〔中右記〕

大 治 2 年 (1 1 2 7)

4月10日 (5 . 22)

小雷鳴り、比叡山上に大氷雨降る。〔中右記〕

延 宝 2 年 (1 6 7 4)

6月13日 (7 . 16)

犬上郡池寺に長さ2尺、幅7寸、厚さ3寸の雹降る。前代未聞。〔愛知郡志 (森野記録) 〕

貞 享 3 年 (1 6 8 6)

2月23日 (3 . 17)

大雷、五畿内及び近江の内に落つこと、数を知らず。人多く死す。〔愛知郡志 (森野記録) 〕

閏3月1日 (4 . 23)

大雷所々に落つ。大霰。〔愛知郡志 (森野記録) 〕

元 禄 12 年 (1 6 9 9)

5月8日 (6 . 5)

7ツ時雷雹、大風吹き夕立。八幡山より上へ、蒲生・神崎の堺を吹通り大きくなり、氷降り、麦の類ことごとく吹破り、草木の青葉吹取る。前代未聞。〔愛知郡志 (森野記録) 〕

享 保 12 年 (1 7 2 7)

4月1日 (5 . 21)

近江、雹ふる。〔月堂見聞集〕

享 保 14 年 (1 7 2 9)

6月22日 (7 . 17)

近江・京都落雷。〔月堂見聞集〕

6月30日 (7 . 25)

6月26日ごろより7月6日まで、近江そのほか国々雷鳴甚だしく、死人もあり。〔月堂見聞集〕

7月3日 (7 . 28)

近江・京都落雷。〔月堂見聞集〕

明 和 8 年 (1 7 7 1)

3月27日 (5 . 11)

近江、雹ふる。〔気象史料綜覧〕

安 永 8 年 (1 7 7 9)

3月10日 (4 . 26)

五畿内大雨大雷、江州鏡山辺・石部・草津の間、大雹ふる。大きき茶椀のごとし。人馬損す。〔攝陽奇観〕

文 政 9 年 (1826)

6月3日 (7.7)

夜大雷、海津東町に落雷。〔高島郡誌〕

天 保 9 年 (1838)

7月5日 (8.24)

大雷雨、西浜村印内近傍に落雷。〔高島郡誌〕

天 保 12 年 (1841)

4月20日 (6.9)

7ツごろに今在家村の家、雷火に焼かる。〔愛知郡志 (平松山田記録) 〕

安 政 4 年 (1857)

6月21日 (8.10)

7ツごろに大夕立大雷。此の時字堂まえ文六田地と戒光寺田地の間溝中へ雷3ツばかりおちる。
〔愛知郡志 (平松山田記録) 〕

安 政 5 年 (1858)

6月23日 (8.2)

夜に大夕立、1ツ雷 一中略一 雷4ツ落つ。此のあとより見れば雷5ツ6ツのあとあり。

〔愛知郡志 (平松山田記録) 〕

慶 応 3 年 (1867)

7月15日 (8.14)

8ツ時に大夕立の雨ふり、雷落ち、中八木村の家1軒焼ける。〔愛知郡志 (平松山田記録) 〕

明 治 6 年 (1873)

4月20日

4ツ時に大雷にあられまじりの雨ふる。〔愛知郡志 (平松山田記録) 〕

明 治 29 年 (1896)

9月7日

早朝より大雷雨発生して、各地に大きな水害あり。(風水害編参照)

明 治 32 年 (1899)

5月12日

高島郡饗庭村、甲賀郡三雲村近傍の降雹は、あたかも冬期の雪のように銀世界をなした。大津市膳所近傍では、雹の大きさは梅の実大で、重さ5匁位、大雹の降下と烈風のため、麦や苗代にかなりの被害があった。

明 治 42 年 (1909)

5月20日

全県にわたって降雹があり、その被害は少なくなかった。各地の雹の大きさ、程度は次のようなものであったという。

野 洲 えんどう大

朽 木 直径2分

彦 根 直径4.5分

八 幡 小豆大

堅田 小豆大

木之本 小豆大

長浜 そら豆大

蒲生郡地方では1個の重さ10匁余で、屋根瓦を破損。

6月17日

この日の雷は、ほとんど県内全部にわたり、最も強烈であったのは湖南地方で、数箇所花落雷、野洲郡兵主村千葉神社境内の高さ数丈、周り9尺の杉3本が裂けた。

八日市地方に降雹あり、その大きさは直径7分位のものもあって、農作物、殊に葉煙草は損害甚だしく、中野、市辺両村における煙草の被害だけで約2,000円に達したという。

明治43年 (1910)

5月25日

この日県内いたる所に雷雨が発生し、日野地方においては、約5分間そら豆のような大きさの雹が降り、また、田圃に落雷があった。

明治44年 (1911)

8月13日

午後、神崎郡五峯村に落雷し、通行中の婦人と幼児が感電死した。

8月14日

東浅井郡大郷村民家に落雷し、老婦1人感電死した。犬上郡河瀬村、犬方、青波、神崎郡・甲賀郡の各所、蒲生郡市辺村などで落雷、民家を焼失した。

明治45年 (1912)
大正元年

4月19日

日本の各地、ことに中国、近畿地方、東海道にわたって猛烈な雷雨が発生し、強風に降雹が加わり、多大の被害があった。

滋賀・栗太郡地方 大豆大の降雹。

野洲郡 雷雨と降雹、南部での雹は径8分、重さ3匁に及ぶものあり、赤野井沖では漁船転覆。

甲賀郡 中部から南部にわたり小豆大の降雹、水口町で落雷。

蒲生郡 中部以西の地方に大豆大の降雹、苗代に損害をうけまき直した所もある。

神崎郡 小豆大の降雹、特に東部山岳地方では大豆大の降雹、山上村で落雷。

愛知郡 中部及び西部は小豆大、東部山岳地方は大豆大の降雹。

犬上郡 小豆大の降雹。

坂田郡 全部に降雹、北東部山地は甚だしく、大きさ白銅大のものが積もること2寸、菜種・麦類の被害甚大で、粃種のまき直しをした所もある。

東浅井郡 中央以西の平地に径2分の降雹。

伊香・高島郡 降雹なく、高島郡2箇所に落雷。

4月26日

午後湖西及び湖東・湖北地方に雷雨、滋賀・神崎・愛知の各郡に降雹があり、その大きさは次のようであった。

北小松 大豆大。

愛知川 径5分、重量2匁。

竜田 そら豆大。

長浜 小豆大。

坊 径5分。

大正3年(1914)

7月11日

早晩雷雨あり、南部地方に豪雨をもたらし、被害あり。(水害状況は風水害編参照)午後には栗太郡金勝村内に落雷し、住宅1棟全焼。甲賀郡佐山村内でも落雷あり1棟焼失。

7月25日

湖東及び湖南地方全部にわたる大雷雨で、栗太・甲賀・蒲生の諸郡には所どころ落雷あり。草津川尻の沖合で漁船に落雷し、1人即死、2人負傷。栗太郡治田村の民家1棟全焼。甲賀郡雲井村内の納屋1棟半焼。同郡岩根村内民家1棟全焼。

大正4年(1915)

8月22日

坂田郡東黒田村において民家に落雷、1人即死。東浅井郡大郷村で民家に落雷、大津市でも6箇所落雷。

大正5年(1916)

8月10日

本県全般にわたり近年稀有の雷雨があり、殊に滋賀郡南部・栗太・野洲・蒲生の平地及び伊香郡の平地が激甚で、所どころに落雷あり。雨は湖東地方及び南東部山岳地方に最も多く、80~100mmの雨量があった。主な落雷は、

蒲生郡苗村の民家1棟全焼。

野洲郡河西村で1人感電死。

坂田郡春照村で1人感電即死。

伊香郡北富永村で1棟全焼、その他各所。

9月8日

この日の雷雨は湖北地方と湖南及び湖東地方と2回あり、前者は弱かったが、後者は栗太郡北部・野洲郡東部地方及び八日市付近が最も強く、所どころに落雷があった。その被害状況は栗太郡葉山村大字出庭で1人感電即死。

野洲郡篠原村大字篠原で寺院の本堂庫裡など3棟焼失。

蒲生郡桐原村の民家1棟全焼。

神崎郡八日市町の民家の庭園に落雷、1人感電負傷、その他各所。

大正6年(1917)

この年は非常に雷雨日数の多い年であった。

5月2日

この日の雷雨は、湖東及び南東部山岳地方と湖北地方との2回あり、いずれも雷声強く、各所に降雹があった。

5月7日

雷雨は、湖東平地及び南東部山岳地方に発生し、湖南地方は雹が降った。

5月9日

県内各地に雷雨あり。湖西及び南東部地方に降雹。

5月18日

湖西・湖南及び南東部山岳地方に雷雨があり、殊に滋賀郡南部・栗太郡南西部地方が激しく、数箇所^ニに落雷があった。大津市では10分間程きんかん大の雹が降り、滋賀郡山岳地方・高島郡平地にも大豆大の降雹があった。

8月9日

この日は本県全般にわたる大雷雨で、特に湖南地方が激しく、落雷11箇所^ニに及ぶ。その被害の主なものは、

大津市近江物産会社工場1棟崩壊。

野洲郡中洲で納屋1棟全焼。

9月2日

南東部山岳地方に強雷、甲賀郡伴谷村の山中及び田園に落雷。

9月4日

東浅井郡朝日村の民家に落雷全焼。

9月8日

湖東愛知郡の平地最も強く、落雷あり。

9月25日

湖南の野洲・栗太郡の山岳地方が激甚で、甲賀郡土山町の神社に落雷全焼。その他2箇所^ニに落雷。

10月17日

東浅井郡下草野・小谷村に落雷。

10月19日

早暁と夕刻の2回あり、木之本駅付近及び神崎郡栗見村に落雷。

大正8年(1919)

3月19日

高島郡新儀村の田園・東浅井郡大郷村の電柱に落雷。愛知郡竜田・水口・草津一帯に降雹、大きき小豆大。

5月3日

愛知川付近に降雹あり、小豆大。

5月29日

愛知郡・神崎郡西部・東部一帯が雷雨最も強く、湖西地方・高島郡南部に降雹、えんどう大。神崎郡山上村の杉の木に落雷。

7月23日

高島郡南部・伊香郡南部より湖東平野並びに南東部山岳地方にかけて落雷数箇所。また、水口地方では小豆大の降雹を見た。当日の落雷箇所は次のとおり。

高島郡大溝町家屋(全焼)。

愛知郡稻枝村土蔵。

坂田郡柏原村杉の木。

伊香郡木之本町に出火事。

蒲生郡日野町田地藁600束(全焼)。

蒲生郡日野町家屋(佛壇破壊)。

蒲生郡小谷村居宅で1家2人感電死。

神崎郡八日市町製鉄工場と電柱。

甲賀郡土山町製茶工場。

7月24日

県内全般にわたり、強い雷雨が連続的に襲来し、特に高島郡北部地方、湖東の愛知・神崎・蒲生の中部地方が最も激烈で、高島郡白谷においては、そら豆大の雹も降った。当日の落雷は次のとおり。

愛知郡西押立村内の民家全焼。

蒲生郡武佐村内電柱付近の者3人感電負傷。

その他7箇所

7月25日

伊香郡中河内付近に強雷発生し、雨もまた強かった。

7月26日

甲賀郡土山町竹林と神社の森に落雷。

7月27日

湖南地方と北東部山岳地方に強雷あり。吉槻においては6時間にわたり、108mmの降雨があった。

7月28日

湖北地方に強雷雨あり、殊に坂田郡中部地方が最も強烈であった。落雷は次のとおり。

坂田郡六荘村内民家全焼。

坂田郡神照村内民家、1人感電負傷。

坂田郡西黒田村内民家。

8月26日

栗太郡老上村内民家に落雷、1人感電気絶。

8月27日

神崎郡南五箇所村内、その他1箇所に落雷。

9月2日

甲賀郡南部に小豆大の降雹を伴う強烈な雷雨があり、長野村内民家に落雷、家屋1棟及び陶器小屋3棟を焼く。

大正9年(1920)

5月9日

坂田郡醒井小学校内小屋に落雷し全焼。

6月1日

坂田郡金勝・葉山両村に直径6分大の降雹、麦作・菜種に多少被害があった。

7月3日

湖南沿岸地方に最も強烈な雷雨があり、栗太郡草津地方に小豆大の雹が降った。野洲郡三上村内、蒲生郡苗村内、神崎郡伊庭・栗見両村内に落雷。

7月29日

県内全般にわたり、連続的に襲来した雷雨は、湖東・湖南平地において最も強烈で、水口付近では大豆大の降雹があった。甲賀郡水口町、愛知郡内に3箇所、犬上郡甲良村内民家に落雷。

8月5日

湖西の湖岸地方において強雷あり、白谷では降雹を伴い、今津においては38分間に39mmの雨量を測った。また、伊吹山では大豆大の降雹を見た。

8月27日

犬上郡高宮町内の杉の木に落雷。

9月25日

蒲生郡玉緒村内民家に落雷、全焼。

大正10年(1921)

5月23日

この日の雷雨は、本年に入ってから初めての強雷雨で、南東部山岳地方を除くほか、ほとんど全県各地にわたり、殊に、湖東平地並びに今津地方が強烈であった。高島郡朽木村地方に直径6分5厘大の降雹があり、農作物の被害も少なくなかった。落雷は次のとおり。

蒲生郡平田村中羽田で農夫感電死。

神崎郡北五個所村民家1棟全焼。

5月27日

比良山付近に発雷した中雷雨で、堅田・野洲の両地方に雹が降った。

大正11年(1922)

8月2日

8月中、本県に起こった雷雨日数は13日で、そのうち落雷または豪雨を併発したのは、2日、3日、9日、10日及び12日であるが、とりわけ2日は近年稀れな大雷雨で、湖西比良山付近・南東部山岳地方・湖東平地及び湖北山東部地方が激しく、次の箇所に落雷があった。

彦根町内電柱・彦根中学校内樹木。

犬上郡福満村戸賀の民家2戸全焼。

愛知郡稲枝村内寺院。

甲賀郡伴谷村内民家(半焼)、ほか1カ所。

坂田郡伊吹村1合目付近、登山者1人感電即死。

滋賀郡・蒲生郡各1カ所。

8月9日

蒲生郡安土町内民家1棟全焼。

9月7日

次のような落雷被害があった。

愛知郡秦川村内田圃、藁100束焼失。

蒲生郡鏡山村内民家1棟全焼。

蒲生郡桜川村内民家屋根焼失。

甲賀郡長野町内神社境内の杉の木。

犬上郡西甲良村内小屋全焼。

犬上郡豊郷村内民家1棟全焼。

神崎郡北五個荘村内民家1棟全焼。

大正12年(1923)

4月12日

伊吹山で雷や、強く、大豆大の降雹、湖西今津付近は最も強く、彦根でも直径0.7cmの降雹があった。

7月13日

早暁大雷雨となり、湖東地方に落雷。

7月25日

滋賀郡石山村民家その他に落雷、1戸全焼。蒲生郡苗村の檜樹に落雷、1人即死、1人重傷。

8月19日

湖南地方に局発性雷雨が発現して大雨を伴い、大津市内数箇所^まに落雷し、多大の被害を及ぼした。

大正13年（1924）

5月24日

坂田郡長浜町・高島郡西庄村・同郡市場村・滋賀郡北小松村・東浅井郡虎姫町の各地に落雷。八幡・彦根の地方に大豆大の降雹があり、農作物に多少被害を及ぼした。

大正14年（1925）

3月12日

犬上・愛知・神崎・甲賀の各郡に強雷があり、彦根・愛知川・水口・木之本地方に大豆大の降雹があった。

5月21日

滋賀郡南部・大津市及び栗太郡の西部にそら豆大の降雹があった。

5月30日

野洲郡中洲村内に落雷、藁屋根およそ4坪焼失。草津町内に落雷、民家の屋根一部焼失。栗太郡老上村内民家に落雷、平屋建1棟全焼。甲賀郡北杣村内民家に落雷、1人感電して人事不省。甲賀郡土山地方にそら豆大の降雹あり、農作物に多少の被害を及ぼした。

7月10日

湖南大津地方雷雨。（風水害編参照）

7月11日

雷雨、各地に落雷あり、感電死者あり。

8月2日

県内全般にわたって10時ごろから連続的に発雷し、伊香郡木之本地方に大豆大の降雹があった。また、甲賀郡柏木村地方にそら豆大、梅の実大の雹が約30分間にわたって降り、同地方の畑作物、特に西瓜、甜瓜、茄子等は打ちくだかれ、稲の茎葉は折られた。また、軒燈はことごとくくだかれ、屋根瓦は破壊した。同村小学校では窓硝子200余枚が破壊された。同村農会の調査した被害は次のとおり。

田	130町5反	被害高	13,510円
畑	110町歩	"	1,100"
桑園	(3割以上減収)	"	160"

大正15年（1926）

7月26日

蒲生郡日野町内人家、神崎郡五峰村、能登川町内に落雷あり。

7月29日

高島郡広瀬村・神崎郡八日市町・蒲生郡武佐村・伊香郡木之本町の4箇所に落雷。

9月7日

高島郡安曇村内民家に落雷し、1名感電即死。東浅井郡虎姫町・神崎郡八日市町・蒲生郡中野村など数箇所に落雷。

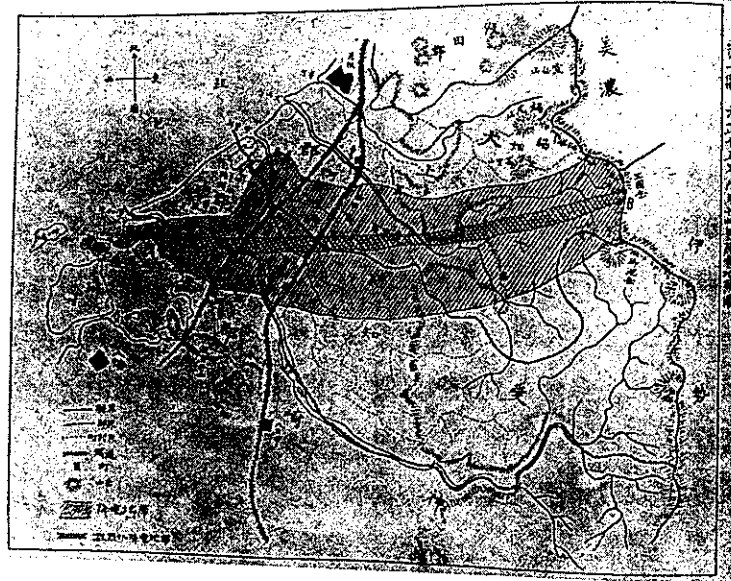
9月14日 一湖東三郡を襲った降雹一

前線の通過により雷雨が発生して降雹があった。降雹は神崎郡の湖岸栗見村から始まって東に向かい、八幡村・五峰村を通過して愛知郡中部地方の葉枝見村・秦川村を襲い、更に犬上郡南部の日夏・亀山・河瀬・東甲良・大瀧の各村を経て鈴鹿山脈を越え、岐阜県に入ってやんでいる。その地域は、帯状をなして東西に長く、約57km、南北に狭く、約7kmである。(付図参照)

特に降雹の激しかったのは、付図AよりBに至る地域で、神崎郡栗見村福堂より真一文字に東に走り、東甲良村池寺を経て大瀧村に入り、犬上川の流域に沿って三国岳に至る幅約300～500mの地帯である。この地帯では家を倒し、木を折る程度の強風が吹き荒み、雹も大きいのが激しく降って窓硝子を破り、農作物に全滅に近い被害を与えた。

附 図

大正15年9月14日
降雹地帯図



町村役場よりの報告によれば、雹の最も大きかったのは犬上郡豊郷村で、直径5cm位の楕円形で、次は神崎郡八幡村で、直径4.5cm位、その形状は円形・三角形などさまざまで「かち割り氷」のようであったと云う。愛知郡稲枝村で直径4.5cm、犬上郡亀山村では直径3.9cm、その重さは49gとある。被害状況は次のようであった。

神崎郡栗見荘村新宮東、稲作の被害甚大で5割減収。

八幡村小川・川南では、屋根飛び、窓硝子の破損多く、稲作半作、桑園は全滅、その他農作物被害大。

愛知郡葉枝見村、稲作皆無、窓硝子破損。

稲枝村、米作8割減。

愛知川町、小学校窓硝子6枚破損。

日枝村沢南部、稲作7割減収。

犬上郡亀山村安食中・楡方面、農作物の被害甚大。

＃ 西甲良村下之郷、まだ成熟しない穂先を打ち落とし、被害大。

＃ 東甲良村、桐その他繁葉樹の立木直径6～9cm、高さ4m位のもの約30本倒伏、草ぶき家1棟全壊。その他農作物の被害大。

昭和2年（1927）

5月7日

高島郡市場・滋賀郡石山・栗太郡草津・甲賀郡土山の各地方に小豆大の雹降る。

5月22日

犬上郡高宮町地先土田街道に落雷し、通行者1人感電即死。またこの日降雹あり、その区域は、高島郡北部から湖上北方を経て、東浅井・坂田両郡にわたり、雹の大きさは小豆大から梅実大であった。被害の甚だしかった地方は、東浅井郡大郷村付近で、苗代・桑園及び蔬菜等の被害高は、22,000円に上った。

7月11日

県内全域にわたって雷雨あり、次の各所に落雷した。

蒲生郡東桜谷村・同郡日野町ほか1カ所。 甲賀郡大野村内納屋他1カ所。

神崎郡山上村。

滋賀郡小松村。

野洲郡野洲町内。

7月31日

湖南・湖東の平地、湖東・湖北の山間地方に強烈な雷雨あり、次の各所に落雷し、愛知郡東部では小豆大の降雹があった。

栗太郡笠縫村内民家、家族3名感電し、人事不省。

甲賀郡水口町内民家、その他2カ所。

蒲生郡北比都佐村内民家1棟焼失。

同 郡市原村内1人感電即死。

同 郡玉緒村内民家、屋根を焼く。

神崎郡旭村内民家一部焼失。

昭和3年（1928）

9月2日、3日

高島郡新儀村内工場に落雷し焼失。同小学校、その他同村3箇所（1人感電し気絶）及び滋賀郡膳所町内工場に落雷。

昭和4年（1929）

7月25日

犬上郡亀山村内民家、少女1人感電即死。

蒲生郡中野村、通行中の人に感電し、半死の状態になる。

犬上郡亀山村地先を進行中の特急列車に落雷、一時停車。

8月27日

犬上郡高宮町内工場、同郡山村地先東海道線に落雷。

昭和 5 年 (1930)

7月2日

午前・午後の2回にわたって雷雨があり、次の各地に落雷した。

野洲郡玉津村内の田圃で除草中の農婦、感電即死。

大津市外粟津ヶ原。

東海道線石山駅。

甲賀郡土山町付近。

7月12日

午後比良山付近に発雷し、次の各所に落雷した。

野洲郡河西村内数箇所。

大津市長等公園内。

滋賀郡膳所町、石山町、堅田町4箇所。

7月19日

比叡山延暦寺根本中堂、その他数箇所に落雷。

7月20日

比叡山延暦寺無動寺谷不動明王堂に落雷し、堂宇を全焼、損害約10,000円。

7月22日

甲賀郡土山町付近の数箇所に落雷。

7月25日

蒲生郡日野町内数箇所・甲賀郡土山町周辺数箇所に落雷。

8月20日

東海道線彦根・米原間の自動信号機に落雷。

8月31日

愛知郡中部に落雷し、電燈・電話線に被害を及ぼした。

9月28日 一県下の北部四郡を襲った降雹一

この日、湖北・湖西及び湖東地方に猛烈な雷雨があり、稀有の大雹塊を降らせた。

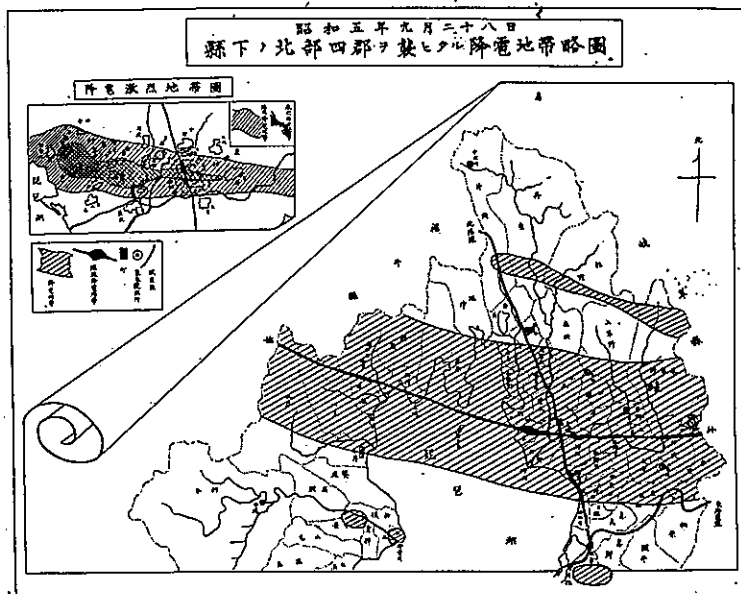
降雹は若狭湾に発生して、東南東に走り、福井県高浜・小浜及び熊川付近を経て本県に侵入した。降雹地帯略図に示すとおり、降雹の中心主軸は、高島郡三谷村の若狭境の山間部に出発し、それより進路を東南東にとって、海津付近より琵琶湖に入り、竹生島の北をかすめて東浅井郡朝日村海岸に上陸し、虎姫を横切り、伊吹山の南側を突破して、岐阜県揖斐郡に至る細長い帯状の地域である。その全延長は約182 kmに達し、幅は広い所で16 km、狭い所は1 km内外であった。しかし、雹の降ったという地域の面積はかなり広く、前記中心主軸の両側にまたがり、約16 kmの幅を有する区域で、本県における降雹地域の総面積は実に739 km²に達している。

雹の降り始めの時刻は、福井県若狭の熊川、及び三方観測所においては、午後1時30分～45分より観測し、本県では、高島郡白谷観測所では午後1時40分より、竹生島観測所で2時、坂田郡吉槻観測所では2時40分より、岐阜県岩井観測所では3時48分より観測している。降雹時間は2時間18分で、1時間に約61.8 kmの速度で東進したのである。

なお、雹の大きさや形について、各観測所の報告並びに目撃者の談話によれば、雹塊の最も大

きかったのは、東浅井郡竹生村安養寺付近でその直径は4.8cm、次いで大郷村の4.5cm、速水村の3.9cm、虎姫村の3.3cm、東浅井郡朝日村・坂田郡伊吹村・大原村及び高島郡西庄村では直径3cm以上のものが降ったという。また、雹塊の形は、不規則な球状をしたナフタリン大のものが大部分を占め、中には円錐形、多角形またはひょうたん形のものも混んでいたということである。

昭和5年9月28日(1930)
県下の北部四郡を襲った降雹地帯略図



被害状況

(郡名)	(被害の大きかった村)	(被害総額)
高島郡	海津村・西庄村・百瀬村・三谷村・広瀬村・本庄村	34,200円
伊香郡	古保利村・丹生村・片岡村・永原村	2,050 "
東浅井郡	下草野村・七尾村・湯田村・田根村・小谷村・虎姫村・速水村・朝日村・竹生村・大郷村	679,164 "
坂田郡	柏原村・春照村・伊吹村・大原村・北郷里村・神照村	20,600 "

昭和6年(1931)

6月18日

東浅井郡中部地方の所どころに落雷あり、同郡湯田村内の民家焼失。

7月9日

比叡山の横川中堂の本堂、栗太郡草津町内、滋賀郡雄琴村及び坂本村内数箇所に落雷。また、甲賀郡柏木村でも民家を全焼し、同郡伴谷村の並木にも落雷。

昭和 7 年 (1932)

9月3日

甲賀郡水口町付近に落雷、強雨を伴う。

9月25日

蒲生郡中部の武佐・桜川・市辺・平田の各村にわたり、15時前後に小豆大より大豆大の降雷があり、市辺村地方では早生、中生稲に多少被害があった。

昭和 8 年 (1933)

6月14日

蒲生郡北比都佐村内民家1棟全焼。同日野町内神社境内の樹木、甲賀郡佐山村、犬上郡彦根町、伊香郡伊香具村に落雷。

蒲生郡南比都佐村に降雷があり、その大きいのは鶏卵大、中位のもは梅実大、小さいのはそら豆大で、蔬菜類・水稻に被害があった。北比都佐村、西大路村でもかなり大粒の雷が降って農作物に被害があった。

6月28日

甲賀郡龍池村内民家(全焼)、同郡土山町内民家及び神社境内、蒲生郡日野町内民家に落雷があった。

7月22日

次の箇所に落雷があった。

坂田郡西黒田村内神社松林、約1反歩を焼失。

蒲生郡市原村内民家、全焼。同郡朝日野村の松樹。

東海道近江長岡一柏原間の電柱。

7月26日

次の各所に落雷あり。

大津市片原町電柱、付近の家屋延焼。同市長等山中老樹数本。

長浜町3箇所。

伊香郡木之本町民家及び付近村落の田圃数箇所。

8月24日

東浅井郡竹生村内民家に落雷全焼、作業中の者感電即死。甲賀郡南杣村、水口町付近に落雷。

8月27日

蒲生郡西大路村内、その他各地に落雷。

8月28日

甲賀郡北杣村、蒲生郡苗村、愛知郡秦川村、その他数箇所に落雷あり。

昭和 9 年 (1934)

5月28日

湖南の大津市・草津町付近を中心として強雷、強雨あり、そら豆大の雷が降って農作物に被害を及ぼしたほか、硝子窓を破損した所も少なくなかった。犬上郡にも降雷、落雷があった。

7月9日

甲賀郡土山町の電柱、犬上郡西甲良村の民家に落雷。

7月10日

昼前ごろから夕刻にかけて県下全般に近年^{まれ}稀な強い雷雨が連続的に襲来して、次の各所に落雷した。

甲賀郡水口町内。

蒲生郡八幡町内の電柱。中野村内民家、市辺村内の水田、玉緒村内の森林、桐原村内の民家（焼失）。

愛知郡西小椋村の老樹。

神崎郡伊庭村の民家（半焼）、建部村の田圃。

大津市外藤尾付近に数箇所。

八日市地方で電話線十数箇所。

宇治電の送電線（八日市一貴生川間の電車約1時間立往生）。

8月7日

草津町付近に落雷。甲賀郡多羅尾村では大豆大の降雹があった。

昭和10年（1935）

4月25日

伊吹山付近に大豆大の降雹があった。

5月21日

伊吹山及び東浅井郡下草野及び吉規の各地に大豆大の降雹があった。

6月28日

雷雨のため水害発生。（風水害編参照）

7月3日

神崎郡伊庭村の民家に落雷し、全焼。蒲生郡金田村の稲田、愛知郡愛知川町の村落に落雷。

7月17日

高島郡今津町の電柱。伊香郡内電柱数箇所。坂田郡長浜町内電柱、同町民家。蒲生郡市辺村及び愛知郡秦川村内に落雷。

昭和11年（1936）

8月16日

滋賀郡堅田町に落雷。石山、草津付近では小豆大の雹が降る。

9月1日

この日の雷雨は、正午過ぎから夕刻ごろにわたり、ほとんど県内全般に発雷した極めて勢力の強いものであった。はじめ12時30分ごろ比良山付近に発生し、各地に拡大した。特に、雷勢の強烈であったのは、湖南の滋賀・栗太・甲賀郡地方で、各地に落雷を起こした。落雷箇所及び被害の主なものは次のとおりである。

甲賀郡柏木村民家、1棟全焼。伴谷村民家3箇所、1棟全焼。水口町電燈線、その他数箇所。

大津市大津商業学校校舎。

滋賀郡伊香立村民家、全焼。その他数箇所。

9月14日

この日の雷雨は、湖東彦根地方において強烈を極め、彦根町役場・城山・専売局ほか5箇所、坂田郡鳥居本村及び犬上郡北青柳村の各地に落雷した。

昭和 12 年 (1937)

5月18日

東浅井郡吉槻・下草野・谷口・伊吹山方面で小豆大の降雹があった。

6月16日

この日の雷雨は、未明より夕刻にわたり前後3回発現し、次の各所に落雷があった。

甲賀郡柏木村内民家、全焼。

滋賀郡堅田町住宅2箇所。

高島郡今津町内民家、全焼。

坂田郡大原村内住宅、全焼。

蒲生郡八幡町数箇所。東桜谷村内数箇所。

7月8日

野洲郡野洲町付近に落雷し、大豆大の雹降る。

7月9日

比良山付近に発雷したものが、ほとんど県内全般に拡大し、次の箇所に落雷した。

栗太郡草津町内工場。

蒲生郡日野町内民家(全焼)。

高島郡今津町内2箇所。

彦根市野瀬町内民家(一部焼失)・同市平田町内工場。

7月23日

野洲郡地方を中心とした強雷で、次の箇所に落雷した。

野洲郡三上村内民家(全焼、1人重傷)。栗太郡笠縫村内民家(一部焼失)。

8月6日

比良山付近に強い雷雨が襲来し、水害発生。(風水害編参照)

8月23日

大津市付近に強い雷雨があり、数箇所に落雷。小豆大の雹降る。

8月31日

甲賀郡大原村、同郡寺庄村内に落雷。

昭和 13 年 (1938)

5月12日

伊香郡中河内において小豆大の雹が降る。

6月16日

滋賀郡葛川村坊において小豆大の雹が降る。

昭和 14 年 (1939)

5月2日

比良山西方に発雷し、滋賀郡中部地方を経て対岸野洲郡に達し、桐原村付近より東方に去った。特に、滋賀郡真野・伊香立・仰木・野洲郡北里・中洲・兵主の各村では、大豆大より直径1cmに

達する電を降らし、局部的であったが、麦類・菜種・れんげ及び蔬菜類、その他に総計 162,000 円余（農務課調）の被害があった。

8月22日

この日の雷雨は、未明より夕刻にわたり連続的に各地に襲来し、栗太郡老上村で民家に落雷して全焼した。

昭和 17 年 (1942)

8月2日

午後、滋賀郡伊香立村・和迩村の農家に落雷し、2戸を全半焼した。

昭和 22 年 (1947)

6月3日

滋賀郡北小松・比良地方で降電があり、麦・じゃがいも・そら豆など多大の被害を受けた。この日、比良山に登っていた京大生3人が降電にた、かれて遭難、中1人が死亡した。

昭和 23 年 (1948)

4月30日

正午過ぎから大津の空に、今年初めての雷鳴がとどろき、15時ごろ止んだが急に気温が低下、大きな電が降り出して市民を驚かせた。この電の大きさは直径 1.5 cm もあり、ちょうど退校時で家路を急ぐ生徒たちのさした番がさを貫通するほど、ものすごい降り方であった。その間5分。大津付近では花ざかりの菜種・そら豆・グリーンピース・苗代など相当大きな被害を受けた。

7月21日

彦根測候所の鉄塔に落雷し停電、電信不通となった。

7月24日

朝、長浜地方に大雷雨があった。

昭和 24 年 (1949)

4月21日

夕刻、伊香郡木之本・北富永・南富永七郷方面に雷雨とともに降電があった。大きさはくるみ大で、中心地木之本町千田・北富永では地上 5 cm も積もり、れんげの被害田は 5,000 反にのぼり、菜種や豆類の被害も大きく、北富永村では播種した苗代の粃種が 3.4 cm 位土中に埋没している所も見られた。坂田郡山東部にも、このころそら豆大の電が降り、菜種や麦作に被害を与え、満開の桜の花をた、き落とした。

昭和 25 年 (1950)

8月3日

この日の夜から4日朝にかけて湖北・湖東・湖南方面に雷鳴を伴う豪雨が来襲し、相当な水害と次の箇所に落雷があった。（風水害編参照）

甲南町野尻養福寺（半焼）。

犬上郡高宮町内電車架線上。

昭和 27 年 (1952)

7月27日

高島郡本庄村で野ら仕事中の農夫1人落雷のため即死。

昭和 28 年 (1953)

7月8日

午後、国鉄安土一能登川間信号機3本に落雷。神崎郡能登川町では高圧線に落雷のため停電。

8月14日～15日

甲賀郡多羅尾村で14日夜半から大雷雨になり「多羅尾集中豪雨」と呼ばれる大災害が発生した。

〔風水害編参照〕

昭和 30 年 (1955)

9月15日

大雷雨が発生し、次の各所に落雷した。

愛知郡愛知川町内民家、1人感電即死。

彦根市平田町内民家、屋根瓦破損。彦根市亀山小学校。

神崎郡能登川町内農家、屋根一部焼失。

昭和 31 年 (1956)

6月21日

12時30分ごろから13時30分ごろまでの間に、伊香郡余呉村柳ヶ瀬・丹生方面から木之本町東部・杉野・高時・高月町北部にかけて、雷鳴とともに小は直径2cmから大は直径10cmのサザエの殻のような大きさの雹が降り、余呉村内伊香高校の片岡農場、木之本町古橋付近では地面が白くなるほど積もり、木の小枝が折れ、屋根瓦を破られるなど、田畑の作物にも被害を生じた。また、次の各所に落雷があった。

余呉村国安内民家（柱が真二つに割れた）。

長浜市内寺院境内の松の木（真二つにさける）。

昭和 33 年 (1958)

4月14日

大津地方では、12時35分から約10分間雹が降り、名残りの花を散らせた。また、東浅井郡虎姫町・湖北町朝日・浅井町湯田各地区でも10時半ごろ、直径8～10mmの小豆大の雹が約20分間降り、滋賀郡木戸以北の堅田町葛川山間部では14時過ぎから約10分間大豆大の雹が降った。このため菜種・桑などに多少の被害があった。

6月18日

15時10分から約10分間、甲賀郡甲南町一帯にドロップ大の降雹があり、収穫期にあった麦・菜種をはじめ、蔬菜類その他農作物に大きな被害を与えた。

甲南町農業指導所で見積もった被害額は約155万円である。同時刻に多羅尾にも降雹があったが、軽微で被害はなかった。

8月2日

昼前から夜にかけて雷雨があり、各地に落雷した。雨量も50～80mmの大雨となった。

9月12日

本県南部地方に強い雷雨があった。

昭和 34 年 (1959)

4月5日

14時ごろ、約2～3分にわたって、大津地方に激しい雨を伴って、小豆大から大豆大の雹が降った。湖南地方に春雷がとどろいて人びとを驚かせた。

昭和 35 年 (1960)

7月4日

愛知郡秦荘町に落雷、また、長浜市内でも落雷により市内の一部は停電した。

7月22日

八日市市で近鉄電車に落雷。

7月27日

大津市付近に強い雷雨があり、市内の一部に落雷。(家屋浸水は風水害編参照)

昭和 36 年 (1961)

5月16日

大津・草津方面に雷雨があり、栗東町の国道1号線に落雷し、直径70cmと30cmの穴をあけ、また、通行者1人が失神した。

7月11日

湖北地方に雷雨があり、長浜市ヤンマー工場に落雷。長浜市石田町以東の配電線約40箇所の変圧器のヒューズが切れ、民家約200戸が停電した。大津市内にも落雷し、電柱が折れ、民家約16,000戸が停電した。近江八幡市内でも数箇所に落雷。

8月5日

彦根市高宮駅を発車した近江鉄道電車に落雷。近江長岡付近に激しい雷雨、落雷があった。

昭和 37 年 (1962)

8月14日

大津市の琵琶湖一帯は、13時ごろから約1時間にわたって強い雷雨があり、ヨット5隻が転覆。下坂本新唐崎沖、ヘルスセンター沖、近江舞子沖でも数隻のヨットが転覆した。また、15時ごろ、伊香・東浅井郡で電柱15箇所に落雷し、約1,500戸が停電した。

昭和 38 年 (1963)

7月22日

湖西地方は、15時ごろから激しい雷雨で、各地に落雷し、安曇川町では停電。

7月23日

15時過ぎから約3時間半にわたり激しい雷雨があり、大津市内では落雷や停電があった。このほか、今津・マキノ・新旭・高島・中主・野洲の一部7,000戸が停電、近江八幡市内でも激しい雷雨があり、各所に落雷した。

8月3日

草津市野路町内野小屋に落雷、雨宿りをしていた1人が即死。甲賀郡甲西町に落雷、木造ワラぶき1棟全焼。大津市馬場東町・草津市など湖南各地で落雷のため約10,000戸が停電した。

8月17日

朝7時ごろから9時ごろまでの間に、彦根市東栄町・芹橋町付近3箇所に落雷。

8月24日

湖北地方は正午過ぎから雷を伴った集中豪雨に見舞われ、坂田郡山東町内民家（木造草ふき1棟全焼）、その他各地に落雷があった。

昭和 39 年（1964）

6月15日

18時過ぎ、伊香郡の山間地帯では、雷鳴と突風を伴ったくるみ大の雹が降り、わずか10分ほどの間に水田、葉タバコ、果樹などに約1,000万円（余呉村役場産業課調）の被害があった。おもな被害地域は、余呉村今市・東野・新堂・池原・摺墨等である。

7月17日

14時ごろ、高島郡今津町に落雷し、民家を全焼した。

昭和 40 年（1965）

2月14日

2時ごろ、大津市一帯に雷を伴った強い雨が降り、石山寺付近に落雷、同市南郷町一帯の800戸が停電した。

7月27日

大津・草津市を中心にした湖南地方に雷雨があり、草津市の民家半焼、野洲郡守山町、大津市内民家などに落雷し停電、その他事故があった。

8月13日

県の中部・南部を中心に一時的に激しい雷雨があり、大津地方では雹が降り、送電線に落雷し約50,000戸が一時停電し、各私鉄のダイヤも乱れた。国鉄でも東海道線安土駅構内で架線に落雷し、列車の運行が乱れた。また愛知郡湖東町では、寺院の屋根に落雷し、木造ワラぶきの本堂を全焼した。

地 震 編

本県の地震の概要

日本は非常に地震の多い国で、有感地震は年平均約1,000回（気象庁刊、最近10ヵ年地震月報による）起こっており、毎日平均3～4回ぐらい、日本のどこかで人体に感じる地震が起こっていることになる。また、無感地震は年平均約10,000回で殆んど無数といってよいくらい起こっているのである。

本県の状況は、大正9年（1920）以降45年間の彦根における有感・無感地震の回数を別表に掲げたが、中震以上は11回、うち強震は2回、微震、軽震、弱震は毎年数回は起こっている。また無感地震は、多い年は昭和20年（1945）の944回、少ない年は大正10年（1921）の94回で、年平均約300回は起こっているのである。

過去の記録をあさり、本県で中震以上の地震を感じたと見られるものを拾いあげると、推古天皇7年（599）から明治中期までに26回、また、観測資料の整った明治26年（1893）以降今日までに12回を数えることができる。

これらのうち、次のものは県下に震源があり、甚大な震災を被っている。

文治元年（1185）	7月9日	琵琶湖中及び北西畔
正中2年（1325）	10月21日	近江北部
寛文2年（1662）	5月1日	琵琶湖西岸
明治42年（1909）	8月14日	姉川地震

また、震源は本県内ではないが、知り得る被害状況だけを取り上げて見ると、次のものが大きな被害を受けている。

正平13年（1585）	11月29日	畿内・東海・東山・北陸
慶長元年（1596）	閏7月13日	京都及び畿内
文政2年（1819）	6月12日	近江・伊勢
安政元年（1854）	6月15日	安政の大地震
明治24年（1891）	10月28日	濃美大地震
昭和19年（1944）	12月7日	東南海道大地震

気象庁震度階級の変遷概況

明治17～30年 1884～1897	明治31～40年 1898～1907	明治41年～昭和10年 1908～1935	昭和11～23年 1936～1948	昭和24年～ 1949～
	0. 微震 (感覚なし)	0. 無感覚地震 地震計にのみ感じた地震	無感：地震動を人身に感知出来ないもの、例えば戸障子等が動く音が聞こえあるいは電燈等の垂下物の動揺が目撃されても震動を直接身体に感じなければ有感とは云わない	0：無感(No Feeling) 人体に感じないで地震計に記録される程度 加速度0.8gal (cm/sec ²)以下
微震、Slight 僅に地震あるを覚えしもの	1. 微震	1. 微震 静止せる人若しくは地震に注意深き人の感じた極めて軽微なる地震なり	I. 微震： 静止している人や特に地震に注意深い人へのみ感じた程度の地震	I：微震(Slight) 静止している人や特に地震に注意深い人だけに感ずる程度の地震0.8～2.5gal.
弱震、Weak 震動を覚ゆるも戸外に避るに足らざるもの	2. 弱震 (震度弱き方)	2. 弱震(震度弱き方) 一般人に感せし程度の地震にして僅かに戸障子の動く音を聞く程度のものなり	II. 軽震： 一般の人に感ずる程度のもので戸障子の僅かに動く位の地震(従来弱震(弱き方)と呼ばれていたもの)	II. 軽震(Weak) 大ぜいの人に感ずる程度のもので戸障子がわずかに動くのがわかるぐらいの地震 2.5～8.0gal.
	3. 弱震	3. 弱震 家屋動揺戸障子鳴り振子時計止り垂下物動揺、液体の動揺等を目撃せし程度のものなり	III. 弱震： 家屋が動き戸障子が鳴動し電燈の様な吊下物や器内の水面の動くのが判る程度の地震	III：弱震(Rather Strong) 家屋がゆれ、戸障子がカタカタと鳴動し、電燈のようにつり下げ物は相当にゆれ、器内の水面の動くのがわかる程度の地震8.0～25.0gal.
強震、Strong 往々物品の倒伏液体の溢出等あり人々戸外に走り避るもの	4. 強震 (震度弱き方)	4. 強震(震度弱き方) 家屋烈しく動揺し座り悪き器物の倒伏液体の溢出等を目撃したるもの或は之れに相当するものなり	IV. 中震： 家屋の動揺が烈しく座りの悪い器物は倒れ器内の水は溢れ出る程度の地震(従来強震(弱き方)と呼ばれていたもの)	IV：中震(Strong) 家屋の動揺が激しく、すわりの悪い花びんなどは倒れ、器内の水はあふれ出る。また歩いている人にも感じられ、多くの人々は戸外に飛び出す程度の地震25.0～80.0gal.
烈震、Violent 屋宇を毀損若しくは倒伏し或は地面の変化を起すもの	5. 強震	5. 強震 壁に亀裂石碑石燈籠の顛倒煙突の破損等を目撃したるもの又は之に相当するものなり	V. 強震： 壁に割目が入り墓石、石燈籠が倒れたり煙突や土蔵も破損する程度の地震	V：強震(Very Strong) 壁に割目はいり、墓石、石どうろうが倒れたり、煙突、石垣などが破損する程度の地震 80.0～250.0gal.
(備考) 明治24年版「地震報告」震度分布図では烈震の上に劇震 Very Violent あり、ただし定義はない。	6. 烈震	6. 烈震 屋宇を倒し山嶽を崩壊し地割れを生じ断層を生ずる等地盤に大変動を生じたるものなり	VI. 烈震： 家屋が倒壊し山崩れが起り地割れを生ずる程度以上の地震	VI：烈震(Disastrous) 家屋の倒壊が30%以下で山くずれが起き、地割れを生じ、多くの人々は立っていることができない程度の地震 250.0～400.0gal.
				VII：激震(Very Disastrous) 家屋の倒壊が30%以上および山崩れ、地割れ、断層などを生ずる400.0gal. 以上

◇地震の規模 (M……マグニチュード) の解説

- M9以上の地震は地震観測が始まって以来起こったことがない。
 - M8½～9の地震は最大級の地震で世界を通じて10年に1度位しか起こらない。
 - M8以上の地震は第1級の大地震で内陸に起これば大被害、海底に起これば津波を生ずる。
 - M7～8の地震はかなりの大地震で内陸に起こると大被害を生ずることがある。海底に起これば津波を伴なう。
 - M6～7の地震は内陸に起こると(とくに震源が浅いとき)被害を生ずることがある。
 - M4～6程度の地震では被害を生ずることはほとんどない。われわれが時どき感じる地震は大部分この程度のものである。
 - M3～4程度の地震は震源地の近くで人体に感ずることがある。
 - M2以下の地震は高倍率の地震計によってのみ観測される。
- 本編中に示している地震の規模は、「本邦被害地震表(気象庁) 昭和37年12月1日」から採った。

◇地震震域図の解説

安政5年(1858)までの震域図は、「琵琶湖付近に於ける地震帯の調査(彦根測候所長・技師簡井百平著)」に記載されているもので、次の区分で表わす。

× 震央地 ⊕ 弱震 ⊗ 強震 ⊙ 烈震

明治32年(1899)3月7日・明治42年(1909)8月14日の地域図は、「中央気象台地震報告」により次の区内で表わす。

× 震央地 ● 微震 ⊕ 弱震 ⊗ 強震
 ● 烈震

その他、図表中にアラビア数字で示しているものは現行の気象庁震度階級を表わす。

彦根における地震回数表

年	震度	有感							合計	無感
		I	II	III	IV	V	VI	VII		
大正 9年	1920	6	—	—	—	—	—	—	6	112
10	1921	3	—	—	—	—	—	—	3	94
11	1922	3	—	1	—	—	—	—	4	107
12	1923	30	9	—	1	—	—	—	40	427
13	1924	6	3	—	—	—	—	—	9	193
14	1925	17	2	2	—	—	—	—	21	140
昭和 元年	1926	10	—	—	—	—	—	—	10	105
2	1927	28	2	1	1	—	—	—	32	384
3	1928	8	—	—	—	—	—	—	8	192
4	1929	5	—	—	—	—	—	—	5	153
5	1930	11	1	1	—	—	—	—	13	371
6	1931	25	2	—	—	—	—	—	27	250
7	1932	5	—	—	—	—	—	—	5	225
8	1933	5	1	—	—	—	—	—	6	278
9	1934	7	—	—	1	—	—	—	8	239
10	1935	11	1	—	—	—	—	—	12	308
11	1936	11	—	—	1	—	—	—	12	218
12	1937	4	1	—	—	—	—	—	5	240
13	1938	12	—	—	1	—	—	—	13	470
14	1939	—	1	—	—	—	—	—	1	246
15	1940	3	3	—	—	—	—	—	6	209
16	1941	3	3	—	—	—	—	—	6	268
17	1942	4	2	—	—	—	—	—	6	277
18	1943	8	7	2	1	—	—	—	18	840
19	1944	7	8	2	—	1	—	—	18	610
20	1945	9	15	3	—	—	—	—	27	944
21	1946	5	5	1	—	1	—	—	12	354
22	1947	8	4	—	—	—	—	—	12	397
23	1948	8	3	1	1	—	—	—	13	549
24	1949	5	4	1	—	—	—	—	10	247
25	1950	3	1	2	—	—	—	—	6	190
26	1951	—	1	—	—	—	—	—	1	280
27	1952	6	1	1	1	—	—	—	9	366
28	1953	—	—	1	—	—	—	—	1	311

年	震 度	有 感							合 計	無 感
		I	II	III	IV	V	VI	VII		
昭 和 29 年	1954	2	—	—	—	—	—	—	2	334
30	1955	4	1	—	—	—	—	—	5	401
31	1956	5	1	—	—	—	—	—	6	332
32	1957	2	1	—	—	—	—	—	3	358
33	1958	1	1	—	—	—	—	—	2	387
34	1959	—	2	—	—	—	—	—	2	328
35	1960	2	—	1	—	—	—	—	3	287
36	1961	2	1	1	—	—	—	—	4	533
37	1962	1	1	1	—	—	—	—	3	575
38	1963	5	4	—	1	—	—	—	10	398
39	1964	2	1	1	—	—	—	—	4	489
40	1965	3	3	1	—	—	—	—	7	200

推 古 天 皇 7 年 (599)

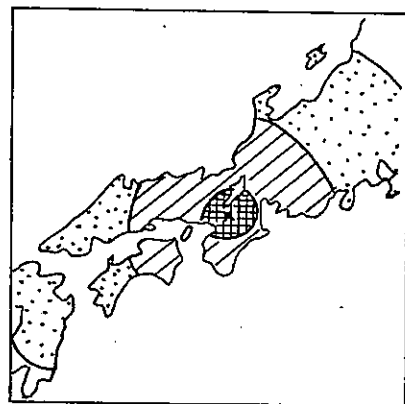
4月27日 (5.28)

大 和

規模 7.0

地動き、舎屋悉く破る。則ち四方に令して、地震の神を祭らしむ。〔日本書紀〕

推古天皇7年4月27日



和 銅 8 年 (715)
靈 龜 元 年

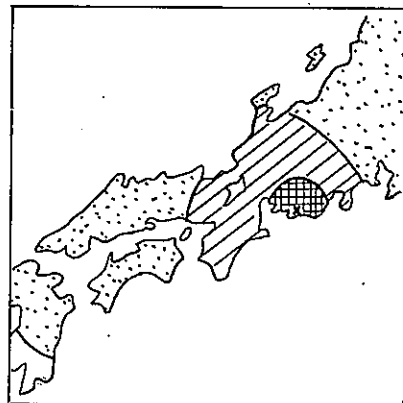
5月25日 (7.4)

遠 江

規模 6.4

遠江国、地震い、山崩れて麓玉河(天竜川)を壅ぐ。水これのために流れず。数十日を経て潰え、敷智・長下・石田3郡の民家170余区を没し、禾苗(稲苗)を損す。〔続日本紀〕

和銅8年5月25日
靈龜元年



天 平 6 年 (734)

4月7日 (5.18)

近 畿

規模 7.0

畿内七道諸国、地大いに震い、山崩れ、地裂け、圧死者多し。〔地震史料〕

天平 17 年 (745)

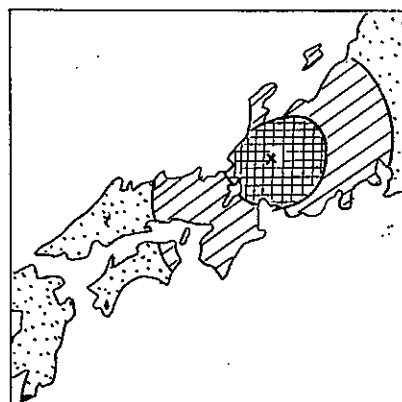
天平17年4月27日

4月27日 (6.5)

美濃

規模 7.9

美濃・摂津兩國、地大いに震う。美濃最も甚だしく、櫓館・正倉・仏寺・堂塔・百姓廬舎多く倒壊す。余震月を越えて止まず。〔地震史料〕



貞観 10 年 (868)

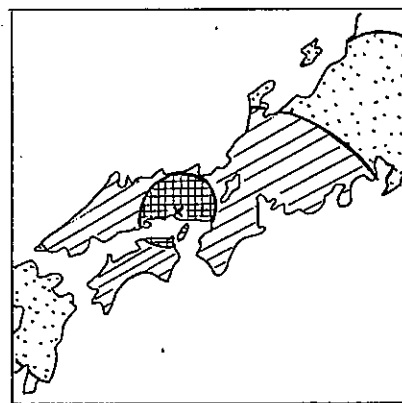
貞観10年7月8日

7月8日 (8.3)

播磨及び近畿諸国

規模 7.1

播磨・山城2国、地大いに震い、官舎、寺堂の倒壊おびただし。〔地震史料〕



仁和 3 年 (887)

7月30日 (8.26)

五畿七道

規模 8.6

五畿七道諸国、地大いに震う。京都東西両京の廬舎顛倒し、^{ろしやてんとう}圧死せるもの多し。近海の地、津浪襲来し、^{なみづく}就中、摂津害を被ること最も甚だし。余震日を経れども止まず。〔地震史料〕

天延 4 年 (976)
貞元 元年

6月18日 (7.22)

山城・近江

規模 6.7

^{さるのこく}申刻、大地震あり。其の響雷の如し。宮城の諸司以下、所々の人家多く顛倒し、^{てんとう}圧死する者甚だ多し。近江の国府庁並びに雑屋30余棟顛倒す。崇福寺の諸堂、国分寺の大門、関寺の大佛等倒壊し、ために死傷せる者あり。〔東浅井郡志 (百鍊抄・扶桑略記)〕

嘉保 3 年 (1096)
永長 元年

11月24日 (12.17)

畿内・東南海道諸国

規模 8.4

畿内、地大いに震い、東大寺の巨鐘又落つ。伊勢、駿河は共に津波に襲われ、被害あり。余動日^{わた}を涉れり。〔地震史料〕

後に聞く、地震の間に、近江国勢多橋破れたり。〔中右記〕

承徳3年 (1099)

1月24日 (2.22)

京都・畿内

規模 6.4

京畿、地大いに震い、興福寺西金堂壊れ、大門倒る。〔地震史料〕

卯刻、地大いに震う。勢多橋壊落す。其の後近江国司隆宗国中に募財し、新橋を架す。〔栗太郡志〕

元暦2年 (1185)

7月9日 (8.13)

近江・山城 (琵琶湖中及び北西畔)

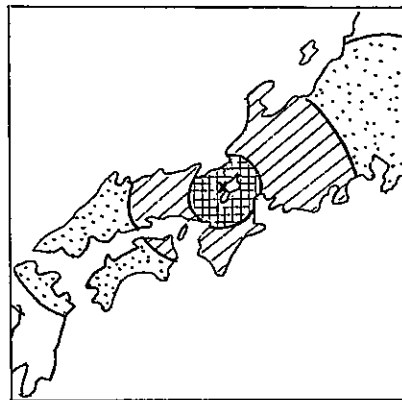
規模 7.4

山城・近江・美濃・伯耆諸国、地大いに震い、京都の地或いは^さ坼け或いは^{おちい}陥り、閑院の皇居・得長壽院・法勝寺の九重塔・阿彌陀堂・金堂・法成寺の廻廊等^{たいらく}頽落し、及び宇治橋墜落し、近江の湖水大いに減じ、傍近の田、陥落して深淵となれり。余動

9月に至りて止まず。〔地震史料〕

山槐記の告ぐる所に由れば、其の時近江の湖水北に流れ、水減ずること岸より或は4、5段、或は3、4段なりしも、後日に至りて旧の如く岸に満てり。同国の田3町ほど、地裂けて^あ淵となりしという。因りて^あ接するに、此の時北方の湖底に大裂罅を生じ、沿岸の陸地に大陥落を来たし、其の所に湖水が流入せしものと思わる。而して後2、3日を経て、満水の状態旧に復せしと言え、其の地裂若しくは陥落の、尋常一様の比に非ざりしことを推知すべし。〔東浅井郡志〕

文暦2年 7月9日
文治元年



大地震、山上坂本堂舎・塔廟、或いは傾き、或いは顛倒す。根本中堂北方に傾く。〔園太曆〕

正中2年 (1325)

10月21日 (12.5)

近江北部

規模 6.7

子刻、江北地方に大地震あり。荒地・中山崩れ、日吉社・八王子の神体^お墜つ。又竹生島の奥院^{くす}崩れて湖中に入りしという。〔東浅井郡志 (続史愚抄)〕

編者注：続史愚抄には10月22日とあるが、他の資料には21日とある。これに従う。中山は山中の誤りとも思われる。

元徳3年 (1331)

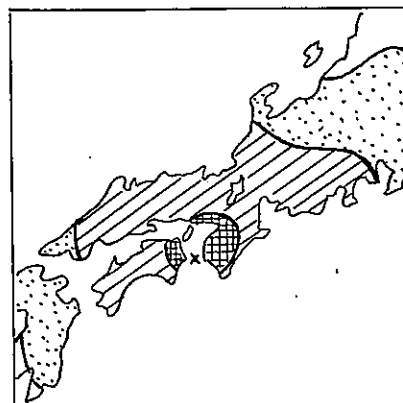
7月3日 (8.15)

紀伊国

規模 不明

諸国大地震、紀伊千里浜20余町、隆起して陸地となり、越えて7日富士山絶頂^{くす}崩ること100余丈なりしという。〔東浅井郡志〕

元徳3年 7月3日
元弘元年



正平 16 年 (1361)

正平16年 6月24日

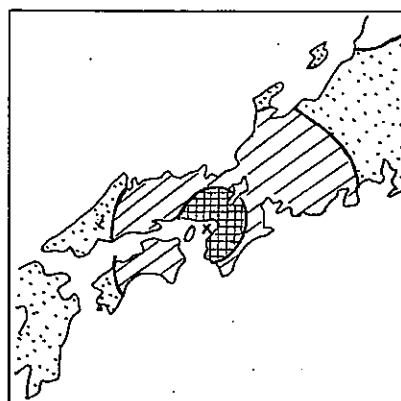
6月24日 (8.3)

畿内及び南海道の一部 規模 8.4

摂津・大和・紀伊・阿波・山城諸国の地大いに震い、摂津・阿波は津波に襲われた。〔地震史料〕

6月より11月まで早して五穀も悉く枯れ、大地震も日に2、3度宛止まず。江州湖も3丈6尺干て、様々の不思議あり。

〔神明鏡〕



永享 5 年 (1433)

1月24日 (2.23)

近江・伊勢 規模 不明

伊勢・近江2国、地大いに震う。この日京都も震えり。〔地震史料〕

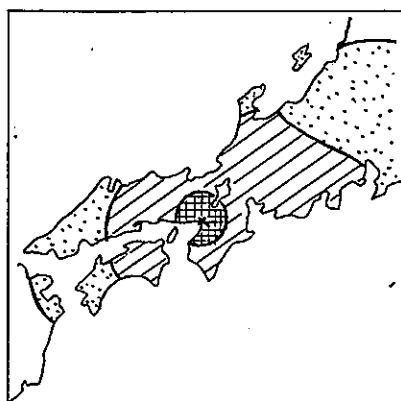
永正 7 年 (1510)

永正7年 8月8日

8月8日 (9.21)

河内・摂津 規模 6.7

畿内地震う。摂津国天王寺の石の鳥居揺り崩され、河内国丹南郡藤井寺の本堂潰る。浪速は高潮のため、人家損じたり。余震多くして70日余止まざりき。〔琵琶湖付近に於ける地震帯の調査〕



天正 13 年 (1585)

11月29日 (1586.1.18)

畿内・東海・東山・北陸 規模 7.9

越中木船城崩る。飛弾白川谷山崩れ死者数百。近江長浜・美濃大垣震火災。〔地震観測法〕

1,000戸の人家ある長浜に於いては、其の人家の半を顛覆し、半は出火のため焼滅しけり。

(日本西教史) 長浜城中の天守破壊し、寝殿倒壊し、城主山内一豊の幼女與禰君といえるもの、其の乳母と共に圧死せりという。(山内系図)〔東浅井郡志〕

12月7日

今日も又少し震えり。美濃・尾張・江州には、今度の大地震に人多く死す。〔多聞院日記〕

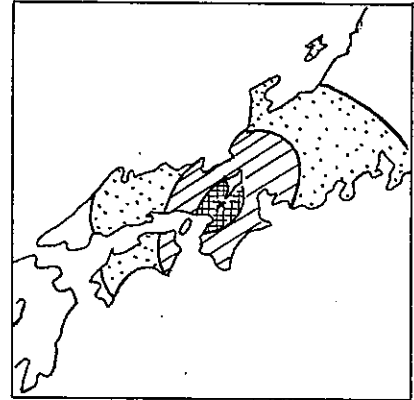
文禄 5 年 (1596)
慶長 元年

閏7月13日 (9.5)

京都及び畿内 規模 7.0

山城・摂津・和泉等の諸国、地大いに震い、就中、京都三条より伏見に至るまでは震害最も甚だしく、伏見城の天守大破し、石垣崩壊し、死傷頗る多し。〔地震史料〕

当村山手沙川破裂して、泥水湧出半月に及ぶ。人家多く損し、死人14人。〔栗太郡志(葉山村)〕



寛文2年(1662)

5月1日(6.16)

畿内・東海・東山諸道
(琵琶湖西岸)

規模 7.6

推古天皇7年よりこの年に至る1063年間に、近江国にて最も強烈猛威を逞たくましうした地震で、昼前(午前11時頃)突発した。その烈震区域は、近江・山城・大和・伊賀・伊勢・摂津・河内・丹波・若狭・越前・美濃及び尾張の諸国。震源地は比良山の東麓琵琶湖畔にあたる。〔琵琶湖付近に於ける地震帯の調査〕

井伊玄蕃頭領分江洲佐和山、地震強く、大分破損、城ゆがみ、石垣5~600間崩れ、櫓土崩れ、家1,000軒余壊れ、或いは破損し、死人30人余これあり。

分部若狭守領分江洲大溝、大地震、家数1,022軒壊れ、人30人余り相果つ。

朽木権之助領内朽木谷、地震甚だしく、朽木兵部入道立斎討殺され(他書には圧死とあり)、其の刻壊家より出火、近辺残らず焼失す。

本多下総守領知江洲膳所、地震強く、城ひづみ、石垣崩れ、所々破る。

水口御城中、櫓多門塀大破損し、永原御殿少々破損す。

〔地震史料(殿中日記)〕

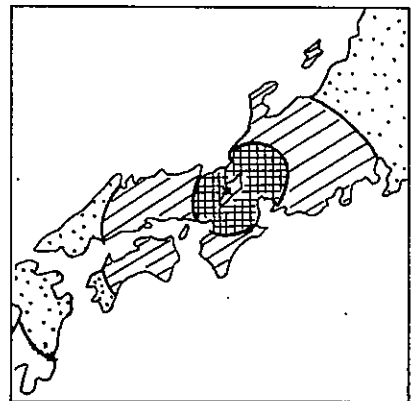
江洲大津小野惣左衛門の居宅、並びに町屋大分破損す。但し公儀御米倉は残らず壊る。

大溝、分部伊賀守家中の家悉く壊れ、漸く5軒相残る。町屋は300余軒の内20軒残る。領内の民屋すべて1,020軒余壊る。

志賀辛崎両所の内14,800石の内、田畑85町余ゆり込む。在家1,570軒壊る。これは小野宗左衛門御代官なり。

すべて近江一国内にて百姓の男女412人死す。牛馬93匹斃れ、堤2,200間余切る。志賀郡の内榎村には、家数50軒余ある所にて300余人死す。同所町居という所にも家数50軒余あり。ここにて300余ある人の内にて37人残り、その外は死骸も見えず。家とも皆々地の下になる。ここ朽木谷よりは2里南なり。ここの山割れ出て谷へ崩れ落ち、谷を埋め却って高き山となる。その高さ2町ばかりにして、長さ8町余つづきたり。右の人家はこの土の下に埋もれたり。〔地震史料〕

寛文2年5月1日



宝永4年(1707)

寛永4年10月4日

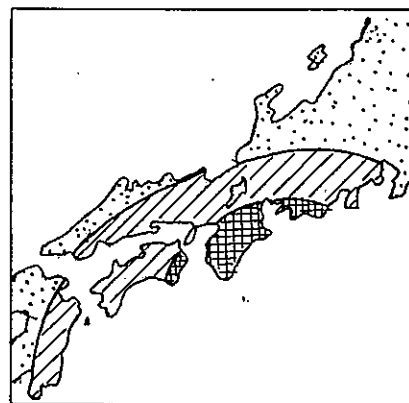
10月4日(10.28)

畿内・東海道・南海道及び東山・西海兩道の一部

(東南海道沖)

規模 8.4

五畿七道に亘り、地大いに震い、続いて九州の南東部より伊豆に至るまでの沿海の地はことごとく津浪の襲う所となり、其の余勢大阪湾・播磨・長門・周防に達し、大阪に非常なる災害を生じたり。震災地全部を通じ、壊家29,000戸、死者4,900人に及べり。〔地震史料〕



文政2年(1819)

6月12日(8.2)

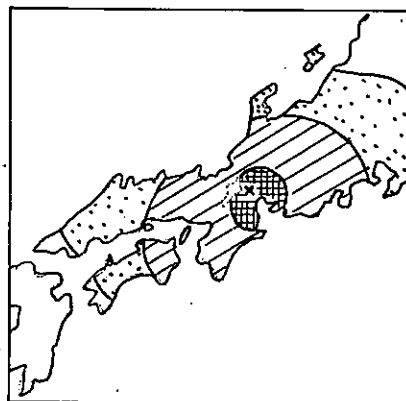
近江・伊勢

規模 7.4

伊勢、美濃、近江、大いに震い、伊勢湾・琵琶湖の沿岸震害特に甚だしく、倒壊家屋並びに死傷者少なからず。この日京都・金沢・安芸・信濃・飛弾もまた震い、金沢にては家屋の倒壊を生じたり。〔地震史料〕

未刻大地震。海津東浜・西浜の内土蔵壁の落ちしもの20軒ばかり。寺院の門、鐘楼のいざり、人家の廂落ちしものあり。酒波村西林2反ばかり、並木11本共にづれになり、下宮鳥居1尺ばかり位置を変ず。今津は、土蔵の壁落ちざるはなし。曹澤寺大破。大溝は被害最も甚だしく、土蔵倒れ、壊家あり。寺院は本堂・門等大破し、家中町屋損せざるなし。〔高島郡誌〕

文政2年6月12日



当村はもちろん、草津より東、柑子袋・針、北は八幡等、地大破損、古今未曾有なり。当村の人家多く破損し、山手沙川損す。〔栗太郡志(葉山村六地藏福生寺記録)〕

大地震、未の下刻、老人も覚えざる大変なり。当村は左程の荒もこれ無く候えども、蔵ひびわれ又は塀倒れ候もあり。川・井戸赤泥となる。川並村・石馬寺等は、山より岩石転び落つる夥しく、近辺にては市田村酒屋1軒、小幡車屋潰れ候。伊庭村は余程あれ申候。妙楽寺倒れ、即死4人、怪我人余程これ有り、他に倒家もあり。一中略一 誠に恐ろしき御事なり。50年このかたか様の地震は覚えずとの沙汰なり。〔神崎郡志稿(五個荘某氏記録)〕

文政7年(1824)

1月14日(2.13)

近江・京都

規模 不明

近江地震強し。京都・大阪・飛弾・信濃また震う。〔地震史料〕

辰下刻、大地震。それより日暮に及ぶまで震う事4度、夜に入り2度、実に未曾有の事どもなり。〔蒲生郡志(村角日記)〕

文政13年 (1830)
天保元年
7月2日 (8.19)

京都

規模 6.4

京都及び隣国地大いに震う。御所も破損あり、二条城大破し、京中の死者280人、傷者1,300人に達せり。大津においても壊家6戸あり、宇治川の堤防ことごとく損じたり。〔地震史料〕

総じて震動の激しかりしは、北は鞍馬より奥1,2里を境とし、東は伊勢亀山まで、西は近江国大津までにして、長さ約10里、幅8里なる楕円形の区域に止まれり。寛文2年及び慶長元年の兩大地震よりは遙かに狭少なる局部地震なり。

〔琵琶湖付近に於ける地震帯の調査〕

嘉永7年 (1854)
安政元年
6月15日 (7.9)

安政の大地震

伊賀・伊勢・大和・近江

規模 6.9

暁(2時)伊賀・伊勢・大和の諸国大地震。就中・伊賀西北部・大和東北小部・山城南東端・近江南部を包括する長さ約8里、幅約4里の区域は震害特に甚だしく、山崩れ・地割れ・土地の隆起・陥没等を生じたり。〔地震史料〕

震災地を通じて壊焼家屋5,000、死者1,352。〔地震観測法〕

近江国の被害

石場 燈籠、舟番所湖水へ倒れ込み、浜通り諸家米倉大破、北条町加州米倉より観音寺辺、尾花川辺、人家残らず壊れ死人多し。其の外三井寺辺の山より大石転び出て、田畑家居損じ候由。

膳所御城 高堀損じ、湖水へ落込み、城下町家壊家もこれ有り、怪我人もこれ有る由。

矢橋 湊口崩れ候由。

草津・石部辺 破損おびただしき由。

信楽 震い強く、家潰れ^{つぶ}死5,60人もこれ有る由なれど、山中ゆえたしかには知れず。

八幡 木部錦織寺辺壊家20軒ばかり、怪我人数多これ有り、傾きし家も多きよし。

西江州大溝・高島辺 同様の由なれど、軽き方。〔地震史料(北組総年寄の公告文)〕

11月4日・5日 (12.23~24)

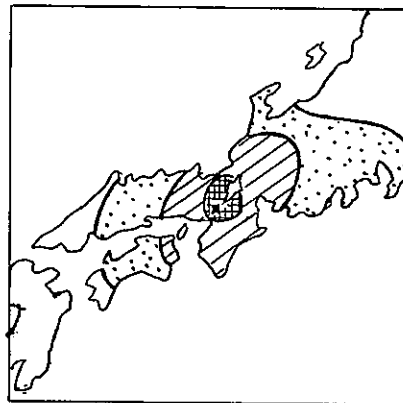
4日 東海・東山・南海諸道(東海道沖)

規模 8.4

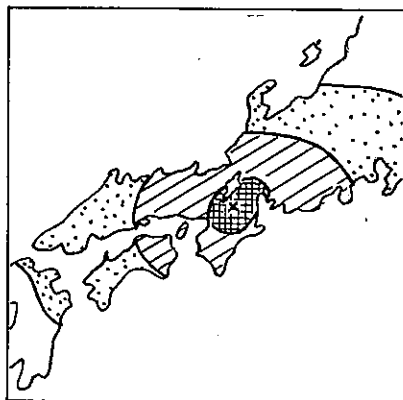
5日 伊勢より九州に及ぶ(南海道沖)

4日(午前9時頃)東海・東山・南海の諸道、地大いに震い、^{なかんづく}就中、震害の激烈なりし地域は、伊豆西北端より駿河の海岸に沿い、天龍川口付近に達する延長30里一帯にして、伊勢国津及び松阪付近、甲斐国甲府、信濃国松本付近も壊家やや多し。地震後房総半島沿岸より土佐湾に至るま

文政13年 7月2日
天保元年



嘉永7年 6月15日
安政元年



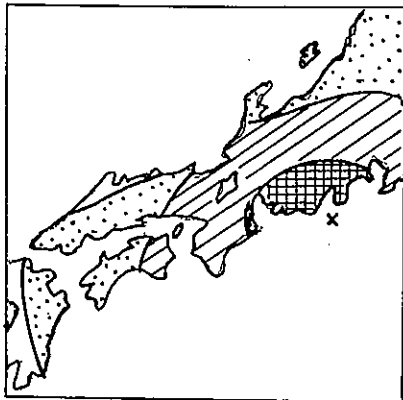
で津波の襲う所となり、特に伊豆国下田と志摩国及び熊野浦沿岸は被害甚大にして、下田の人家約900戸流亡せり。(中略)震災地を通じて倒壊及び流失家屋約8,300戸、焼失家屋600戸、圧死者約300人、流死約300人に及び。〔地震史料〕

翌5日(午後5時頃)、五畿七道にわたり地大いに震い、土佐・阿波の両国及び紀伊国南西部は特に被害甚大なり。(中略)震災地を通じて倒壊家屋10,000余戸、焼失6,000戸、津波のため流失したる家屋15,000戸、その他半壊40,000戸、死者3,000人、震火水災のための損失家屋60,000戸に達せり。〔地震史料〕

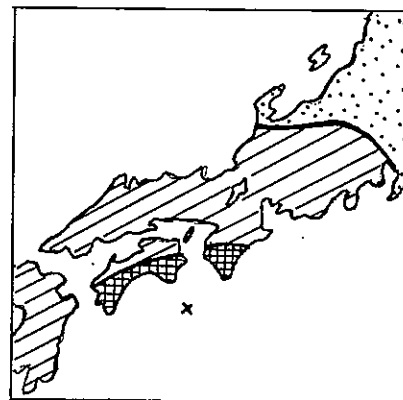
近江国の被害

膳所 4、5日の両地震にて本丸の湖水高堀2箇所、三の丸の水門建物1個、城山小門3個倒る。町村の家屋少し損じあり、往来には故障なく、死傷者なし。〔本多隠岐守届出書〕

安政元年11月4日



安政元年11月5日



安政5年(1858)

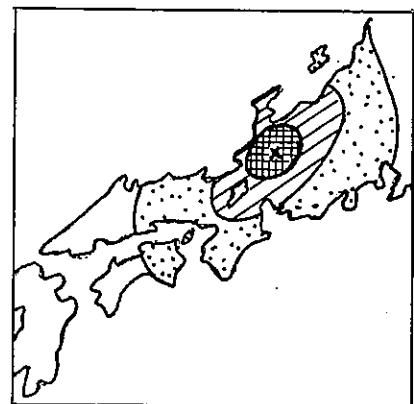
2月26日(4.9)

飛弾・越中・越前・加賀

規模 6.9

大いに震い、越前国阪井郡丸岡にては城内の邸宅に石垣の損じあり。城下町領内の各村には住家、寺院の全壊、半壊あり。〔琵琶湖付近に於ける地震帯調査〕

安政5年2月26日



明治24年(1891)

10月28日 午前6時37分頃 濃美大地震

震央地—美濃・尾張

規模 8.4

北緯 36.3°

東経 136.3°

美濃・尾張地方に発し、西は本州全土を覆い、九州・四国に波及し、北東は陸羽地方及び佐渡に達し、その面積15,750方里にわたり、地震により変状の最も甚だしかったのは美濃国大野・本巢両郡に跨る根尾谷近傍で、根尾谷断層を生じた。

震災地を通じて死者7,273人、負傷者17,175人、家屋全壊142,177戸、家屋半壊80,324戸、其

の他道路破裂、橋梁損落など多数あり。

本県の状況

震度一北東3分・劇震

南西7分・烈震

死者	6人
負傷者	47 "
家屋全壊	404戸
" 半壊	776 "
道路破裂	47ヵ所
橋梁損落	7 "
堤防崩壊	177 "
山崩れ	1 "

〔明治24年地震報告〕

明治32年 (1899)

3月7日 午前9時55分頃 大和の地震
 震央地一紀伊・大和 規模 7.6
 北緯 34.2°
 東経 136.0°

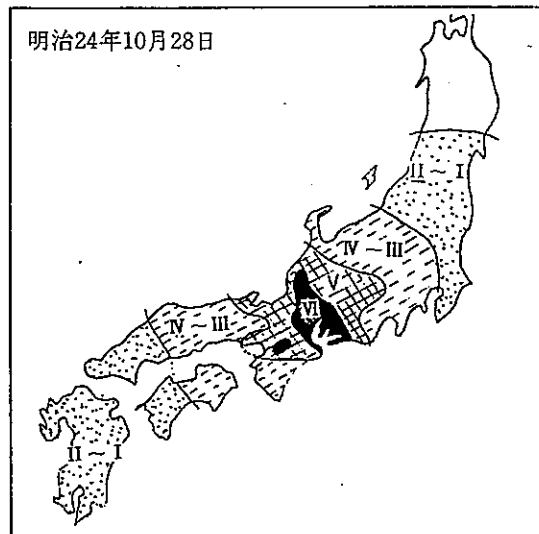
大和の北部から紀伊の東岸にわたって発生した烈震で、震域は非常に広く、震央地における被害は甚大で、奈良県吉野郡南部では山岳の崩壊、地面の亀裂などが甚だしかった。死者7人、全壊家屋35戸。

本県の状況

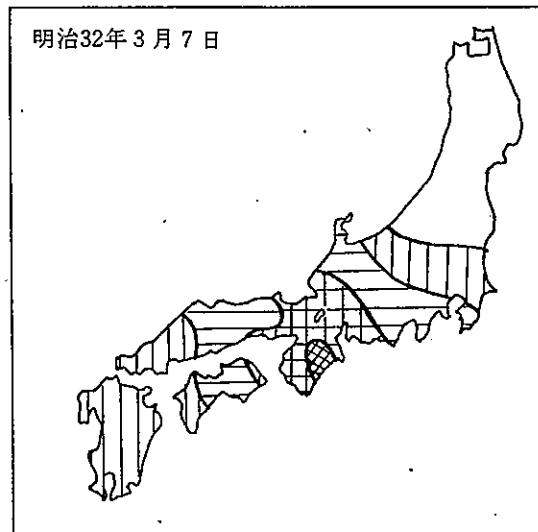
彦根一震度〔V〕強震

烈しい震動を感じ、とくに栗太郡葉山村、野洲郡比留田・三上・比江村、甲賀郡長野・小原村、蒲生郡八幡町、神崎郡龍田近傍、愛知郡角井村・稲村・稲枝村・葉枝見村、犬上郡彦根町等は強く、坂田郡に入って漸次衰えた。

濃美大地震



大和の地震



郡別建物被害表

種別	郡名	滋賀	栗太	野洲	甲賀	蒲生	神崎	愛知	犬上	坂田	東浅井	伊香	高島	計
住家	全壊	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
	半壊	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	2
	破損	—	34	—	1	25	36	—	53	—	—	—	—	149
非住家	全壊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	半壊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	破損	—	13	—	6	5	25	256	—	—	—	—	—	305
等学校工場	全壊	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	半壊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	破損	—	5	—	—	2	8	22	6	—	—	—	—	43

明治42年(1909)

8月14日 午後3時31分頃 姉川地震

震央地—姉川流域 規模 6.9

北緯 35.5°

東経 136.3°

琵琶湖の北東部姉川流域の沖積地の村々に大被害を与えたこの地震は、日本内陸に起こった近年の地震中最も顕著なもので、烈震部170方里、強震部4,680方里、弱震部4,450方里、これに有感・無感の微震部を合わせると、陸地の総面積16,690方里に達する。震央が東浅井郡北東部の東草野村の山脈下^{けんろう}にあり、この付近は土地堅牢で、住家等極めて少ないので、この方面の被害は極めて少なく、わずかに家屋の所どころが破損したくらいであった。しかし、震央地の南西1~2里を隔てた東浅井郡及び坂田郡の平野は、第四紀新層に属し、最も甚だしい震動を感じ、家屋の倒壊や死者をみたのは主としてこの区域で、その他の地方は余波を被ったに過ぎなかった。

岐阜県下においては、伊吹山の北麓春日谷方面が主であるが、それでもわずかに3、4戸の家屋が全壊しただけである。

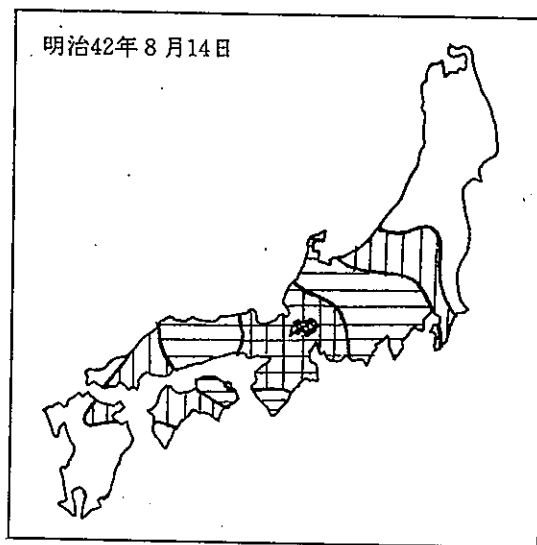
彦根—震度〔VI〕烈震

郡別被害表

(姉川地震報告)

種別 郡別	死傷者人			住家戸		非住家戸		記事
	即死	重傷	軽傷	全壊	半壊	全壊	半壊	
東浅井郡	34	112	490	892	2,164	1,144	3,557	建物の破損は郡全部にわたる。

姉川地震



種別 郡別	死者人			住家戸		非住家戸		記 事
	即死	重傷	軽傷	全壊	半壊	全壊	半壊	
坂田郡	1	—	23	73	170	45	43	建物の破損、壁の亀裂は郡全部にわたる。
伊香 "	—	3	10	5	大破 ⁵⁴ ₂₉	31	大破 ⁰⁶ ₁₉	壁の小亀裂、燈籠の顛倒等は全部に及ぶ。
犬上 "	—	—	5	2	4	—	—	壁の亀裂、燈籠の顛倒など所々にあり。殊に湖に近き平地に多し。
神崎 "	—	—	—	—	大破6	—	大破4	燈籠の倒れたるもの所々にあり。建物の破損、壁の亀裂等は主に湖に近き平地で山地は少ない。
愛知 "	—	—	—	—	—	—	1	燈籠の倒れたもの所々あり。壁の亀裂等は平地のみ。
高島 "	—	—	—	—	—	—	—	湖岸平地に壁の亀裂、燈籠の顛倒あり。
蒲生 "	—	—	—	平地では、軟弱な壁に亀裂あり、燈籠の倒れ易いものは下部より倒れ、大部分は頭部だけが落ちた。山地では所々に燈籠倒れる。				
野洲 "	—	—	—	軟弱な壁に小亀裂を生じた所がまれにあった。				
栗太 "	—	—	—	大字荒張の鳥居の石笠が落ちたが、その他には燈籠等の倒れたもの聞かず。				
滋賀 "	—	—	—	振り時計止まる。その他被害なし。				
甲賀 "	—	—	—	同 上				
合 計	35	115	528	972	2,367	1,220	3,620	
岐阜県	6	18	123	6	77	45	61	

○被害甚大地域の町村別内訳

地 域 別	死者	重傷者	全戸数	住 家		非 住 家 (土蔵を含む)	
				全 壊	半 壊	全 壊	半 壊
東浅井郡上草津村	人	人	戸	戸	戸	戸	戸
—	—	2	850	5	54	14	176
" 下草野村	2	2	441	37	197	24	264
" 七尾村	1	3	423	22	98	43	112
" 湯田村	1	9	812	159	319	209	827
" 田根村	2	3	628	53	260	96	372
" 小谷村	3	3	640	42	114	48	223
" 虎姫村	17	53	991	284	518	362	866
" 朝日村	1	2	802	12	29	24	87
" 竹生村	—	9	686	37	73	101	112
" 速水村	2	15	709	140	295	152	360
" 大郷村	5	11	1,223	101	207	71	158
計	34	112	8,205	892	2,164	1,144	3,557
坂田郡柏原村	—	—	137	—	—	1	—
" 春照村	—	—	481	3	7	3	3
" 伊吹村	—	—	422	1	2	1	1
" 大原村	—	—	700	4	12	11	2

地域別	死者	重傷者	全戸数	住家		非住家(土蔵を含む)	
				全壊	半壊	全壊	半壊
坂田郡入江村	—	—	141	—	4	3	—
" 法性寺村	—	—	264	—	—	—	1
" 六莊村	—	—	214	—	1	3	1
" 南郷里村	—	—	279	—	1	3	1
" 北郷里村	1	—	478	13	49	5	10
" 神照村	—	—	1,082	28	38	7	22
" 長浜町	—	—	1,853	24	56	10	2
計	1	—	6,193	73	170	47	43
伊香郡余呉村	—	1	—	—	—	—	—
" 高時村	—	—	289	—	3	—	9
" 北富永村	—	—	361	—	2	2	14
" 南富永村	—	1	532	—	15	10	17
" 古保利村	—	—	403	—	22	7	19
" 七郷村	—	1	404	—	24	2	30
" 永原村	—	—	806	—	—	3	10
" 木之本村	—	—	999	5	496	7	4
" 伊香具村	—	—	157	—	—	—	2
" 塩津村	—	—	555	—	9	—	20
計	—	3	4,506	5	571	31	125

○死者原因別

滋賀県	35人	{	壊家による圧死	34人
			石燈籠による圧死	1 "
岐阜県	6人	{	岩石・土砂による圧死	5 "
			石燈籠による圧死	1 "

○家屋全壊率20%以上の村落(全壊家屋数を、その村落全体の家屋数で除したもの)

下草野村醍醐	35%	田根村野田	35%
湯田村山の前	58%	虎姫村宮部	33%
小谷村留目	48%	虎姫村大寺	62%
虎姫村三川	33%	虎姫村小桜	33%
虎姫村田村	31%	速水村高田	33%
速水村馬渡	37%		
速水村今村	63%		
湯田村尊勝寺	83%		

地 変

山岳崩壊

伊吹山は、大地震と同時に砂塵をあげて崩壊し、一時は山頂を望見することができなかったが、崩壊した坪数は僅かに4,800余坪であった。

土地の亀裂

滋賀県における土地の亀裂は、道路堤防等に生じたもののみで、その方向も一定せず、長さも2、30間に及んだものは少ない。

その主なものは、姉川尻において幅10数間湖中にすべった所や、虎姫村を通る北陸街道に、長さ20間、幅2寸位の地割等。

水脈の変動

東浅井・坂田・伊香・犬上の4郡は、河川の各水源地は概ね増水し、その時日も長いのは1週間を越え、井水は渴潤相半ばした。しかし、堀井の影響を受けたのは激震部のみで、堀抜井（金棒井）は彦根付近のものも異変を呈した。また姉川尻の三角州地に大小6個の噴水あり、噴水口はいづれも皿状窪地で、その大きいものは直径9尺に及んだ。

○芹川の水源地河内の洞穴より出水著しく増加したため、1割5分増水した。

○姉川は本支流共に5割の増水。

○天野川はほとんど倍量に増水した。

○坂田郡柏原村大字須川では、大地震後8、9時間を経て、東方の山際より清水が湧出し、一時は幅1尺5寸位、深さ1尺余の川に溢れる程であった。

このように各河川が増水したため、地震前に早ばつで水論のあった地方も、災後はおのずから止んだ。

炊出し救助

東浅井郡	92カ所	自8月14日 至8月24日	給与人員	定人員 給与回数に対する延人員	35,860人 372,860人
坂田郡	4 "	自8月14日 至8月16日	給与延人員		674人

救護所

虎姫村五村	東本願寺別院	日赤患者収容所
田根村高畑		日赤救護所
虎姫駅前		本派本願寺救護所
湯田村尊勝寺		"
虎姫村中野		大谷派本願寺救護所
田根村高畑		"
各所		医師会東浅井支部救護所

○震災に伴う土木復旧工事表

区 分	県 費 支 弁			郡 町 村 費 支 弁		
	箇 所	延 長	金 額	箇 所	延 長	金 額
道 路	37	830 ^間	2,540 ^円	57	755 ^間	6,122 ^円
堤 防	68	4,418	8,562	50	250	2,500
橋 梁	3	6	139	2	6	500
用 悪 水 路				18	836	8,016

区 分	県 費 支 弁			郡 町 村 費 支 弁		
	箇 所	延 長	金 額	箇 所	延 長	金 額
樋 管		間	円	6	間	円
溜 池 堰				53		1,379
水 道 溜 池				7		2,584
						3,674

関 東 大 地 震

大 正 12 年 (1923)

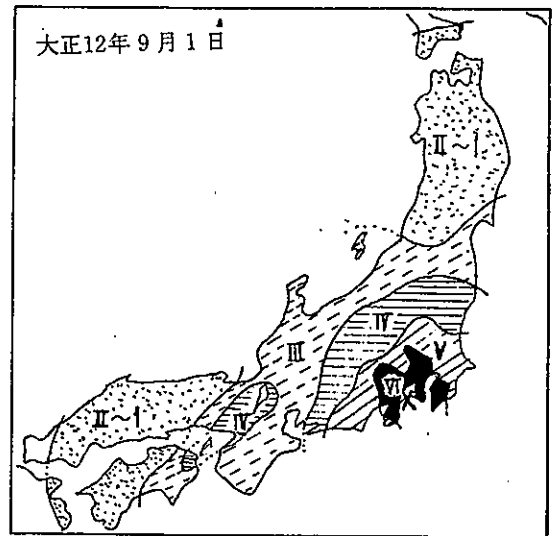
9月1日 午前11時58分頃 関東大地震

震央地—相模灘小田原沖 規模7.9

北緯 35.3°

東経 135.3°

関東地方を中心とする大地震で、震災の地域は極めて広く、東京・神奈川・静岡・千葉・埼玉・山梨・茨城の府県にわたり、殊に東京市と横浜市とは、震災に次ぐ大火災のため見る影もないまでに破壊され、その外の各地でも火災によって焼失した部分が少なくなかった。



家屋全壊	128,266戸	流 失	868戸	行方不明者	43,476人
半 壊	126,233 "	死 者	99,331人		
焼 失	447,128 "	負 傷 者	103,733 "		

本県の状況

彦根—震度〔IV〕強震（弱き方）

彦根測候所で大森式簡単微動計により観測したところによると、発震時は午前11時58分13秒5、その間に弱震程度の余震2回あり、地震動は緩慢であったが、家屋の動揺が烈しかったので、人々は大てい戸外に飛び出した。また所内の井戸水は東北東から西南西に振動し、溢水もかなり多く、振り時計はいずれも停止した。彦根市内では人畜に死傷なく、家屋にも記すべき被害はなかったが、所々に古い壁の落ちたものを見受けた。

昭 和 2 年 (1927)

3月7日 午後6時27分頃 北丹後地震

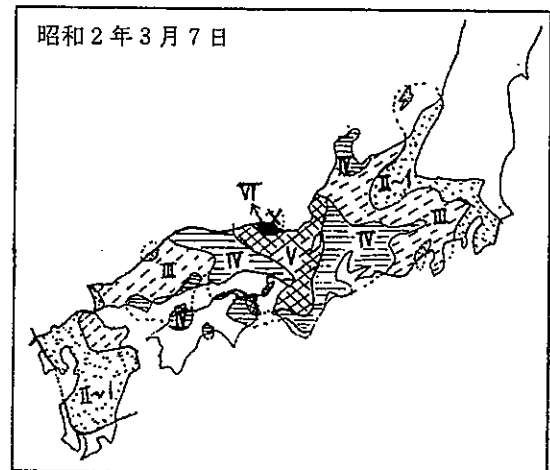
震央地—北丹後福田川流域 規模7.4

北緯 35.7°

東経 135.1°

この地震は、西は九州から、東は関東地方にわたって人体に感じた近年まれな激震で、与謝半島脛部一帯に被害が特に著しい。峰山町は、倒壊の上ほとんど全焼して、死者1,014人を出し、郷村及び山田に断層を生じた。

北 丹 後 地 震



住家全壊	4,986戸	全	焼	1,628戸	
全	焼	2,019	死	者	2,925人
非住家全壊	7,601	負	傷	者	多数

本県の状況

彦根—震度〔Ⅳ〕強震（弱い方）

彦根地方 発震数秒前から異様の地鳴りがあり、あたかも北西から南東に向かって急に暴風の襲来したような一種の音響を覚え、その直後に地震を感じた。家屋が烈しく動揺して人々は屋外に飛び出し、時計は止まり、電燈・電話線の切断、ガラスの破損、壁の亀裂など生じた所があった。

湖南地方 大津・下阪本・草津・野洲地方では、歩行に困難を感じ、震度は関東地震の時より遙かに大きく、壁に亀裂を生じ、棚の上の物が落ち、石燈籠の倒れた所もあった。唐崎松の護岸石垣約3間崩壊。

湖西地方 今津・白谷付近においては花瓶の水が溢れ出て、戸障子の倒れた所もあった。海津小学校石門折れる。

湖北地方 屋根瓦の落ちた所あり、木之本で2人負傷。

昭和8年10月1日の地震

昭和8年（1933）

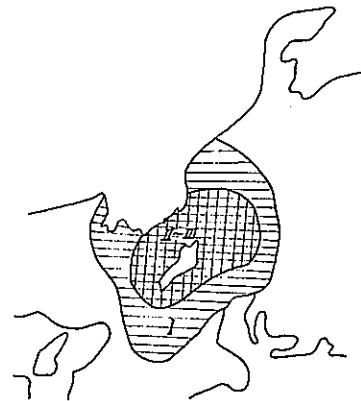
10月1日 午前11時21分頃

震央地—姉川下流域 規模 不明

北緯 35.8°

東経 136.4°

震央地付近で強震程度で、破壊的な地震ではなかったが、震央地が本県北東部姉川流域に当たり、明治42年8月の烈震と同一系統に属する地震帯に起こった断層地震と考えられる。



彦根での震度は〔Ⅲ〕弱震（弱い方）で、市場・石山・草津・水口などでも同様弱震を感じた。特記すべき被害はなかった。

昭和11年（1936）

2月21日 午前10時08分頃 河内大和地震

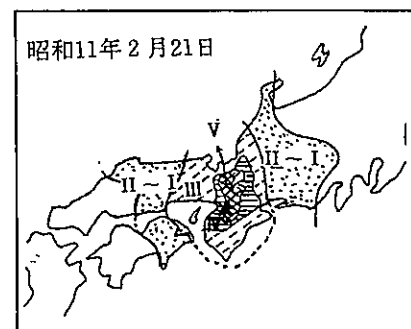
震央地—摂津・河内・大和 規模 6.4

北緯 34.5°

東経 135.7°

震央地は、大阪・奈良の府県境の二上山付近で、被害は大坂府南河内郡と奈良盆地とにあった。

河内大和地震



死者 19人 負傷者 59人

全半壊家屋 107戸

本県の状況

彦根—震度〔Ⅳ〕強震（弱い方）

性質やや急にして、家屋動揺し、人々戸外に飛び出す。

昭和 13 年 (1938)

1月12日 午前0時12分頃

震央地—紀伊田辺沖

規模 6.7

北緯 33.7°

東経 135.2°

震央地は、和歌山県田辺湾の西方約15km、日御崎から南南東約15kmの沖合に当たり、震源の深さは極めて浅く、せいぜい10km内外と推定される。近畿・中部・中国・四国及び九州にわたる非常な広範囲に人身感覚を生じた。被害は、主として和歌山県日高郡及び西牟婁郡沿岸地方で、屋根瓦の落下、家屋の破損、石燈籠の転倒などがあった。

本県の状況

彦根—震度〔IV〕中震

特記する被害はなかった。

昭和 18 年 (1943)

9月10日 午後5時37分頃 鳥取地震

震央地—鳥取県野坂川中流域

規模 7.4

北緯 35.5°

東経 134.2°

深さ 10km

東は前橋、西は熊本に至る広範囲にわたって有感であった。鳥取市及び近接村落に被害が多く、吉岡及び鹿野町付近に小断層を生じた。

死者 1,190人 重傷者 6,158人

家屋全壊 7,485戸 家屋半壊 6,158戸

” 全焼 254 ”

本県の状況

彦根—震度〔IV〕中震

風声のような地鳴りがあり、振り時計止まり、人々は戸外に飛び出す。井戸水の湧出量を増した所があった。

昭和 19 年 (1944)

12月7日 午後1時35分頃 東南海大地震

震央地—東南海道

規模 8.0

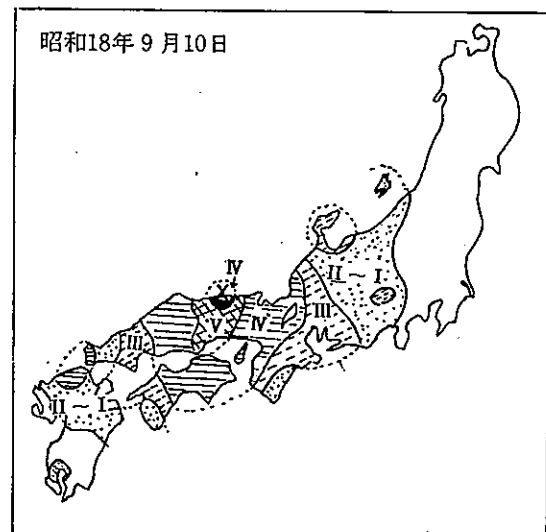
北緯 34.0°

東経 137.0°

深さ 20km

近畿・中部・四国・中国・九州・関東地方の全般から、東北地方の一部、北海道旭川で人体に

鳥取地震



感じ、熊野灘沿岸一帯に大津波を生じた。地震による直接の被害は、静岡・愛知・三重の3県が最も多い。

死者	998人	流失	3,059戸
負傷者	3,059 "	家屋全焼	11 "
家屋全壊	26,130戸	" 半壊	46,950 "

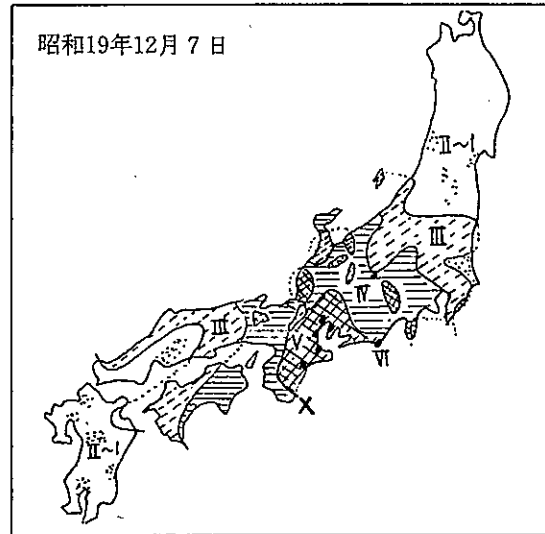
本県の状況

彦根—震度〔V〕強震

負傷者	1人	工場破損	2棟
家屋全壊	13戸	非住家全壊	3戸
" 半壊	20 "	" 半壊	13 "
工場全壊	3棟	煙突倒壊	数カ所

(警察調)

東南海大地震



昭和21年(1946)

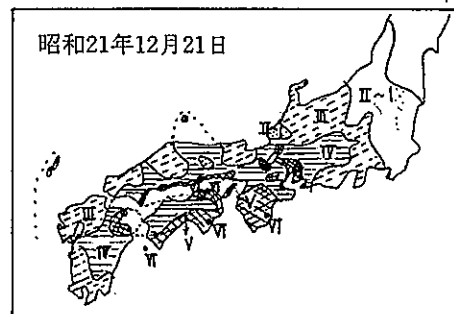
12月21日 04時19分頃 南海道地震

震央地—南海道沖

規模 8.1

北緯 33.0°
東経 135.6°
深さ 30km

震源は、潮岬沖の海底で、地変は西に延びて四国全体に及び、室戸岬は約1m隆起し、高知県の浦戸湾の奥や須崎では広範囲な沈降があった。大津波が和歌山・高知・徳島の3県の沿岸に襲来した。



南海道地震

死者	} 1,464人	非住家半壊	3,369戸
行方不明		流失家屋	2,109 "
負傷者	3,632 "	焼失家屋	2,602 "
住家全壊	10,392戸	家屋浸水	32,193 "
" 半壊	17,949 "	船舶流失半壊	2,991 "
非住家全壊	3,788 "		

本県の状況

彦根—震度〔V〕強震

彦根地方 死者2人、家屋全壊2戸、半壊3戸、納屋全壊1戸。
大津地方 家屋全壊1戸。

長浜地方 窓ガラスの破損、壁の落下、燈籠の倒壊などあり。電話線、電灯線の切断もあった。
その他の地方 堅田町で家屋全壊4戸、瀬田町で工場全壊1棟、八幡町で民家破損1戸、蒲生郡苗村神社の門倒壊、速野村水保で住家全壊1戸、死者1人、重傷者1人。

昭和 23 年 (1948)

福 井 地 震

6月28日 16時13分頃 福井地震

震央地—福井市付近

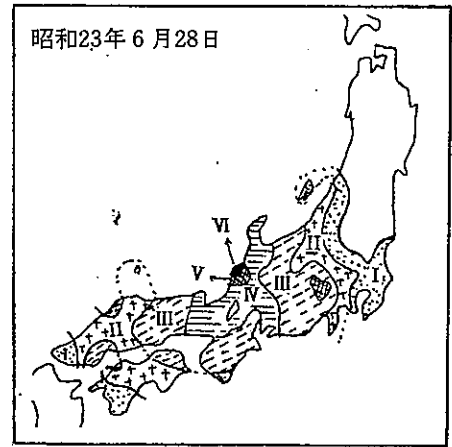
規模 7.3

北緯 36.1°

東経 136.3°

深さ 20km

越前平野全域に大被害を生じ、福井市丸岡町ほか所々に大火があった。特に被害の甚だしかったのは、九頭龍川流域の平野で、多数の地割れを生じた。



	死者人	傷者人	全壊戸	半壊戸	焼失戸
福 井 市	916	10,000	12,425	4,418	1,859
福 井 県	2,812	11,750	22,957	6,124	1,992
石 川 県	41	453	802	1,274	—

その他鉄道・道路・田畑・堤防・橋梁・港湾等の被害大。

本県の状況

彦根—震度〔IV〕中震

木之本・今津・竹生島・多羅尾—震度〔IV〕中震

彦根地方 民家全壊1戸、石燈籠の転倒あり。

近江八幡地方 時計が止まり、壁が落ち、ガラス戸の破損した所あり。

信楽地方 陶器の山が崩れた。

長浜地方 石燈籠が倒れ、壁の落ちた所あり。

伊香地方 棚の物が落ち、壁の落ちた所あり。

今津地方 塀が壊れ、壁の落ちた所あり。

昭和 27 年 (1952)

吉 野 地 震

7月18日 01時10分頃 吉野地震

震央地—奈良県北部

規模 7.0

北緯 34.4°

東経 135.8°

深さ 70km

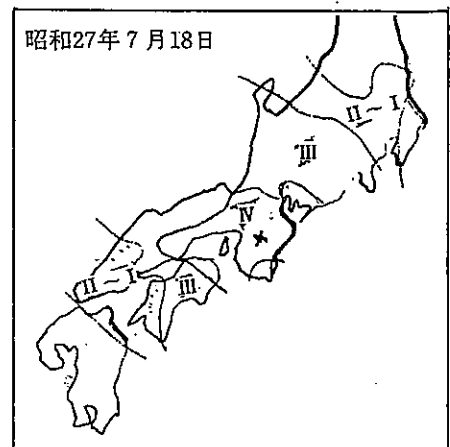
近畿・中部・中国・四国・関東地方及び大分・福岡県の一部で有感。吉野川流域に被害が多かった。

死 者	9人	住家半壊	26戸
負 傷 者	139 "	一部破損	278 "
住家全壊	20戸	非住家損壊	52 "

本県の状況

彦根—震度〔IV〕中震

死 者 1人 負 傷 者 13人



家屋全壊	6戸	非住家被害	4戸
" 半壊	6 "	道路損壊	3カ所
" 一部損壊	240 "		(警察調)

大津地方 家屋の表戸・塀・窓ガラスなどの破損多数、2階から飛びおりて負傷した者1人、その他負傷者1人。

栗太地方 家屋全壊3戸、重傷者1人。

八幡地方 八幡町の帝釋寺本堂倒壊、同町新町で石燈籠倒れ死亡者1人、重傷者1人、その他燈籠多数倒壊。

甲賀地方 信楽町で火鉢約1万個こわれ、石部小学校損壊。

彦根地方 真夜中のことで2階から飛びおり負傷した者あり。燈籠多数倒壊。

昭和 38 年 (1963)

3月27日 06時35分頃 越前岬沖地震

震央地—越前岬沖 規模 6.9

北緯 35.8°

東経 135.8°

深さ 20km

敦賀・豊岡などでは震度〔V〕強震、震源地に近い若狭湾、敦賀湾の沿岸で家屋の全壊5戸、半壊6戸などの被害があった。

本県の状況

彦根—震度〔IV〕中震

特記する被害はなかった。

資 料 編

災 害 統 計

- 主な火災の年表
- 年別火災統計
- 主要災害被害一覧
- 自衛隊災害派遣状況
- 建設省所管公共土木施設
 - 災害復旧費および国庫負担調
 - 災害復旧工事別箇所および工事費調
- 農地・農業用施設災害査定調
- 天災による農林漁業者に対する融資実績一覧

気 象

- 彦根の平均気温平年表 °C
 - " 最高気温平年表 °C
 - " 最低気温平年表 °C
 - " 月・旬別平年表 気温°C、日照時数 h 、降水量 mm
 - " 最高気温の極値 °C
 - " 最低気温の極値 °C
 - " 最小湿度の極値 %
 - " 最大風速の極値 m/s
 - " 最大瞬間風速の極値 m/s
 - " 10分間降水量の最大値 mm
 - " 1時間降水量の最大値 mm
 - " 日降水量の最大値 mm
 - " 積雪の深さの最大値 cm
 - " 月平均気温の最高値 °C
 - " 月平均気温の最低値 °C
 - " 月降水量の最大値 mm
 - " 月降水量の最小値 mm
 - 長期間（20日以上）降水のなかった日（彦根） mm
 - 観測所別最高気温の極値 °C
 - " 最低気温の極値 °C
 - " 日降水量の最大順位 mm
 - " 最深積雪 cm
 - " 年別最深積雪 cm
- 彦根の季節表

主 な 火 災 の 年 表

(明治元年以降)

火災年月日	焼失場所	焼失戸数または棟数及び施設名等	火災原因
明3(1870)3.11	永源寺町大字君ヶ畑	27戸, 50棟	カンテラの取扱不注意
" 4(1871)5.18	八日市市金屋町～八日市町	262戸(3寺, 1宮を含む)	(通称、八日市焼け)
" 5(1872)6.28	水口町大字水口	36戸	
" 11.11	長浜市片・南片・神戸・郡上・祝・北呉服・大手・東本・横・八幡・永保町など	全焼300戸, 半焼500戸	
" 6(1873)9.4	愛知川町大字川原	52戸	取灰不始末
" 8(1875)月日不詳	甲良町大字下之郷	132戸	
" 9(1876)3.18	伊吹村大字大久保	91戸, 負傷者4名	
" 5.6	余呉村大字柳ガ瀬	46戸	
" 8(日不詳)	米原町大字一色	20棟	
" 12(1879)12.5	伊吹村大字春照	21戸, 損害金5,000円	
" 13(1880)2.27	大津市膳所	刑務所6棟	
" 3.7	信楽町大字田代	31戸	
" 9.26	安曇川町大字上小川	34戸(藤樹書院類焼)	
" 14(1881)11.11	彦根市	23戸	
" 3.30	今津町大字中浜・南浜	70戸	中浜岸に停留の船から出火
" 7.2	余呉村柳ガ瀬	40戸	
月日不詳	信楽町大字田代	47戸 100棟	子どもの火遊び
" 17(1884)8.24	余呉村大字柳ガ瀬	43戸	
" 11.7	能登川町大字今	45戸, 協議所1棟, 土蔵3棟, 小屋12棟	
" 18(1885)5.13	米原町大字下丹生	40戸	
" 月日不詳	余呉村大字東野・今市	35戸	失火
" 19(1886)4.14	豊郷村大字大町	104戸	
" 11.19	志賀町大字北小松	30戸	放火
" 19(1886)12(日不詳)	彦根市八坂町	40戸	
" 21(1888)4.22	余呉村大字柳ガ瀬	35戸	
" 23(1890)3.23	余呉村大字柳ガ瀬	48戸	風呂場の不始末
" 6(日不詳)	朽木村大字市場	17戸40棟	
" 7.2	朽木村大字市場	23戸	
" 24(1891)3.2	山東町大字柏原	20戸, 負傷者6名	
" 4.23	西浅井村大字大浦	80戸	
" 6.11	守山町大字木浜	40戸	
" 25(1892)5.14	甲良町大字尼子	22戸	石灰の自然発火
月日不詳	伊吹村大字上板並	34戸	失火
" 28(1895)12.18	能登川町大字種	30戸45棟(社寺、会議所を含む)	取灰の不始末
" 29(1896)5.14	甲良町大字尼子	42棟	
" 30(1897)3.3	長浜市千草町	85戸	
" 31(1898)3.20	甲良町大字呉竹	70戸	
" 8.1	八日市市北町	18戸(警察署、旅館2を含む)	カンテラの取扱不注意
" 33(1900)5.8	多賀町萱原	32戸	
" 35(1902)4.15	伊吹村大字上板並	90戸	かまどの不始末

火災年月日	焼失場所	焼失戸数または棟数及び施設名等	火災原因
明35(1902) 7 . 3	大津市京町4丁目	大津地方裁判所本館	
" 8 . 25	余呉村大字池原	32戸	失火
" 36(1903) 8 . 25	余呉村大字池原	38戸	
" 37(1904) 3 . 29	新旭町大字岡	18戸34棟	
" 38(1905) 4 . 9	今津町大字日置前	32戸	
" 5 . 6	甲良町大字呉竹	72戸	取灰の不始末
" 39(1906) 6(日不詳)	志賀町大字北小松	130棟	
" 41(1908) 4 . 25	今津町大字梅原	21戸	
" 42(1909) 8 . 1	甲良町大字下之郷	22戸	取灰の不始末
" 45(1912) 6 . 12	木之本町大字広瀬	220戸	
大5(1916) 6 . 12	木之本町大字広瀬	全焼187戸217棟, 半焼4戸4棟	放火
" 6(1917) 4 . 26	余呉村大字柳が瀬	48戸	失火
" 7 . 20	今津町大字今津	26戸, 1名死亡	
" 12 . 28	守山町大字幸津川	32戸, 損害18万円	
" 9(1920) 5 . 29	余呉村大字東野	61戸	失火
" 13(1924) 4 . 1	西浅井村大字沓掛	23戸, 寺1	
" 15(1926) 6 . 17	伊吹村大字伊吹	35戸	失火
昭3(1928) 5 . 3	マキノ町大字沢	75戸180棟	取灰の不始末
" 8(1933) 月日不詳	今津町大字角川	20戸25棟	たき火の不始末
" 11(1936) 7 . 3	近江八幡市池田本町	桐原小学校4棟	漏電
" 15(1940) 5 . 20	余呉村大字小谷	39戸	放火
" 17(1942) 7 . 30	大津市坂本本町	延暦寺横川中堂	落雷
" 18(1943) 12 . 10	五箇荘町大字山本	小学校	
" 20(1945) 7 . 24	大津市石山	東レ滋賀工場	米機の投弾
" 7 . 27	彦根市西馬場町	近江絹糸紡績(株)女子寮	米機の投弾
" 21(1946) 4 . 26	八日市市	八日市高等学校本館	たばこの不始末
" 26(1951) 3 . 15	湖北町大字伊部	35戸	
" 6 . 3	彦根市西馬場町	近江絹糸紡績(株)23名圧死, 5名重傷	映写中のフィルム の引火
" 9 . 5	虎姫町大字五	102世帯, 死者2人, 傷者105人	
" 29(1954) 5 . 26	大津市	打出中学校校舎8棟, 1,131坪, 損害53,860千円	放火
" 6 . 25	大津市	打出中学校校舎1棟192坪, 損害7,300千円	
" 8 . 26	瀬田町	瀬田高等学校1,373坪, 傷者3人, 損害79,399千円	
" 12 . 16	豊郷村三つ池	21戸205坪, 傷者3人, 損害7,118千円	かまどの不始末
" 30(1955) 8 . 10	多賀町大字霊仙	22戸(1寺を含む)823坪, 損害25,000千円	堤灯の火
" 10 . 31	大津市馬場	大津高校校舎346,5坪, 損害10,082千円	放火
" 31(1956) 4 . 4	今津町伊井	29戸300坪, 傷者3人, 損害10,500千円	たき火
" 8 . 3	余呉村大字中河内	49戸1,338坪, 傷者18人, 損害56,275千円	
" 10 . 11	大津市坂本本町	延暦寺大講堂307坪, 傷者3人, 損害1,000,000千円	
" 33(1958) 12 . 25	大津市	県教育会館563坪, 25,028千円	炭火
" 36(1961) 1 . 17	大津市	粟津中学校3313.7m ² , 26,975千円	
" 37(1962) 1 . 12	大津市南保町	中央小学校1232m ² , 10,387千円	
" 4 . 23	今津町	高島高等学校2219m ² , 傷者10人, 23,713千円	

火災年月日	焼失場所	焼失戸数または棟数及び施設名等	火災原因
昭37(1962)8.17	伊吹村	伊吹観光ホテル1712m ² , 傷者4人, 88,120千円	プロパン
" 38(1963)1.9	虎姫町	虎姫小学校2910m ² , 傷者15人, 69,390千円	取灰
" 1.21	大津市膳所上別保町	全焼21戸, 半焼1戸, 1221m ² , 30,800千円	倉庫への放火
" 39(1964)12.5	志賀町	比良ロッジ 746m ² , 43,168千円	ガスコンロ
" 40(1965)10.1	大津市京町3丁目	県庁別館1棟半焼, 死者3人, 傷者10人	配線の短絡

注 1. 滋賀県史・各郡志・県消防年報・市町村提出資料をもととして作成した。

2. 内容はおおむね、住家20戸以上、損害見込額1千万円以上の公共施設、あるいは当時社会的に注目されたとみられるものを掲げた。

年 別 火 災 統 計

その1 (県統計全書調)

年 次	火災件数	住 家 焼 失 棟 数			焼失面積 (坪)
		計	全 焼	半・部分焼	
明治15年	162	244	190	54	—
" 16	216	367	313	57	5,247
" 17	211	509	414	95	9,551
" 18	187	367	313	57	6,929
" 19	196	519	396	123	7,058
" 20	262	346	252	94	4,606
" 21	227	388	310	78	5,021
" 22	182	243	159	84	2,839
" 23	213	308	—	—	4,291
" 24	247	501	—	—	7,217
" 25	217	286	—	—	3,607
" 26	226	394	—	—	4,757
" 27	223	407	—	—	5,874
" 28	200	402	—	—	9,316
" 29	157	214	—	—	8,343
" 30	157	355	—	—	4,539
" 31	154	300	—	—	4,320
" 32	146	287	—	—	4,686
" 33	169	286	—	—	4,584
" 34	167	290	—	—	4,386
" 35	156	312	—	—	24,992
" 36	158	264	—	—	4,270
" 37	134	222	—	—	3,425
" 38	156	339	—	—	5,399
" 39	147	186	—	—	2,315
" 40	147	199	—	—	2,800
" 41	149	241	—	—	3,357
" 42	175	281	226	55	3,688
" 43	140	163	103	60	1,806
" 44	168	278	224	52	3,165

注 —は不明を示す。

年 別 火 災 統 計

その2 (県統計全書調)

年 次	火 災 件 数	焼 失 棟 数					死 傷 者 数		焼失面 積(坪)	損 害 見 積 高 (円)
		計	住 家		非 住 家		死 者	傷 者		
			全 焼	半・部分焼	全 焼	半・部分焼				
明治45年	165	231	160	71	—	—	7	14	3,559	104,782
大正 2	176	278	138	32	85	23	8	9	3,241	96,341
" 3	152	265	128	37	83	17	6	6	2,738	77,482
" 4	132	193	90	29	53	21	6	5	1,893	45,589
" 5	157	453	285	33	117	18	3	11	4,809	198,067
" 6	151	303	151	35	91	26	4	6	13,552	111,861
" 7	135	162	61	29	41	25	8	0	1,210	35,728
" 8	145	290	134	25	102	29	3	4	3,623	182,814
" 9	126	231	102	29	80	20	0	3	13,595	882,042
" 10	124	143	65	35	21	22	1	0	1,683	138,813
" 11	128	162	73	32	36	21	6	8	1,696	126,129
" 12	123	112	65	22	47	21	8	6	2,217	140,290
" 13	125	149	96	20	48	25	2	9	2,791	265,058
" 14	138	122	80	30	42	32	6	10	1,745	122,530
大正15年	134	195	112	30	83	23	3	0	9,252	204,206
昭和 2	139	133	74	34	59	33	1	13	10,995	454,497
" 3	130	171	89	35	82	47	0	17	10,365	1,279,797
" 4	115	131	57	28	22	26	3	11	5,158	178,974
" 5	120	163	62	32	43	26	3	10	12,935	647,767
" 6	150	204	88	39	54	23	3	15	19,639	154,922
" 7	122	172	83	28	45	16	3	9	6,409	93,628
" 8	143	217	87	25	71	34	4	9	15,401	160,250
" 9	134	163	59	32	39	33	7	8	4,696	101,167
" 10	130	145	41	25	52	27	1	9	5,042	150,288
" 11	117	156	73	21	36	26	2	6	21,804	384,933
" 12	118	184	75	29	61	19	1	4	8,179	198,305
" 13	123	198	86	19	59	34	3	12	8,475	231,843
" 14	103	143	65	27	27	24	4	4	9,316	207,459
" 15	96	211	109	27	154	57	—	2	13,895	940,017
" 16	105	114	39	17	89	19	6	5	14,427	189,629

注 一は不明を示す。昭17、18、19年は資料不足調査せず。

年 別 火 災 統 計

その3 (県統計全書・県消防年報調)

年 次	火 災 件 数			焼 失 棟 数				罹 災 世 帯 数			罹 災 死 傷 者 数		焼 失 面 積		車 両 (台)	損 害 見 積 額
	計	建物	その他	計	全焼	半焼	部分焼	計	全焼	半焼	者数	死者	傷者	建物(m ²)		
昭和20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	568,550
" 21	—	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10,476,543
" 22	—	185	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	77,466,132
" 23	—	131	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	41,054,530
" 24	125	117	8	—	—	—	—	—	82	42	—	4	27	11,138	—	56,490,900
" 25	125	119	6	—	—	—	—	146	118	28	—	2	18	11,220	—	62,941,300

年次	火災件数			焼失棟数				罹災世帯数			罹災者数	死傷者数		焼失面積		車両(台)	損害見積額
	計	建物	その他	計	全焼	半焼	部分焼	計	全焼	半焼		死者	傷者	建物(m ²)	山林(a)		
昭和26	150	136	14	—	—	—	—	236	204	32	—	25	270	23,799	—	—	229,063,950
" 27	146	127	19	—	—	—	—	69	45	24	—	3	12	7,225	—	—	44,311,410
" 28	131	109	22	—	—	—	—	62	44	18	—	1	11	6,933	—	—	117,078,865
" 29	140	119	21	—	—	—	—	98	76	22	—	2	27	17,918	—	—	251,378,040
" 30	146	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11,249	—	—	137,302,489
" 31	146	133	13	256	59	34	163	146	39	107	570	5	52	15,045	357	—	1,183,285,180
" 32	109	38	147	78	24	42	144	48	30	78	306	4	25	7,927	127	—	203,505,310
" 33	165	131	34	164	78	22	64	76	37	39	324	1	31	9,091	200	—	99,922,270
" 34	156	121	35	160	79	18	63	67	39	28	387	—	27	5,958	105	—	103,661,800
" 35	192	149	43	254	128	47	79	129	56	73	649	1	49	14,908	1,069	—	231,818,300
" 36	245	175	70	311	194	49	68	134	77	57	670	5	42	15,934	5,689	28	160,635,300
" 37	304	205	99	287	151	61	75	146	73	73	658	6	59	17,324	1,081	46	291,533,589
" 38	291	186	105	288	151	42	95	152	99	53	891	4	67	18,937	1,137	38	361,619,625
" 39	285	190	95	232	81	41	110	132	48	84	593	4	92	11,454	1,842	41	242,410,560
" 40	373	190	183	261	123	35	103	131	64	67	539	12	62	11,457	2,305	66	337,800,000

注 一は不明。昭和30年までの損害見積額には、山林火災を含まず。

主要災害被害一覽 (明治26年以降)

災害別	年月日	人的被害		住家被害					非住家損壊(焼)	災害救助法適用市町村数	被害額 (単位千円)						
		死傷(死傷不明)	負傷者	全壊流失(焼)	半壊(焼)	床上浸水	床下浸水	一部損壊(焼)			総計	建物被害	土木被害	農村被害	商工業被害	その他の公共施設被害	その他
大雨	明28. 7. 8	3	11	38	64	4,559		1,078	2,569								
豪雨	明29. 9	(5)	79	3,000	6,136	35,627	22,764	26,365	住家を含む								
姉川地震	明42. 8. 14	35	643	972	2,367				4,840								
木之本町広瀬の大火	明45. 6. 12			220													
台風	大元. 9. 22, 23	>30		>200													
台風	大2. 10. 2, 3	42	56	124		3,060			1,648								
木之本町広瀬の大火	大5. 6. 12			187													
台風	大6. 9. 29, 30			7	55	555	2,984										
台風	大10. 9. 25, 26	9	17	410	422			9,537	5,491								
室戸台風	昭9. 9. 21	47	641	681	921				3,973	14,085	2,726	122	10,916		128	193	
大雨	昭13. 8. 2, 3	6	1	8	17	502	1,360		777								
大雨	昭16. 6. 25, 29	(1)	1	38		1,500	3,238										
ジェーン台風	昭25. 9. 3	(1)	76	297	854	11	41		県下一円								

災害別	年月日	人的被害		住家被害					非住家 損壊 (焼)	災害救助 法適用 市町村数	被害額 (単位千円)						
		死者加 行方不明	負傷 者	全壊流 失(焼)	半壊 (焼)	床上 浸水	床下 浸水	一部損 壊(焼)			総計	建物被害	土木被害	農村被害	商工業 被害	その他の公 共施設被害	その他
虎姫町 五の大火	昭26.9.5	2	105	102					1町								
多羅尾地方 集中豪雨	昭28.8.14 15	45	143	81	159	736	2,165				3,069,134	120,960	980,928	1,764,746	202,500		
13号台風	昭28.9.25	(4) 43	497	522	1,198	9,390	29,284		91市町村	16,167,242	4,942,640	3,746,300	6,677,702	517,000	283,600		
多賀町霊仙 入谷の大火	昭30.8.10			22					1町	25,000							
余呉村中河 内の大火	昭31.8.3		18	49					1村	56,275							
7号台風	昭34.8.13 14	4	18	18	72	2,434	17,081	1,891	2町	6,146,298	193,530	4,207,120	1,739,383	4,150	2,115		
伊勢湾台風	昭34.9.26	16	114	357	1,309	5,920	19,816	3,970	17市町村	8,274,322	769,730	2,949,508	4,129,395	382,000	43,689		
第2室戸 台風	昭36.9.26	3	438	610	3,388	250		9,338	10市町村	6,566,236	1,084,748	293,175	4,409,661	525,317	253,335		
38.1豪雪	昭38.1 2			3	8			1,285	2,010	4,325,589	401,814	687,157	2,849,249	291,345	21,400	74,624	
24号台風	昭40.9.17	3	19	63	329	1,662	12,282	7,066	5,153	4市町	10,343,744	581,080	3,465,361	6,026,110	144,100	127,093	

注・ おおむね、床上浸水以上の住家が500戸を越えるもの、および100戸以上の住家が焼失した火災ならびに災害救助法が適用されたものについて掲げた。

自衛隊災害派遣状況 (自衛隊^{大津}駐とん部^{今津}隊調)

災害名	出動期間	出動場所	出動部隊	出動人員 延入員	作業内容	装備
13号台風	自昭28.9.25 至 " 9.29	今津町南新保(石田川) 新儀付(安曇川) 三谷村追分 今津町上弘部 青柳村・本庄村・広瀬村	今津駐とん 部 隊	1,370	河川堤防補強 道路改修 橋梁復旧 救難	車両 ボート 無線機 土工具
14号台風	昭29.9.18	嬰庭村・新儀村・青柳村	今津駐とん 部 隊	119	河川堤防補強 架橋	車両
余呉村中河 内の大火と水害	昭31.8.6	余呉村	今津駐とん 部 隊	104	道路復旧	車両11
17号台風	昭33.8.26	新旭町	今津駐とん 部 隊	30	河川堤防補強	車両4
7号台風	自昭34.8.14 至 " 8.16	湖東・湖北地方(姉川 中井川, 市場川, 天野 川) 高島郡(安曇川, 知内川, 天川流域)	今津駐とん 部 隊	976	護岸築堤	
伊勢湾台風	昭34.9.27	高島郡下(安曇川)	今津駐とん 部 隊	144	河川堤防補強	
	自昭34.9.28 至 " 10.1	木之本町(土倉鉦山)	今津駐とん 部 隊	219	埋没者の発掘	
	自昭34.10.8 至 " 10.9	近江八幡市(日野川)	今津駐とん 部 隊	114	築堤	

災害名	出動期間	出動場所	出動部隊	出動人員 延人	作業内容	装 備
11号台風	昭35.8.13	大津市下阪本町(四ツ谷川)	大津駐とん部 隊	179	河川堤防の応急復旧	車両13
6号台風 梅雨前線豪雨	昭36.6.29	高島町(和田内川)	今津駐とん部 隊	113	河川堤防の応急復旧	車両10 発電機 通信機
第2室戸台風	自昭36.9.16 至 " 9.19	大津市膳所・中央・逢坂・志賀・坂本学区	大津駐とん部 隊	10	給水	車両5 水タンク3
24号台風	自昭40.9.17 至 " 9.18	今津町新保・同井口 高島町横山・新旭町 マキノ町寺久保	今津駐とん部 隊	402	河川堤防補強 河川堤防の応急復旧	車両37
	昭40.9.18	大津市朝日ヶ丘・坂本町	大津駐とん部 隊	18	給水	トラック3 水タンク車3 水缶51
	昭40.9.18	守山町新田	大津駐とん部 隊	33	孤立者の人命救助	車両3 M2ボート3 救命胴衣33
山林火災	昭28.4.27	朽木村東峰山	今津駐とん部 隊	191	消火	
山林火災	昭28.5.25	今津町饗庭野	今津駐とん部 隊	150	消火	
火災	昭29.8.17	今津町弘川	今津駐とん部 隊	50	消火	車両7
火災	昭31.4.4	今津町日置前	今津駐とん部 隊	182	消火・搬出	車両12 消防車1
火災	昭34.2.27	今津町今津	今津駐とん部 隊	53	消火救援	車両5
火災	昭34.12.31	今津町天神	今津駐とん部 隊	151	消火搬出	
遭難	昭35.1.28	比良山	今津駐とん部 隊	2	遭難者捜索支援	
遭難	昭35.2.13	高島郡安曇川河口	今津駐とん部 隊	4	遭難者捜索支援	車両1 通信機1
全但バス転覆	昭35.7.24	比叡山根本中堂裏	大津駐とん部 隊	38	死傷者の救出搬送	ジープ3, 担架30救急車5
断水	自昭35.12.16 至 " 12.27	瀬田町南大萱一里山団地	大津駐とん部 隊	7	給水	車両2 水タンク車3
断水	自昭36.2.15 至 " 3.15	草津市矢橋・御倉町	大津とん駐部 隊	5	給水	車両2 水タンク車2
山林火災	昭36.4.3	今津町今津(南坂)	今津駐とん部 隊	180	消火	
火事	昭36.7.20	大津市下阪本町高畑	大津駐とん部 隊	7	消火	消防車1
断水	自昭36.8.31 至 " 9.1	大津市北別所町	大津駐とん部 隊	10	給水	車両5 水タンク車4
車両転覆	昭36.9.15	マキノ町(国道161号線)	今津駐とん部 隊	7	転覆車両引揚げ	6tレッカ車1
火災	昭36.9.28	今津町川上(農業倉庫)	今津駐とん部 隊	9	消火	車両1 消防車1
火災	昭37.4.23	今津町(県立今津高等学校)	今津駐とん部 隊	227	消火	車両6, 消防車1, 戦車2
断水	昭37.7.15	大津市石山膳所地区	大津駐とん部 隊	8	給水	車両4 水タンク車4
断水	昭37.9.25	大津市下阪本地区	大津・今津駐とん部 隊	12	給水	車両5 水タンク車5
断水	自昭37.12.8 至 " 12.10	堅田町	大津駐とん部 隊	7	給水	車両2 水タンク車2

災害名	出動期間	出動場所	出動部隊	出動人員 延人員	作業内容	装 備
断水	昭37.12.20	栗東町(済生会病院)	大津駐とん隊	4	給水	車両1 水タンク車1
火災	昭38.1.20	今津町 箱根山ロープウェー	今津駐とん隊	5	消火	消防車1
火災	昭38.4.7	今津町弘川	今津駐とん隊	57	消火	消防車1 車両2
断水	昭38.7.8	大津市膳所平尾地区	大津駐とん隊	6	給水	車両2 水タンク車2
火災	昭38.12.14	マキノ町西浜	今津駐とん隊	4	消火	消防車1
火災	昭39.7.14	大津市下阪本町	大津駐とん隊	8	車両火災消火	消防車1
火災	昭39.7.17	今津町深清水	今津駐とん隊	6	消火	消防車1
火災	昭39.10.31	今津町上弘部	今津駐とん隊	5	消火	消防車1
火災	昭40.10.15	大津市際川町	大津駐とん隊	4	消火	消防車1

建設省所管公共土木施設災害復旧費・国庫負担額および負担率調

年 次	県		市 町 村		計		負 担 率	
	事業費	国庫負担額	事業費	国庫負担金	事業費	国庫負担金	県平均	市町村平均
	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
昭和20年災害					1,504	899		
" 21 "					10,429	6,845		
" 22 "					19,152	12,691		
" 23 "					306,878	203,286		
" 24 "					396,417	259,954		
" 25 "	440,280	309,077	1,887	1,259	442,167	310,336	0.702	0.667
" 26 "	269,614	179,832	8,186	5,460	277,800	185,292	0.667	0.667
" 27 "	265,763	177,263	10,971	7,351	276,734	184,614	0.667	0.670
" 28 "	3,542,667	3,418,673	427,077	392,540	3,969,744	3,811,213	0.965	0.919
" 29 "	202,636	135,157	9,353	6,283	211,989	141,440	0.667	0.671
" 30 "	74,470	49,671	2,786	1,856	77,256	51,527	0.667	0.667
" 31 "	392,172	261,578	10,151	6,763	402,323	268,341	0.667	0.667
" 32 "	219,955	146,709	5,706	3,805	225,661	150,514	0.667	0.667
" 33 "	1,363,707	951,867	30,837	20,583	1,394,544	972,450	0.698	0.667
" 34 "	5,906,610	5,697,277	284,139	234,035	6,190,749	5,931,312	0.964	0.842
" 35 "	731,665	488,019	33,905	23,067	765,570	511,086	0.667	0.680
" 36 "	1,835,241	1,393,540	84,977	58,119	1,920,218	1,451,659	0.759	0.683
" 37 "	845,095	563,677	13,618	9,082	858,713	572,759	0.667	0.667
" 38 "	423,117	282,219	25,370	16,998	448,487	299,217	0.667	0.670
" 39 "	544,216	362,992	9,713	6,478	553,929	369,470	0.667	0.667
" 40 "	2,961,505		318,915		3,280,420			

注・工事費+事務で示す。 全国防災協会「わが国の災害誌」・建設省河川局編「災害統計」および河港課調による。

建設省所管公共土木施設災害復旧工事別箇所

年次	県 工 事										市 町 村			
	河 川		砂 防		道 路		橋 梁		計		河 川		道 路	
	箇所 数	金 額 (千円)	箇所 数	金 額 (千円)	箇所 数	金 額 (千円)	箇所 数	金 額 (千円)	箇所 数	金 額 (千円)	箇所 数	金 額 (千円)	箇所 数	金 額 (千円)
昭和28年災	1,309	2,582,534	58	148,838	366	442,388	142	281,924	1,875	3,455,654	74	112,290	115	158,241
29	168	148,924	23	24,300	33	14,528	12	5,235	236	192,987	7	5,892	1	1,832
30	51	51,410	10	11,475	9	6,191	3	1,848	73	70,924	5	1,903	2	753
31	281	337,576	8	7,745	37	16,704	10	12,179	336	374,204	6	3,143	6	1,345
32	121	193,862	3	5,707	20	9,912	-	-	144	209,481	5	1,687	7	3,473
33	580	1,180,255	28	39,013	87	46,725	20	53,423	715	1,319,416	23	7,922	25	8,294
34	1,397	4,991,189	68	260,383	260	274,571	87	247,043	1,812	5,773,186	150	134,343	120	41,780
35	313	590,958	29	70,912	42	29,312	11	11,434	395	702,616	18	12,663	16	6,069
36	630	1,611,024	25	46,912	147	111,505	11	12,547	813	1,781,988	46	29,294	83	43,515
37	276	747,747	7	9,012	52	41,787	8	14,415	343	812,961	15	7,533	13	5,341
38	165	305,291	13	24,643	80	59,099	8	8,013	266	397,046	15	19,504	6	1,496
39	145	423,807	13	60,153	30	29,845	5	6,877	193	520,682	8	5,730	5	2,772
40	1,000	2,383,158	69	194,648	170	167,185	29	141,185	1,268	2,886,176	127	95,580	134	70,026

および工事費調

(建設省河川局編「災害統計」および河港課調)

工 事				計									
橋 梁		計		河 川		砂 防		道 路		橋 梁		計	
箇所 数	金 額 (千円)	箇所 数	金 額 (千円)	箇所 数	金 額 (千円)	箇所 数	金 額 (千円)	箇所 数	金 額 (千円)	箇所 数	金 額 (千円)	箇所 数	金 額 (千円)
143	136,209	332	406,740	1,383	2,694,824	58	148,808	481	600,629	285	418,133	2,207	3,862,394
3	1,190	16	8,914	175	154,816	23	24,300	39	16,360	15	6,425	200	201,901
-	-	7	2,656	56	53,313	10	11,475	11	6,944	3	1,848	80	70,580
12	5,187	24	9,675	287	340,719	8	7,745	43	18,049	22	17,366	360	383,879
1	277	13	5,437	126	195,549	3	5,707	27	13,385	1	277	157	214,918
23	13,161	71	29,377	603	1,188,177	28	39,013	112	55,019	43	66,584	786	1,348,793
97	94,503	367	270,626	1,547	5,125,532	68	260,383	380	316,351	184	341,546	2,179	6,043,812
3	13,566	37	32,298	331	603,621	29	70,912	58	35,381	14	25,000	706	734,914
17	8,137	146	80,946	676	1,640,318	25	46,912	230	155,020	28	20,684	959	1,862,934
1	100	29	12,974	291	755,280	7	9,012	65	47,128	9	14,515	372	825,935
1	1,041	22	22,041	180	324,795	13	24,643	86	60,595	9	9,054	288	419,087
2	749	15	9,251	153	429,537	13	60,153	35	32,617	7	7,626	208	529,933
53	138,123	314	303,729	1,127	2,478,738	69	194,648	304	237,211	82	279,308	1,582	3,189,905

農地・農業用施設災害査定調（農林省農地局編「災害統計」および耕地課調）

年次	農地			農業用施設		計	
	箇所数	面積	金額	箇所数	金額	箇所数	金額
昭和20年災害			164 ^{千円}		703 ^{千円}		867 ^{千円}
" 21 "			—		—		—
" 22 "			114,821		13,238		128,059
" 23 "			34,360		59,095		93,455
" 24 "			36,698		282,351		319,049
" 25 "	14	239 ^反	8,330	338	187,888		196,218
" 26 "	159	7,820 ^反	77,363	302	124,090		201,453
" 27 "	21	328 ^反	9,685	175	93,254		102,939
" 28 "	742	18,910 ^反	805,213	1,596	1,335,657	2,338	2,140,870
" 29 "	5	18 ^反	1,450	64	25,016	69	26,466
" 30 "	96	3,883 ^反	19,227	42	9,792	138	29,019
" 31 "	7	11 ^反	1,467	110	53,850	117	55,317
" 32 "	—	—	—	6	1,679	6	1,679
" 33 "	5	26 ^反	796	137	42,563	142	43,359
" 34 "	247	2,382 ^反	130,115	687	515,417	934	645,532
" 35 "	196	503.0 ^{ヘクタール}	57,286	82	35,068	278	92,354
" 36 "	85	106.6 ^{ヘクタール}	15,975	320	285,542	405	301,517
" 37 "	15	3.6 ^{ヘクタール}	1,933	67	36,923	82	38,856
" 38 "	1	0.3 ^{ヘクタール}	164	35	14,134	36	14,298
" 39 "	8	2.1 ^{ヘクタール}	1,329	13	13,168	21	14,497
" 40 "	423	313.6 ^{ヘクタール}	100,619	515	414,647	938	515,266

注 昭17.18.19年は資料不足で調査できず。

天災による農林漁業者に対する融資実績一覧

(農政課調)

災害発生期	資金種別	融資枠	対象組合数	借入戸数(件数)	借入額
昭28年 6月～9月	指定経営資金	150,000 ^{千円}	88	1,841	36,000 ^{千円}
	" 事業資金	29,000	5	5	14,000
	" 施設復旧資金	277,000	50	145	72,380
	計	456,000	143	1,991	122,380
昭31年 4～5	指定経営農業資金	5,000	12	26	3,172
昭34年 7～9	指定経営農業資金	30,000	15	305	20,274
	" 開拓資金	14,000	5	125	7,200
	" 漁業資金	1,300	1	3	450
	一般経営農業資金	145,800			
	" 漁業資金				
" 開拓資金	8,000				

災害発生期	資金種別	融資枠	対象組合数	借入戸数(件数)	借入額
年 月 月		千円			千円
	事業資金 計	5,000 204,100	21	433	27,924
昭 36 . 6 ~ 8	指定経営農業資金 一般経営農業資金 計	15,000 15,000 30,000	2 2 4	20 4 24	2,208 374 2,582
昭 36 . 9	指定経営農業資金 " " 開拓資金 一般経営農業資金 " " 漁業資金 " " 開拓資金 事業資金 計	9,000 3,000 3,600 84,600 700 19,100 120,000	2 4 9 15	44 28 34 106	4,616 2,018 7,678 14,312
昭 37 . 8	一般漁業	3,250	2	12	1,402
昭 38 . 1 ~ 2	指定経営農業資金 " " 林業資金 一般経営農業資金 " " 林業資金 計	10,000 15,000 2,000 85,000 112,000	4 4 8	98 98 196	10,000 11,570 21,570
昭 38 . 4 ~ 6	指定経営農業資金 一般経営農業資金 " " 開拓資金 計	70,200 7,800 2,000 80,000	15 3 18	339 18 357	22,715 896 23,611
昭 39 . 5	指定経営農業資金 " " 開拓資金 一般経営農業資金 計	2,100 300 600 3,000	3 1 2 6	20 10 5 35	2,100 300 320 2,720
昭 40 . 9	指定経営農業資金 " " 開拓資金 一般経営農業資金 " " 漁業資金 " " 林業資金 計	77,700 2,300 20,000 100,000	} 現在処理中		

平均气温平年表

(1931~1960)

彦根

月 日	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
1	4.1	2.6	4.3	8.3	13.9	18.4	23.2	26.6	25.1	18.9	13.3	7.9
2	3.9	2.6	4.5	8.5	14.1	18.6	23.4	26.6	24.9	18.7	13.1	7.7
3	3.8	2.6	4.6	8.7	14.3	18.8	23.5	26.6	24.8	18.5	13.0	7.4
4	3.7	2.6	4.7	8.9	14.5	18.9	23.7	26.6	24.6	18.3	12.8	7.2
5	3.6	2.7	4.8	9.1	14.6	19.1	23.8	26.6	24.5	18.1	12.6	7.1
6	3.4	2.7	4.9	9.3	14.8	19.2	24.0	26.6	24.3	17.9	12.4	6.9
7	3.3	2.7	4.9	9.5	14.9	19.4	24.1	26.6	24.2	17.7	12.2	6.8
8	3.2	2.7	5.0	9.7	15.1	19.5	24.2	26.5	24.0	17.6	12.0	6.6
9	3.1	2.7	5.1	9.9	15.2	19.7	24.4	26.5	23.9	17.4	11.8	6.5
10	3.0	2.8	5.2	10.0	15.3	19.8	24.5	26.4	23.7	17.2	11.6	6.4
11	2.9	2.8	5.3	10.2	15.5	20.0	24.7	26.4	23.5	17.0	11.4	6.3
12	2.8	2.8	5.4	10.3	15.6	20.1	24.8	26.4	23.2	16.8	11.1	6.1
13	2.7	2.8	5.5	10.5	15.7	20.3	24.9	26.4	23.0	16.7	10.9	6.0
14	2.7	2.9	5.6	10.7	15.8	20.4	25.0	26.3	22.7	16.5	10.7	5.9
15	2.7	2.9	5.7	10.9	15.9	20.6	25.2	26.3	22.5	16.3	10.6	5.8
16	2.6	3.0	5.9	11.1	16.0	20.7	25.3	26.3	22.2	16.1	10.5	5.7
17	2.6	3.0	6.0	11.3	16.1	20.9	25.4	26.3	22.0	15.9	10.4	5.6
18	2.6	3.1	6.2	11.5	16.2	21.1	25.5	26.2	21.7	15.6	10.3	5.5
19	2.6	3.2	6.3	11.7	16.4	21.2	25.6	26.2	21.5	15.4	10.2	5.4
20	2.6	3.3	6.4	11.8	16.5	21.4	25.7	26.1	21.2	15.2	10.0	5.3
21	2.6	3.4	6.6	12.0	16.7	21.5	25.8	26.1	21.0	15.0	9.8	5.2
22	2.6	3.5	6.7	12.1	16.8	21.7	25.9	26.0	20.7	14.9	9.7	5.2
23	2.6	3.6	6.9	12.3	17.0	21.9	26.0	25.9	20.5	14.7	9.5	5.1
24	2.6	3.7	7.0	12.5	17.2	22.1	26.1	25.9	20.2	14.6	9.3	5.0
25	2.6	3.9	7.2	12.7	17.3	22.2	26.2	25.8	20.0	14.4	9.1	4.9
26	2.7	4.0	7.3	13.0	17.5	22.4	26.3	25.7	19.8	14.2	8.9	4.8
27	2.7	4.1	7.5	13.2	17.6	22.6	26.4	25.6	19.6	14.1	8.8	4.7
28	2.7	4.2	7.6	13.4	17.8	22.8	26.4	25.5	19.5	13.9	8.6	4.6
29	2.7	4.3	7.8	13.6	18.0	22.9	26.5	25.4	19.3	13.8	8.4	4.5
30	2.7		8.0	13.8	18.1	23.1	26.5	25.3	19.1	13.6	8.2	4.4
31	2.6		8.2		18.3		26.6	25.2		13.4		4.2
月平均	2.9	3.1	6.0	11.0	16.1	20.7	25.2	26.2	22.3	16.1	10.7	5.8

注 日別は平滑平年値
月別は累年平均値

最高気温平年表
(1931~1960)

彦根

月 日	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
1	7.3	6.5	8.7	13.6	19.3	23.5	27.2	31.9	29.9	23.3	18.2	12.2
2	7.2	6.5	8.8	13.8	19.5	23.6	27.3	31.9	29.7	23.1	18.0	11.9
3	7.0	6.5	8.9	14.1	19.7	23.7	27.5	32.0	29.6	23.0	17.9	11.6
4	6.9	6.5	9.0	14.3	19.9	23.9	27.7	32.0	29.4	22.8	17.7	11.3
5	6.9	6.4	9.0	14.6	20.1	24.0	27.8	32.1	29.3	22.6	17.5	11.2
6	6.8	6.4	9.1	14.8	20.2	24.2	28.0	32.1	29.1	22.4	17.3	11.0
7	6.8	6.4	9.1	15.1	20.4	24.3	28.2	32.1	28.9	22.3	17.0	10.9
8	6.7	6.4	9.2	15.3	20.6	24.4	28.4	32.0	28.8	22.1	16.8	10.7
9	6.6	6.4	9.2	15.5	20.7	24.5	28.6	32.0	28.6	22.0	16.6	10.6
10	6.5	6.5	9.4	15.7	20.8	24.5	28.8	31.9	28.4	21.8	16.3	10.4
11	6.5	6.5	9.6	15.8	20.8	24.6	29.0	31.9	28.2	21.7	16.1	10.3
12	6.4	6.5	9.9	16.0	20.9	24.7	29.2	31.9	27.9	21.6	15.8	10.1
13	6.3	6.6	10.1	16.2	21.0	24.9	29.3	31.8	27.7	21.4	15.6	10.0
14	6.3	6.7	10.3	16.4	21.1	25.0	29.5	31.8	27.4	21.3	15.3	9.8
15	6.4	6.7	10.5	16.6	21.2	25.2	29.6	31.7	27.2	21.2	15.2	9.7
16	6.4	6.8	10.6	16.7	21.3	25.3	29.8	31.7	26.9	21.0	15.1	9.6
17	6.5	6.9	10.8	16.9	21.4	25.5	29.9	31.6	26.7	20.8	14.9	9.5
18	6.5	7.1	10.9	17.1	21.5	25.6	30.0	31.6	26.4	20.6	14.8	9.4
19	6.5	7.3	11.1	17.2	21.6	25.7	30.1	31.5	26.2	20.4	14.7	9.3
20	6.5	7.4	11.3	17.4	21.8	25.8	30.3	31.5	25.9	20.2	14.5	9.1
21	6.5	7.6	11.5	17.5	21.9	25.9	30.4	31.4	25.7	20.0	14.3	8.9
22	6.5	7.8	11.6	17.7	22.1	26.0	30.5	31.3	25.4	19.8	14.2	8.8
23	6.5	7.9	11.8	17.8	22.2	26.1	30.7	31.1	25.2	19.7	14.0	8.6
24	6.5	8.1	12.0	18.0	22.4	26.2	30.8	31.0	24.9	19.5	13.8	8.4
25	6.5	8.2	12.2	18.2	22.6	26.4	31.0	30.8	24.7	19.3	13.6	8.3
26	6.6	8.4	12.3	18.4	22.7	26.5	31.1	30.7	24.5	19.1	13.4	8.2
27	6.6	8.5	12.5	18.6	22.9	26.6	31.3	30.6	24.2	19.0	13.2	8.0
28	6.6	8.6	12.6	18.8	23.1	26.7	31.4	30.4	24.0	18.8	13.0	7.9
29	6.6	8.7	12.8	19.0	23.2	26.9	31.5	30.3	23.7	18.7	12.8	7.8
30	6.6		13.1	19.2	23.3	27.0	31.7	30.1	23.5	18.5	12.5	7.6
31	6.5		13.3		23.4		31.8	30.0		18.3		7.5
月平均	6.4	6.8	10.5	16.5	21.6	25.4	29.8	31.4	27.0	20.8	15.3	9.6

注 日別は平滑平年値
月別は累年平均値

最低気温平年表
(1931~1960)

彦根

月 日	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
1	0.9	-0.3	0.9	4.3	9.3	14.3	20.0	22.7	21.3	15.2	9.1	4.3
2	0.8	-0.3	1.1	4.5	9.6	14.5	20.2	22.7	21.1	15.0	9.0	4.1
3	0.6	-0.3	1.2	4.6	9.8	14.7	20.3	22.7	21.0	14.7	8.8	3.9
4	0.5	-0.3	1.3	4.8	10.0	14.9	20.5	22.8	20.8	14.5	8.6	3.7
5	0.4	-0.3	1.4	4.9	10.2	15.0	20.6	22.8	20.7	14.3	8.4	3.5
6	0.4	-0.3	1.4	5.1	10.3	15.2	20.8	22.8	20.6	14.1	8.2	3.4
7	0.3	-0.3	1.5	5.2	10.5	15.4	20.9	22.8	20.5	13.9	8.0	3.2
8	0.2	-0.3	1.5	5.4	10.7	15.6	21.0	22.8	20.4	13.6	7.8	3.1
9	0.1	-0.3	1.6	5.5	10.8	15.8	21.1	22.7	20.3	13.4	7.6	2.9
10	0.0	-0.2	1.7	5.7	10.9	16.0	21.2	22.7	20.2	13.2	7.4	2.8
11	-0.1	-0.2	1.8	5.8	11.1	16.2	21.3	22.7	20.0	13.0	7.2	2.7
12	-0.2	-0.2	1.9	6.0	11.2	16.4	21.4	22.7	19.8	12.8	7.0	2.5
13	-0.3	-0.2	2.0	6.1	11.3	16.6	21.5	22.7	19.6	12.6	6.8	2.4
14	-0.3	-0.2	2.1	6.2	11.4	16.8	21.6	22.6	19.4	12.4	6.6	2.3
15	-0.3	-0.1	2.2	6.3	11.5	16.9	21.7	22.6	19.2	12.2	6.5	2.3
16	-0.2	-0.1	2.3	6.5	11.6	17.1	21.8	22.6	19.0	12.0	6.4	2.2
17	-0.2	-0.1	2.5	6.6	11.7	17.3	21.9	22.6	18.7	11.8	6.3	2.2
18	-0.2	-0.1	2.6	6.7	11.8	17.5	22.0	22.5	18.5	11.5	6.2	2.1
19	-0.2	-0.1	2.7	6.9	12.0	17.7	22.0	22.5	18.2	11.3	6.1	2.1
20	-0.3	0.0	2.8	7.0	12.1	18.0	22.1	22.4	18.0	11.1	6.0	2.0
21	-0.3	0.0	2.9	7.2	12.3	18.2	22.1	22.4	17.7	11.0	5.9	1.9
22	-0.4	0.0	3.1	7.3	12.4	18.4	22.2	22.3	17.4	10.8	5.7	1.8
23	-0.4	0.1	3.2	7.5	12.6	18.6	22.3	22.3	17.1	10.7	5.6	1.7
24	-0.4	0.3	3.3	7.7	12.8	18.8	22.4	22.2	16.8	10.5	5.5	1.6
25	-0.3	0.4	3.4	7.9	13.0	19.0	22.4	22.2	16.5	10.4	5.3	1.6
26	-0.3	0.6	3.5	8.2	13.1	19.2	22.5	22.1	16.3	10.2	5.2	1.5
27	-0.2	0.7	3.7	8.4	13.3	19.4	22.6	22.0	16.1	10.0	5.0	1.5
28	-0.2	0.8	3.8	8.5	13.5	19.6	22.6	21.8	15.8	9.9	4.9	1.4
29	-0.2	0.9	3.9	8.8	13.7	19.7	22.6	21.7	15.6	9.7	4.7	1.4
30	-0.2		4.0	9.1	13.9	19.9	22.7	21.5	15.4	9.5	4.5	1.2
31	-0.3		4.2		14.1		22.7	21.4		9.3		1.1
月平均	-0.3	-0.2	2.1	6.3	11.6	16.9	21.7	22.4	18.6	12.0	6.5	2.3

注 日別は平滑平年値
月別は累年平均値

月 旬 別 平 年 表
(1931~1960)

彦 根

		気 温			日 照 時 間	降 水 量			気 温			日 照 時 間	降 水 量
		平 均	最 高	最 低					平 均	最 高	最 低		
1 月	上 旬	3.5	6.9	0.4	33.5	35.4	7 月	上 旬	23.9	28.0	20.7	52.1	92.3
	中 旬	2.7	6.4	-0.2	35.0	40.9		中 旬	25.2	29.7	21.7	66.4	64.2
	下 旬	2.6	6.5	-0.3	39.7	42.9		下 旬	26.2	31.1	22.5	83.6	51.9
	月平均	2.9	6.4	-0.3	104.8	115.1		月平均	25.2	29.8	21.7	201.5	208.1
2 月	上 旬	2.7	6.5	-0.3	38.9	41.4	8 月	上 旬	26.6	32.0	22.8	84.7	40.5
	中 旬	3.0	6.9	-0.1	44.7	33.1		中 旬	26.3	31.7	22.6	81.6	42.2
	下 旬	3.8	8.1	0.4	38.8	26.1		下 旬	25.7	30.7	22.0	78.7	48.4
	月平均	3.1	6.8	-0.2	115.5	105.8		月平均	26.2	31.4	22.4	237.0	134.0
3 月	上 旬	4.8	9.0	1.4	48.0	38.5	9 月	上 旬	24.4	29.2	20.7	60.4	52.0
	中 旬	5.8	10.5	2.3	51.6	37.2		中 旬	22.4	27.1	19.0	53.1	72.7
	下 旬	7.3	12.3	3.5	60.9	40.9		下 旬	20.0	24.6	16.5	52.4	68.8
	月平均	6.0	10.5	2.1	160.6	115.3		月平均	22.3	27.0	18.6	168.0	193.6
4 月	上 旬	9.2	14.7	5.0	60.9	36.8	10 月	上 旬	18.0	22.5	14.2	52.0	56.0
	中 旬	11.0	16.6	6.4	65.5	43.4		中 旬	16.2	21.0	12.1	57.4	41.0
	下 旬	12.9	18.3	8.1	66.0	47.0		下 旬	14.2	19.2	10.2	62.5	37.1
	月平均	11.0	16.5	6.3	185.6	128.8		月平均	16.1	20.8	12.0	167.6	129.9
5 月	上 旬	14.7	20.1	10.2	64.0	40.0	11 月	上 旬	12.5	17.3	8.3	55.3	33.6
	中 旬	16.0	21.3	11.6	64.6	43.2		中 旬	10.6	15.2	6.5	50.7	27.4
	下 旬	17.5	22.7	13.2	74.9	46.5		下 旬	9.0	13.5	5.2	46.1	27.8
	月平均	16.1	21.6	11.6	208.2	127.6		月平均	10.7	15.3	6.5	150.9	92.1
6 月	上 旬	19.1	24.1	15.1	63.1	47.2	12 月	上 旬	7.1	11.2	3.5	40.8	28.8
	中 旬	20.7	25.2	17.1	55.7	61.8		中 旬	5.8	9.7	2.3	37.9	33.0
	下 旬	22.3	26.4	19.1	46.7	88.5		下 旬	4.8	8.2	1.5	37.8	39.5
	月平均	20.7	25.4	16.9	174.0	200.6		月平均	5.8	9.6	2.3	114.3	98.9

注 旬別は平滑平年値
月別は累年平均値

彦根の最高気温の極値

(1894~1965)

順位	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
1 位	17.2	1915 28	19.9	1962 11	24.5	1923 28	28.3	1922 28	30.7	1943 9	33.6	1956 20	36.5	1942 19
2 位	16.3	1960 5	19.5	1922 24	23.7	1931 23	28.2	1964 22	30.5	1958 30	33.5	1963 29	36.5	1933 20
3 位	15.6	1950 30	19.0	1954 27	23.0	1945 31	27.6	1913 25	30.4	1958 31	33.3	1933 29	36.1	1942 25
4 位	15.6	1908 20	18.4	1922 25	22.5	1954 27	27.5	1927 28	30.0	1928 31	32.9	1944 30	36.1	1932 28
5 位	15.3	1940 5	18.0	1958 23	22.1	1905 31	27.2	1941 17	29.3	1961 27	32.9	1930 22	35.9	1933 24

順位	8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年	最低気 圧極値	(海面) (年間) 起年月日	
	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年月日	mb	起年月日
1 位	37.5	1942 2	35.7	1961 5	30.2	1961 3	23.9	1940 7	20.7	1936 17	37.5	1942 8. 2	949.5	1959 9. 26
2 位	37.0	1961 18	35.0	1922 5	29.9	1961 6	23.4	1923 1	19.1	1904 8	37.0	1961 8. 18	954.8	1961 9. 16
3 位	36.3	1942 1	34.3	1919 3	29.7	1945 3	23.2	1965 9	17.8	1936 18	36.5	1942 7. 19	961.1	1912 9. 23
4 位	36.3	1929 6	34.0	1940 4	29.5	1946 3	23.2	1916 8	17.7	1959 2	36.5	1933 7. 20	967.0	1934 9. 21
5 位	36.1	1942 3	33.8	1958 6	29.0	1893 1	23.2	1914 4	17.6	1929 16	36.3	1942 8. 1	973.1	1921 9. 26

彦根の最低気温の極値

(1894~1965)

順位	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
1 位	-11.3	1904 27	-8.9	1896 17	-7.6	1927 1	-2.1	1935 3	0.9	1929 6	6.9	1906 1	12.8	1915 8
2 位	-10.0	1923 6	-8.7	1901 5	-7.0	1896 7	-2.1	1931 10	1.4	1934 3	6.9	1902 3	12.8	1915 1
3 位	-9.3	1938 6	-8.4	1900 7	-5.9	1907 2	-2.1	1912 2	1.6	1908 1	7.0	1921 4	13.0	1902 5
4 位	-9.2	1907 13	-8.0	1925 3	-5.8	1958 31	-2.0	1937 1	1.7	1925 1	7.1	1900 1	13.1	1902 6
5 位	-9.1	1933 29	-7.9	1905 19	-5.7	1918 4	-2.0	1934 3	2.1	1927 9	7.3	1926 4	13.2	1909 4

	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年月日		
月(年) 順位	8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年			
1 位	14.0	1956 20	8.3	1916 30	1.5	1936 24	-2.4	1899 24	-8.7	1947 21	-11.3	1904	1	27
2 位	14.4	1915 30	9.1	1965 30	1.8	1907 28	-1.9	1929 24	-8.4	1926 28	-10.0	1923	1	6
3 位	14.7	1929 30	9.1	1933 29	1.9	1924 26	-1.8	1921 28	-6.8	1917 29	-9.3	1938	1	6
4 位	15.6	1911 22	9.1	1924 28	2.2	1924 27	-1.7	1918 30	-6.5	1947 22	-9.2	1907	1	13
5 位	15.7	1942 22	9.2	1913 25	2.3	1909 31	-1.7	1906 27	-5.1	1898 24	-9.1	1933	1	29

彦根の最小湿度の極値

(1950~1965)

	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
月(年) 順位	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
1 位	33	1959 17	30	1951 21	19	1965 23	12	1960 9	16	1951 3	24	1960 5	38	1955 14
2 位	35	1965 12	32	1958 12	19	1961 24	13	1951 26	17	1953 19	28	1961 7	39	1951 27
3 位	35	1961 16	32	1958 1	24	1954 26	14	1965 22	18	1964 8	28	1959 3	41	1959 29
4 位	35	1958 16	32	1953 27	26	1958 16	14	1965 17	19	1950 12	28	1951 3	42	1960 28
5 位	36	1963 23	34	1963 23	26	1956 5	17	1957 8	21	1958 6	29	1951 2	43	1960 17

	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年月日		
月(年) 順位	8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年			
1 位	25	1956 20	16	1951 4	27	1965 27	31	1961 14	30	1960 30	12	1960	4	9
2 位	27	1965 29	29	1965 20	34	1952 19	31	1958 17	32	1957 4	13	1951	4	26
3 位	36	1965 30	31	1964 8	35	1958 10	32	1950 20	33	1960 31	14	1965	4	22
4 位	36	1964 19	32	1964 19	36	1964 26	33	1960 20	38	1950 17	14	1965	4	17
5 位	37	1951 26	33	1960 10	36	1959 12	33	1954 18	39	1965 1	16	1951	9	4

彦根の最大風速の極値

(1894~1965)

順位	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
1 位	18.8 NNW	1960 17	19.6 NNW	1951 15	17.9 N	1956 12	17.9 NW	1953 30	16.1 NNW	1952 15	16.9 SE	1898 4	16.7 ESE	1918 12
2 位	18.0 NNW	1953 8	17.7 NNW	1954 21	17.4 N	1954 13	16.6 N	1955 4	15.8 SE	1953 29	16.5 NW	1951 4	15.8 NNW	1951 2
3 位	17.7 NW	1955 26	17.3 WNW	1952 4	16.9 N	1955 18	16.5 N	1949 1	14.5 N	1958 12	14.0 SSW	1953 7	15.0 ESE	1962 27
4 位	17.7 N	1950 10	17.3 NW	1950 10	16.7 NW	1963 24	14.9 NW	1950 7	14.5 NW	1953 30	12.8 SE	1949 21	14.2 SSE	1949 29
5 位	17.6 WNW	1953 14	16.7 NW	1964 12	16.6 N	1957 21	14.5 NW	1953 16	14.2 NW	1959 18	12.5 NNW	1955 30	13.8 ESE	1946 30

順位	8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年		起年月日	
	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極 値	起年月日	極 値	起年月日
1 位	18.0 SE	1960 29	31.2 SSE	1934 21	19.9 N	1957 17	18.0 NW	1950 14	20.2 W	1900 8	31.2	SSE	1934	9.21
2 位	17.5 NNW	1963 31	27.8 SE	1950 3	19.0 NNW	1955 20	16.5 W	1951 26	18.5 NW	1949 14	27.8	SE	1950	9.3
3 位	16.3 SSE	1935 29	25.7 SSW	1961 16	18.0 SE	1951 15	16.0 N	1954 28	18.0 NW	1953 26	25.7	SSW	1961	9.16
4 位	15.7 ENE	1962 26	24.0 SSE	1912 23	17.5 N	1955 11	15.7 NW	1965 26	17.3 NNW	1948 7	24.0	SSE	1912	9.23
5 位	15.5 ESE	1958 25	21.9 ESE	1959 26	16.5 NNW	1955 8	15.7 NNW	1957 7	17.1 NNW	1951 16	21.9	ESE	1959	9.26

注 現行の10分間平均風速に換算すると30%を超えるものと考えられる

彦根の最大瞬間風速の極値

(1920~1965)

順位	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
1 位	26.1 NNW	1960 17	24.2 NW	1949 28	26.8 NW	1949 2	27.7 SE	1960 20	24.6 SE	1953 29	20.5 SSW	1953 7	25.8 ESE	1962 27
2 位	25.7 NNW	1952 25	24.1 NNW	1946 21	23.8 NNW	1956 12	23.9 NW	1953 30	22.6 ESE	1931 15	20.4 SSE	1949 21	22.2 ESE	1946 30
3 位	25.5 NW	1956 11	24.0 NW	1950 10	23.8 SE	1930 13	22.7 NNW	1958 14	21.9 NNW	1952 15	19.4 NNW	1953 8	21.2 ESE	1946 29
4 位	25.4 NNW	1943 31	23.8 NNW	1951 15	23.6 NW	1963 24	21.5 SE	1951 11	20.6 ESE	1931 16	19.0 W	1952 6	19.7 N	1957 4
5 位	24.3 WNW	1953 13	23.8 NW	1944 5	23.3 NW	1952 11	20.8 NNW	1950 7	20.5 WNW	1933 3	19.0 WNW	1948 5	19.0 SE	1949 5

月(年) 順位	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極 値	起年月日		
	8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年			
1 位	30.6 ESE	1941 15	42.5 SE	1950 3	27.5 SE	1951 15	29.0 N	1950 28	27.7 NW	1949 14	42.5	SE	1950	9. 3
2 位	30.0 SE	1960 29	39.3 SSE	1934 21	27.1 N	1957 17	24.2 N	1953 27	26.9 WNW	1965 12	39.3	SSE	1934	9. 21
3 位	29.9 ENE	1962 26	38.9 SE	1961 16	22.0 SE	1941 1	23.0 NW	1964 14	23.7 NW	1951 26	38.9	SE	1961	9. 16
4 位	28.3 ESE	1958 25	36.7 ESE	1965 10	21.8 NNE	1957 18	22.8 NNW	1932 15	23.3 NW	1953 26	36.7	ESE	1965	9. 10
5 位	24.2 ESE	1925 17	36.0 ESE	1959 26	21.3 NNW	1949 30	22.5 NNW	1961 24	23.1 NW	1965 24	36.0	ESE	1959	9. 26

彦根の10分間降水量の最大値

(1940~1965)

月(年) 順位	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
1 位	4.4	1950 30	3.0	1950 10	9.0	1952 19	13.5	1946 24	20.0	1955 24	13.6	1941 28	24.5	1957 4
2 位	3.0	1958 26	2.4	1954 27	5.6	1953 11	7.6	1955 17	14.8	1955 25	10.4	1955 8	20.0	1951 9
3 位	2.5	1954 2	2.0	1959 11	3.8	1955 18	6.3	1942 5	8.9	1961 4	10.4	1953 5	16.6	1948 24
4 位	2.3	1958 24	2.0	1958 2	3.7	1960 21	6.2	1947 21	7.0	1965 27	10.3	1962 13	15.9	1965 13
5 位	2.2	1964 13	1.8	1957 27	3.2	1947 21	6.0	1950 6	6.5	1941 25	10.3	1941 26	15.2	1956 23

月(年) 順位	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年月日		
	8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年			
1 位	21.1	1955 21	26.7	1964 20	11.9	1942 1	8.5	1958 14	8.5	1958 19	26.7	1964	9	20
2 位	15.3	1948 20	16.1	1960 5	9.5	1945 3	5.8	1951 16	4.1	1951 26	24.5	1957	7	4
3 位	15.0	1952 5	13.6	1957 6	8.5	1956 30	4.9	1957 11	3.4	1953 2	21.1	1955	8	21
4 位	14.5	1946 10	13.6	1946 27	7.7	1962 11	3.8	1959 3	3.2	1956 15	20.0	1955	5	24
5 位	14.0	1962 25	12.0	1950 18	7.7	1952 15	3.5	1944 9	2.7	1957 8	20.0	1951	7	9

彦根の1時間降水量の最大値

(1894~1965)

月(年) 順位	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
1 位	15.0	1909 20	8.6	1954 27	17.1	1952 19	38.4	1946 24	34.0	1907 6	38.1	1965 28	50.9	1934 21
2 位	10.2	1950 31	8.2	1936 2	13.3	1937 25	21.5	1946 25	30.5	1955 24	36.9	1941 28	50.8	1926 30
3 位	8.9	1947 17	7.7	1949 12	13.2	1950 7	20.1	1957 23	28.1	1938 3	35.0	1914 8	48.6	1943 21
4 位	8.3	1949 1	7.7	1923 16	12.6	1955 18	18.7	1942 5	22.8	1916 25	32.2	1938 16	44.3	1905 31
5 位	7.9	1959 29	7.6	1951 22	12.6	1945 22	16.4	1952 20	22.2	1965 27	31.4	1934 20	41.8	1965 13

月(年) 順位	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年月日		
	8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年			
1 位	58.0	1962 25	60.1	1896 7	29.1	1936 3	13.7	1959 3	15.0	1937 19	60.1	1896	9	7
2 位	52.1	1959 13	47.4	1964 20	27.0	1944 7	13.0	1955 16	13.1	1926 7	58.0	1962	8	25
3 位	50.0	1936 27	46.9	1959 26	24.6	1946 12	13.0	1923 1	10.5	1946 27	52.1	1959	8	13
4 位	42.3	1958 2	39.6	1939 17	23.1	1922 7	12.1	1958 14	9.7	1959 2	50.9	1934	7	21
5 位	40.0	1950 6	34.3	1909 8	22.0	1945 3	12.1	1918 2	8.8	1962 29	50.8	1926	7	30

彦根の日降水量の最大値

(1894~1965)

月(年) 順位	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
1 位	53.2	1923 3	57.4	1922 16	81.2	1903 15	95.9	1946 24	88.2	1965 27	130.0	1934 20	152.0	1930 31
2 位	49.8	1927 30	42.1	1906 1	79.5	1950 7	69.7	1933 26	77.3	1904 2	117.3	1952 23	135.7	1952 2
3 位	45.0	1959 29	38.3	1899 16	58.5	1921 12	67.9	1896 7	74.5	1926 30	116.8	1916 17	127.0	1898 4
4 位	41.2	1922 20	34.0	1905 18	50.7	1899 1	65.2	1952 20	74.0	1947 7	116.7	1941 28	113.2	1926 30
5 位	38.8	1918 8	33.6	1921 3	49.3	1930 3	50.4	1915 28	72.3	1953 23	114.9	1895 27	107.8	1956 23

順位	8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年		
	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	起年月日
1 位	167.7	1959 13	596.9	1896 7	160.3	1913 3	77.6	1932 14	60.4	1925 6	596.9	1896	9 7
2 位	124.2	1962 25	195.8	1959 26	136.2	1944 7	57.3	1938 13	39.8	1929 20	195.8	1959	9 26
3 位	109.6	1896 30	174.2	1965 17	118.4	1899 7	55.2	1948 6	37.8	1959 2	174.2	1965	9 17
4 位	109.2	1958 25	161.9	1896 8	113.2	1922 7	51.4	1900 17	37.7	1946 27	167.7	1959	8 13
5 位	108.4	1901 22	159.1	1917 30	86.3	1961 6	47.6	1927 5	37.7	1926 24	161.9	1896	9 8

彦根の積雪の深さの最大値

(1894~1965)

順位	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
1 位	93	1918 9	85	1936 3	27	1945 11	0	1965 2						
2 位	80	1927 31	82	1917 3	26	1958 30	0	1958 1						
3 位	80	1922 21	78	1952 6	25	1950 1	0	1931 8						
4 位	71	1923 4	77	1940 9	25	1934 10								
5 位	70	1942 19	65	1945 6	24	1947 10								

順位	8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年		
	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	起年月日
1 位							3	1938 13	57	1945 19	93	1918	1 9
2 位									47	1926 26	85	1936	2 3
3 位									40	1916 19	82	1917	2 3
4 位									39	1922 20	80	1927	1 31
5 位									38	1917 30	80	1922	1 21

彦根の月平均気温の最高値

(1894~1965)

		極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
月(年)		1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
順位															
1	位	5.1	1916	6.1	1959	8.6	1942	14.8	1964	18.0	1964	23.0	1916	27.4	1942
2	位	5.0	1964	5.8	1912	8.3	1914	12.7	1963	17.7	1961	22.9	1894	27.2	1933
3	位	5.0	1905	5.6	1922	8.3	1903	12.6	1954	17.5	1950	22.3	1955	27.2	1894
4	位	4.8	1910	5.3	1937	7.8	1960	12.6	1924	17.5	1928	22.1	1963	26.9	1955
5	位	4.7	1932	5.0	1949	7.8	1938	12.4	1913	17.5	1899	22.0	1915	26.8	1939

		極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年月
月(年)		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年	
順位													
1	位	28.0	1964	24.6	1961	18.6	1961	12.6	1946	7.9	1929	280	1964 8
2	位	27.8	1923	23.9	1922	18.0	1915	12.1	1961	7.7	1948	278	1923 8
3	位	27.7	1922	23.7	1943	17.4	1959	12.1	1916	7.7	1902	277	1922 8
4	位	27.4	1937	23.7	1916	17.3	1938	12.1	1898	7.4	1905	274	1942 7
5	位	27.3	1930	23.6	1928	17.3	1901	12.0	1959	7.2	1958	274	1937 8

彦根の月平均気温の最低値

(1894~1965)

		極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
月(年)		1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
順位															
1	位	0.6	1963	0.5	1945	3.9	1936	9.2	1965	14.0	1917	18.6	1954	22.1	1945
2	位	0.7	1918	0.9	1947	4.0	1924	9.2	1949	14.2	1945	18.6	1921	22.5	1902
3	位	0.8	1934	1.0	1936	4.2	1957	9.5	1944	14.4	1903	18.9	1897	22.6	1931
4	位	1.0	1936	1.4	1940	4.3	1947	9.6	1926	14.7	1913	19.1	1907	22.8	1895
5	位	1.1	1923	1.6	1929	4.5	1934	9.7	1943	14.9	1929	19.1	1903	22.9	1903

		極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年月
月(年)		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年	
順位													
1	位	23.8	1905	19.7	1913	13.3	1899	8.0	1917	3.5	1917	0.5	1945 2
2	位	24.0	1902	20.0	1908	14.3	1909	8.2	1921	3.6	1947	0.6	1963 1
3	位	24.4	1913	20.1	1951	14.5	1926	8.2	1904	3.8	1926	0.7	1918 1
4	位	24.5	1910	20.2	1899	14.7	1934	8.4	1908	4.0	1956	0.8	1934 1
5	位	24.8	1940	20.3	1957	14.9	1932	8.5	1924	4.0	1945	0.9	1947 2

彦根の月降水量の最大値

(1894~1965)

月(年) 順位	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
1 位	226.6	1922	186.9	1959	213.4	1903	230.5	1896	282.7	1963	481.6	1961	547.4	1903
2 位	204.9	1934	184.3	1940	182.4	1933	229.7	1946	261.6	1923	433.2	1905	501.6	1896
3 位	180.8	1918	178.9	1936	178.7	1945	227.6	1908	260.0	1913	398.4	1916	460.9	1953
4 位	178.8	1909	176.7	1915	176.6	1914	198.4	1900	238.0	1902	392.1	1954	443.5	1957
5 位	178.4	1928	175.1	1916	174.0	1956	194.5	1894	227.5	1965	388.5	1923	408.9	1965

月(年) 順位	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年月
	8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年	
1 位	422.8	1959	1018.8	1896	326.6	1945	198.1	1916	218.8	1922	1018.8	1896 9
2 位	356.6	1907	495.4	1921	313.2	1961	190.2	1937	197.2	1956	547.4	1903 7
3 位	303.7	1960	463.1	1959	277.3	1917	159.0	1948	195.9	1926	501.6	1896 7
4 位	284.2	1958	455.3	1965	275.7	1944	156.5	1929	175.8	1965	495.4	1921 9
5 位	279.1	1896	401.0	1917	250.3	1938	153.9	1932	170.5	1919	481.6	1961 6

彦根の月降水量の最小値

(1894~1965)

月(年) 順位	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日
	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月	
1 位	32.7	1932	36.1	1902	26.1	1962	57.8	1895	44.3	1940	34.6	1929	30.3	1942
2 位	62.8	1924	37.4	1960	57.5	1943	63.6	1953	52.6	1917	41.1	1944	34.7	1894
3 位	63.3	1916	57.0	1946	57.5	1924	66.8	1917	55.7	1939	64.6	1933	43.9	1913
4 位	66.7	1930	57.3	1962	57.8	1913	68.4	1941	58.9	1894	65.8	1959	46.4	1933
5 位	69.0	1895	57.4	1904	64.6	1916	71.2	1937	59.9	1919	74.4	1922	49.1	1924

月(年) 順位	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年日	極値	起年月
	8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		年	
1 位	1.9	1965	31.8	1940	29.0	1932	22.5	1947	44.0	1955	1.9	1965 8
2 位	9.6	1903	45.2	1922	37.0	1957	31.7	1962	44.3	1963	9.6	1903 8
3 位	28.3	1939	52.0	1905	48.8	1948	35.9	1899	45.4	1897	22.5	1947 11
4 位	32.5	1951	60.9	1962	53.2	1954	43.6	1943	46.9	1962	26.1	1962 3
5 位	35.4	1934	66.3	1901	56.9	1965	47.0	1906	47.5	1952	28.3	1939 8

長期間（20日以上）降水のなかった日（彦根）

邦 曆	西曆	期 間			左の期間中で降水のあった日及び量
		日数	自月日	至月日	
明治30	1897	22	7.23	8.13	8月 1日 0.0、2日 0.1、3日 0.0、6日 0.0、8日 0.0、11日 0.0
明治36	1903	33	8.1	9.2	8月 2日 1.1、4日 0.3、18日 6.9、20日 1.1、27日 0.2、31日 0.0 9月 1日 0.2
明治37	1904	32	7.29	8.29	7月 29日 0.0、30日 0.0、31日 0.0 8月 1日 0.2、17日 0.0、27日 0.7、29日 0.0
明治42	1909	47	7.14	8.29	7月 18日 0.3、21日 0.0、24日 0.0、28日 1.2、31日 0.1 8月 1日 1.8、2日 0.0、6日 0.0、7日 0.0、9日 0.0、15日 0.0 17日 0.0、18日 1.1、20日 1.6、27日 0.3、28日 0.4
明治45	1912	23	8.1	8.23	8月 1日 0.0、2日 0.0、3日 0.0、6日 0.7、7日 0.8、13日 3.2 14日 0.1、22日 2.0
大正2	1913	38	7.5	8.11	7月 6日 0.6、7日 0.0、19日 0.0、20日 0.0、21日 0.0、22日 0.0 8月 23日 3.5、30日 0.0、3日 0.0
" "	"	26	10.19	11.13	10月 19日 0.0、23日 0.5、28日 0.0、29日 0.0、30日 0.3、31日 1.5 11月 2日 0.0、3日 0.0、4日 0.0、5日 0.0、7日 6.4、8日 0.0 10日 5.0
大正6	1917	25	7.9	8.2	7月 10日 0.9、11日 0.1、17日 0.0、21日 0.3
大正7	1918	22	7.23	8.13	7月 24日 0.0、27日 0.0、8月 7日 0.0、8日 3.3、9日 0.2
大正11	1922	20	8.17	9.5	8月 23日 0.0、24日 4.4、25日 0.0、26日 0.0、28日 0.0 9月 2日 0.0、3日 0.2、4日 0.0
大正12	1923	30	7.26	8.24	8月 22日 0.2、24日 0.0
大正13	1924	46	7.5	8.19	7月 15日 4.2、16日 3.0、23日 2.9、24日 0.0、25日 0.0、26日 0.0 28日 1.4、29日 0.0 8月 1日 0.0、5日 0.1、6日 0.3、7日 0.0、15日 0.0、19日 0.0
昭和14	1939	32	8.7	9.7	8月 8日 0.0、9日 0.3、13日 3.7、14日 0.0、19日 0.3、23日 0.0 24日 0.0、27日 0.0、28日 0.0、29日 0.0、30日 0.0、31日 0.0 9月 7日 0.0
昭和20	1945	31	7.23	8.22	7月 26日 0.5、8月 2日 0.0、3日 0.0、17日 0.0、21日 0.0
昭和26	1951	32	7.18	8.18	7月 24日 0.5、8月 5日 0.0、6日 18.5、9日 0.0、13日 0.0

邦 曆	西曆	期 間			左の期間中で降水のあった日及び量
		日数	自月日	至月日	
昭和27	1952	25	8 . 7	8 . 31	8月 8日 0.0、13日 0.0、14日 0.0、20日 1.5、22日 0.3、23日 2.5 31日 0.0
昭和30	1955	24	7 . 27	8 . 19	8月 6日 9.7、7日 2.8、18日 0.0
昭和35	1960	24	7 . 11	8 . 3	7月 14日 0.2、15日 0.0、23日 0.0、24日 7.9、25日 0.0、29日 0.0 8月 30日 0.0、2日 0.0
昭和37	1962	28	9 . 5	10 . 2	8月 5日 0.0、6日 0.0、7日 0.0、8日 0.5、12日 0.0、14日 0.5 15日 0.7、17日 9.1、18日 0.0、23日 2.4、28日 4.1、29日 0.0
昭和38	1963	23	10 . 27	11 . 18	10月 11月 30日 0.4、2日 3.2、30日 0.0、6日 0.9、7日 0.1、8日 0.6 9日 0.3、11日 0.0、15日 5.2、18日 0.9
昭和39	1964	31	7 . 20	8 . 19	7月 8月 21日 0.3、22日 0.0、1日 0.0、2日 4.2、6日 0.0、
昭和40	1965	38	7 . 26	9 . 1	7月 8月 30日 0.7、6日 0.0、11日 1.4、13日 0.1、21日 0.0、22日 0.4 9月 24日 0.0、25日 0.0、1日 0.2
" "	"	25	9 . 19	10 . 13	9月 10月 22日 0.0、25日 0.1、28日 1.2、6日 (6.9)、12日 0.0

観測所別最高気温の極値 (各観測所創設～1964)

月 観測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
彦 根	17.2 1915 28	19.9 1962 11	24.5 1923 28	28.3 1922 28	30.7 1943 9	33.6 1956 20	36.5 1942 19	37.5 1942 2	35.7 1961 5	30.2 1961 3	23.9 1940 7	20.7 1936 17	37.5 1942 8.2
春 照	14.6 1937 5	18.0 1951 23	24.0 1945 31	28.9 1920 29	32.0 1920 7	32.5 1944 30	36.8 1924 28	36.3 1923 16	33.9 1922 5	28.0 1945 3	25.7 1923 1	20.9 1929 4	36.8 1924 7.28
木之本	16.0 1916・1916 8.22	18.8 1922 24	23.0 1923 28	26.2 1964・1928 22.30	30.5 1933 14	33.2 1915 19	35.2 1933 21	36.8 1930 23	35.5 1927 30	29.9 1961 3	25.5 1916 8	24.3 1929 14	36.8 1930 8.23
竹生島	13.6 1960 5	18.5 1962 10	19.8 1945 31	24.4 1964 22	28.6 1958 28	31.5 1950 24	33.7 1955 31	33.7 1954 17	34.4 1942 8	28.5 1961 3	23.2 1952 4	17.5 1961 2	34.4 1942 9.8
今 津	16.5 1940 5	17.9 1958 23	23.6 1954 28	29.5 1913 25	31.6 1958 31	33.8 1944 30	38.3 1914 29	37.8 1942 2	34.5 1952・1912 2	30.5 1946 3	24.5 1952 4	20.0 1929 14	38.3 1914 7.29
大 津	18.9 1937 6	20.8 1962 11	24.4 1923 29	30.5 1927 28	30.8 1938 27	34.0 1927 30	37.5 1942 19	38.8 1944 5	36.0 1909 1	30.5 1961 6	25.4 1923 1	18.5 1923 9	38.8 1944 8.5

月 観測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
多羅尾	18.4 1916 22	24.0 1962 11	25.3 1945 31	28.8 1922 28	31.0 1943 9	32.5 1950 23	37.2 1949 31	35.8 1942 2	36.5 1951 1	29.0 1927 1	24.5 1923 1	19.2 1929 14	37.2 1949 7.31
水口	17.8 1960 5	20.9 1930 24	26.0 1945 31	29.2 1964 22	32.0 1943 9	33.7 1944 30	39.0 1942 25	39.5 1942 4	36.1 1937 7	30.0 1962 3	26.2 1923 1	20.4 1929 14	39.5 1942 8.4
八幡	17.5 1960 5	21.1 1962 11	26.3 1930 26	29.3 1964 22	31.2 1958 31	34.0 1950・1963 24.26	37.5 1950 8	37.5 1942 2	35.6 1961 5	32.4 1961 3	24.0 1964・1940 1.7	18.8 1936 17	37.5 1942・1950 8.2, 7.8
政所	14.7 1937 5	16.5 1958・1954 23.28	22.4 1945 30	26.4 1941 17	30.0 1961 27	32.1 1963 21	34.7 1932 24	35.0 1952 25	32.5 1935・1947 8	28.2 1961 3	22.7 1940 7	18.2 1936 18	35.0 1952 8.25
吉槻	15.0 1937・1960 5	16.6 1958 23	21.2 1938 23	26.0 1963・1964 17.22	31.2 1962 22	32.0 1956・1963 20.22	34.6 1962 23	35.6 1960 2	33.6 1961 5	29.1 1962 3	24.0 1959 3	18.9 1936 19	35.6 1960 8.2
市場	16.3 1926 2	19.0 1922 24	22.5 1923 28	28.8 1922 28	29.7 1940 22	33.0 1944 30	36.2 1932 30	37.5 1924 9	36.0 1911 8	29.3 1961 5	24.0 1937 2	20.6 1929 16	37.5 1924 8.9
北小松	16.7 1940 5	21.2 1962 11	23.7 1960 31	25.6 1964・1964 18.22	29.7 1958 31	32.0 1933 30	35.2 1942 24	35.3 1964 13	33.0 1961 5	29.6 1961 6	23.7 1939 8	18.8 1932 2	35.3 1964 8.13
土山	17.2 1960 5	19.2 1962 11	22.7 1954・1960 20.30	27.7 1964 19	30.6 1962 22	34.3 1963 26	36.5 1956 31	36.2 1960 3	33.6 1958 6	30.3 1962 3	23.0 1952 3	17.3 1963 8	36.5 1956 7.31

注・上欄は気温(℃)、中欄は年、下欄は日を示す。

観測所別最低気温の極値

(各観測所創設～1964)

月 観測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
彦根	-11.3 1904 27	-8.9 1896 17	-7.6 1927 1	-21 1935 3	0.9 1929 6	6.9 1902・1906 1.3	12.8 1915 8	14.0 1956 20	8.3 1916 30	1.5 1936 24	-2.4 1899 24	-8.7 1947 21	-11.3 1904 1.27
春照	-13.9 1933 29	-13.7 1939 11	-10.2 1934 6	-6.1 1925 6	-0.9 1929 6	4.5 1921 4	12.6 1926 8	10.8 1929 30	6.3 1933 29	-1.6 1936 24	-4.5 1929 24	-9.3 1947 21	-13.9 1933 1.29
木之本	-13.4 1963 24	-13.7 1942 14	-10.5 1932 10	-5.8 1949 7	1.0 1926・1934 3.16	5.6 1921 4	10.5 1915 1	12.2 1956・1910 20.23	7.2 1960 29	-0.2 1928 31	-3.3 1921 27	-9.7 1956 30	-13.7 1942 2.14
竹生島	-8.0 1929 4	-7.6 1953 23	-4.1 1952・1952 1953 4.6.13	-2.6 1953 14	1.5 1953 3	8.1 1952 3	12.5 1952 5	14.1 1956 20	10.0 1928 26	3.1 1928 31	-1.7 1951 29	-8.6 1947 21	-8.6 1947 12.21
今津	-9.8 1940 27	-10.6 1910 2	-8.0 1926 23	-2.0 1913 10	0.0 1953 4	5.6 1926 14	12.0 1928 1	12.2 1913 23	8.5 1951 12	-1.5 1928 15	-1.8 1951 28	-8.4 1947 21	-10.6 1910 2.2

月 観測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
大津	-7.3 1928 3	-9.7 1947 4	-5.8 1918 4	-3.5 1912 2	0.0 1911 3.5.6	6.9 1924 4	11.0 1915 1	12.5 1913 23.30	10.0 1942 25	1.7 1947 31	-1.5 1913・1918 29.30	-7.9 1944 29.30	-9.7 1947 2.4
多羅尾	-12.5 1923 18	-13.0 1953 23	-13.0 1916・1936 6	-7.5 1951 25	-2.6 1919 11	2.0 1926・1950 2.4	6.0 1925 5	8.3 1916 30	0.0 1925 27	-2.6 1936 24	-8.2 1950 16	-12.0 1926 27	-13.0 1953・1916 1936 2.23.3.1 3.6.1
水口	-10.0 1956 11	-9.1 1918 19	-9.4 1915 17	-3.5 1957・1900 3.4	0.0 1948 30	2.2 1948 4	9.3 1909 4	12.0 1948 13	2.4 1948 28	1.2 1936 24	-4.5 1947 28	-8.7 1947 21	-10.0 1956 1.11
八幡	-10.1 1942 16	-8.1 1925 8	-5.5 1950 1	-1.8 1957 4	1.5 1949 3	5.6 1949 10	6.5 1949 8	7.8 1949 2	9.2 1941 22	2.1 1946 29	-2.5 1953 30	-7.5 1927 27	-10.1 1942 1.16
政所	-13.5 1939 11	-11.0 1945 14	-10.5 1936 6	-4.9 1937 1	-1.3 1934 3	5.0 1958 5	11.0 1951 4	12.2 1942 22	6.1 1933 29	-0.7 1936 24	-3.5 1958 29	-9.4 1947 21	-13.5 1939 1.11
吉槻	-13.6 1963 24	-10.6 1939 11	-10.2 1936 3	-4.4 1935 3	1.1 1958 6	4.8 1960 1	12.1 1939 1	11.0 1956 26	7.0 1950 30	-1.2 1936 24	-2.7 1937 23	-9.9 1956 30	-13.6 1963 2
市場	-14.3 1933 29	-12.5 1954 23	-11.4 1934 7	-4.2 1935 4	-0.7 1927・1934 3.7	2.4 1926 4	11.0 1951 3	13.5 1956・1942 1925 20.22 30	7.3 1946 30	0.0 1924 27	-3.5 1924 26	-12.0 1926 28	-14.3 1933 1.29
北小松	-6.2 1936 18	-6.3 1955 12	-6.1 1952 12	-2.8 1957 4	2.7 1957 4	7.0 1957 4	15.0 1932 4	13.2 1956 26.27	9.4 1945 26	3.0 1933 28	0.1 1956 17	-4.7 1956 25	-6.3 1955 2.12
土山	-10.5 1955 28	-8.0 1955 13	-7.1 1960 17	-4.0 1960・1963 3	0.8 1950 6	6.7 1958 5	13.0 1954 18	11.5 1956 20.26	7.8 1960 29	0.6 1958 28	-3.6 1950 29	-5.5 1956・1963 25 26・29	-10.5 1955 1.28

注・上欄は気温(℃)、中欄は年、下欄は日を示す。

観測所別日降水量最大順位 (各観測所創設～1965年)

観測所 順位	彦根	春照	木之本	竹生島	今津	大津	多羅尾	水口	八幡	政所	吉槻	市場	北小松	土山
1位	596.9 1896 9.7	272.1 1959 9.26	430.0 1896 9.7	171.7 1935 6.28	223.0 1896 9.7	206.3 1935 8.10	250.0 1953 8.12	270.6 1944 10.7	204.0 1903 7.8	365.4 1959 9.26	267.9 1959 8.12	406.0 1959 8.13	230.0 1949 7.29	330.9 1938 8.1
2位	195.8 1959 9.26	269.7 1959 8.13	197.3 1895 7.29	148.6 1917 9.30	170.0 1945 10.8	198.3 1903 7.8	187.8 1944 10.7	218.3 1896 9.8	198.2 1959 8.13	365.0 1953 9.25	211.9 1918 7.11	281.3 1953 9.25	229.5 1935 6.28	269.0 1961 10.27
3位	174.2 1965 9.17	231.4 1959 8.14	154.8 1935 6.28	148.0 1911 8.3	162.5 1911 8.3	166.4 1896 9.7	186.4 1925 8.16	211.2 1947 9.14	175.0 1953 9.25	341.0 1962 7.27	202.0 1958 8.25	248.0 1960 8.29	175.6 1938 8.1	259.0 1953 8.14
4位	167.7 1959 8.13	202.0 1958 8.25	154.5 1948 7.24	136.0 1947 9.14	162.0 1903 7.8	164.8 1895 6.26	158.3 1947 9.14	203.0 1959 8.13	164.0 1895 6.26	334.0 1944 10.7	190.7 1912 9.22	247.0 1961 10.27	153.5 1954 9.17	256.0 1962 7.27
5位	161.9 1896 9.8	175.2 1953 9.25	146.7 1920 6.27	123.8 1921 7.13	156.5 1952 7.10	164.0 1895 9.25	159.0 1965 9.17	191.0 1965 9.17	145.0 1959 9.26	301.4 1938 8.1	189.0 1965 9.17	245.0 1959 9.26	152.0 1952 7.10	253.7 1953 9.25

注・上欄は降水量(mm)、中欄は年、下欄は月日を示す。

観測所別最深積雪 (cm)

(各観測所創設～1965年)

月 観測所名	11	12	1	2	3	4	最深	
彦根	深さ・年日 3 1938 13	深さ・年日 57 1945 19	深さ・年日 93 1918 9	深さ・年日 85 1936 3	深さ・年日 27 1945 11	深さ・年日 1931・8 0 1958 1 1965・2	深さ・年日 93 1918 1.9	
春照	15 30	149 19	140 30	115 1	52 5	14 8	149 1922 12.19	
木之本	9 1938 13	95 1956 24	175 1936 24	190 1936 3	158 1936 2	32 1936 1	190 1936 2.3	
竹生島	0 1950 15	60 1926 26	87 1945 27	100 1945 7	30 1945 1	0 1955.4 1931.7 8.9	100 1945 2.7	
今津	0 1938・1950 13.15	80 1945・1926 19.27	220 1945 27.29	290 1945 5.6	200 1945 1	10 1958 1	290 1945 2.5	
大津	— —	27 1926 26	14 1921 14	41 1936 5	35 1957 15	— —	41 1936 2.5	
多羅尾	7 1938 13	26 1920 31	27 1917 24	41 1963 14	39 1963 13	5 1942 6	41 1936 2.14	
水口	0 1950・1951 14.28	26 1947 30	20 1961・1955 13.27	35 1940 9	16 1963 13	0 1931 7.8.9	35 1940 2.9	
八幡	3 1950 15	30 1922 12	49 1946 11	52 1940 9	25 1946 8	—	49 1946 1.11	
政所	12 1938 13	135 1922 13	150 1923 4	229 1940 10	130 1934 10	1 1955・1931 5.8	229 1940 2.10	
吉槻	31 1938 13	180 1922 20	210 1931 31	222 1936 3	153 1934 10	30 1936 1	222 1936 2.3	
市場	4 1938・1951 13.28	98 1926 27	140 1934 24	170 1940 9	142 1934 6	14 1931 8	170 1940 2.9	
北小松	0 1950 15	41 1926 26	88 1942 20	68 1940 9	40 1929 14.15	— —	88 1942 1.20	
土山	1 1950 15	49 1916 29	55 1918 5	65 1940 9	21 1957 15		65 1940 2.9	
月 観測所名	11	12	1	2	3	4	5	最深
中河内	深さ・年日 48 1951 29	深さ・年日 310 1917 31	深さ・年日 490 1936 31	深さ・年日 560 1936 14	深さ・年日 565 1936 2	深さ・年日 350 1936 1	深さ・年日 70 1936 1	深さ・年日 565 1936 3.2

觀測所年別最深積雪

彦根

年	月	前年		本年				年	月	前年		本年			
		11	12	1	2	3	4			11	12	1	2	3	4
明治39	1906	-	-	14 32	14 25	7 3	-	昭和3	1928	-	25.31 13	7 37	9 20	7 5	-
" 40	1907	-	24 15	12 30	2 25	19 2	-	" 4	1929	-	20 13	8 7	15 30	15 23	-
" 41	1908	-	30 25	2 4	6 30	13 20	-	" 5	1930	-	25 0	9 19	12 14	-	-
" 42	1909	-	-	2 15	22 35	26 0	-	" 6	1931	-	23 0	12 45	8 30	1 4	8 0
" 43	1910	-	25 22	18 2	21 32	4 20	-	" 7	1932	-	14 0	-	29 19	1 8	-
" 44	1911	-	11 13	12 3	18 2	-	-	" 8	1933	-	13 3	28 19	17 9	11 2	-
" 45	1912	-	29 6	17 10	19 0	-	-	" 9	1934	-	24 9	24 55	4 27	10 25	-
大正2	1913	-	29 0	31 23	11 26	2 10	-	" 10	1935	-	-	24.25 28	8 24	6 22	-
" 3	1914	-	19 10	4 32	10.11 0	-	-	" 11	1936	-	23 8	24 39	3 85	10 4	-
" 4	1915	-	-	15 15	7 15	15 7	-	" 12	1937	-	-	13 12	17 15	26 10	-
" 5	1916	-	19 40	17 10	15 27	24 12	-	" 13	1938	-	5.6 3	5 39	20 28	1 -	-
" 6	1917	-	28 12	30 55	3 83	6 9	-	" 14	1939	13 3	-	13 59	10 35	18 8	-
" 7	1918	-	30 38	9 93	1 37	-	-	" 15	1940	-	-	30 59	9 77	17 13	-
" 8	1919	-	10 5	20 17	5 15	-	-	" 16	1941	-	-	14 9	2 17	6 9	-
" 9	1920	-	23 5	22 5	12 28	6 10	-	" 17	1942	-	30 0	19 70	21 23	-	-
" 10	1921	-	31 3	14 10	18 37	15 10	-	" 18	1943	-	28 28	18 20	8 18	10 11	-
" 11	1922	-	25 0	21 80	1 43	-	-	" 19	1944	-	-	8 17	20 35	11 2	-
" 12	1923	-	20 39	3 80	28 25	1 16	-	" 20	1945	-	27 19	26 47	6 65	11 27	-
" 13	1924	-	30 18	1 8	17 28	14 3	-	" 21	1946	-	19 57	12 37	22 16	8 15	-
" 14	1925	-	13 11	31 16	2 35	17 16	-	" 22	1947	-	20 24	22 3	5 42	10 24	-
" 15	1926	-	19 22	25 60	1 25	27 12	-	" 23	1948	-	20.21 28	2 28	24 7	2 3	-
昭和2	1927	-	26 47	31 80	1 59	1 16	-	" 24	1949	-	-	17 18	16 8	1 3	-

年	月	前年		本年				年	月	前年	本年				
		11	12	1	2	3	4				11	12	1	2	3
昭和25	1950	-	27	7	28	1	-	昭和33	1958	-	-	25	14	30	1
			2	22	26	25						22	4	26	0
" 26	1951	-	25	22	5	5	-	" 34	1959	-	-	7	11	-	-
			5	14	21	6						18	15		
" 27	1952	-	16	26	6	24	-	" 35	1960	-	22	29	1	-	-
			1	19	78	1					3	49	22		
" 28	1953	-	29	14	3	-	-	" 36	1961	-	28.29	1	4	10	-
			1	50	50						0	9	16	5	
" 29	1954	-	13	31	3	-	-	" 37	1962	-	23.28.31	25	16	2	-
			1	23	20						0	21	24	0	
" 30	1955	-	31	21	21	-	-	" 38	1963	-	-	16	1	-	-
			1	16	30							44	18	0	
" 31	1956	-	17	16	12	9	-	" 39	1964	-	28	20	13	27	-
			2	37	48	5					6	9	20	0	
" 32	1957	-	16	8	28	1	-	" 40	1965	-	-	11	26	1	2
			20	15	18	15						2	35	6	0

注・上欄日、下欄積雪 (cm) を示す。以下同じ。

木 之 本

年	月	前年		本年				年	月	前年	本年				
		11	12	1	2	3	4				11	12	1	2	3
大正1	1912	-	22	欠	19	19	-	大正13	1924	-	欠	欠	欠	15	-
			12		5	3								21	
" 2	1913	-	欠	欠	欠	欠	-	" 14	1925	-	13	19	26	2	-
											12	24	46	25	
" 3	1914	-	24	4	27	15.16.27	-	" 15	1926	-	25	25	1	27	-
			11	18	3	0					53	91	68	53	
" 4	1915	-	24	15.16.17	7	14.15	-	昭和2	1927	-	25	25	13	1	-
			11	4	6	1					58	168	170	110	
" 5	1916	-	-	17.18	13	17	-	" 3	1928	-	25	7	19	7	-
				2	15	15					27	75	35	1	
" 6	1917	-	29	11	3	2.6	-	" 4	1929	-	22	8	15	5	-
			18	123	125	21					67	35	91	20	
" 7	1918	-	31	9.21	1	1	-	" 5	1930	-	23	9	12	-	-
			92	103	85	11					0	40	10		
" 8	1919	-	10	23	11.12	-	-	" 6	1931	-	23	15	10	24	8
			11	61	6						3	54	30	0	6
" 9	1920	-	11.17.18	22.23	12	6.7	-	" 7	1932	-	14	9	17.18	17	-
			19.29	15	15	0					53	11	31	24	
" 10	1921	-	23.31	31	23	15	-	" 8	1933	-	13	28	1	8	-
			2	21	39	9					15	60	80	30	
" 11	1922	-	27.31	23	1.2	21	-	" 9	1934	-	24	27	5	10	-
			6	121	68	4					50	170	130	125	
" 12	1923	-	欠	欠	欠	欠	-	" 10	1935	-	-	26	1	6	-
												101	54	22	

年	月	前 年		本 年				年	月	前 年		本 年			
		11	12	1	2	3	4			11	12	1	2	3	4
昭和11	1936	-	13 40	24 175	3 190	2 158	1 32	昭和26	1951	15 3	31 2	23 36	5 7	5 4	-
" 12	1937	-	-	13 35	16 63	26 11	-	" 27	1952	27 4	16 21	26 9	6 32	4 0	-
" 13	1938	-	28 56	9 94	20 65	1 19	-	" 28	1953	-	29 4	16 109	9 96	1 23	-
" 14	1939	13 9	31 74	13 83	9 90	19 13	-	" 29	1954	-	31 0	31 53	3 97	-	-
" 15	1940	26.27 0	13 12	31 134	1 132	1 47	-	" 30	1955	-	27.28.30 0	7 36	22 48	-	-
" 16	1941	-	20 1	26 31	3 31	5 9	-	" 31	1956	-	18 6	30 35	12 54	2 4	-
" 17	1942	-	-	19 110	17 63	1 4	-	" 32	1957	30 0	24 95	1 45	13 25	13 10	3 0
" 18	1943	-	28 27	31 47	1 51	10 6	-	" 33	1958	-	30.31 1	25 71	14 19	30 29	1 6
" 19	1944	-	-	16 20	20 39	-	-	" 34	1959	-	10 0	20 64	1 14	14 3	-
" 20	1945	-	21 32	27 145	11 141	1 103	-	" 35	1960	-	22 3	29 102	1 47	16 2	-
" 21	1946	-	19.20 36	18 56	22 10	9 14	-	" 36	1961	-	29 9	2 26	18 43	10 1	-
" 22	1947	-	29 44	1 18	20 105	4 55	-	" 37	1962	-	23 15	31 61	1 58	17 15	-
" 23	1948	-	20 45	3 84	1 30	2 2	-	" 38	1963	-	-	31 101	1 98	1 35	-
" 24	1949	-	-	17 49	8 38	19 3	-	" 39	1964	-	28 15	21 10	14 33	-	-
" 25	1950	-	30 44	7 28	6 37	14 23	-	" 40	1965	-	3 6	16 20	27 60	1 22	-

今 津

年	月	前 年		本 年				年	月	前 年		本 年			
		11	12	1	2	3	4			11	12	1	2	3	4
大正 3	1914	-	欠	欠	欠	欠	-	大正 8	1919	-	-	欠	欠	欠	-
" 4	1915	-	欠	14 14	6 17	14 8	-	" 9	1920	-	22 7	23 16	13 35	6 9	-
" 5	1916	-	17 32	欠	14 30	欠	-	" 10	1921	-	28.29 3	14 9	7 47	5 14	-
" 6	1917	-	欠	欠	欠	欠	-	" 11	1922	-	25 9	23 147	1 88	-	-
" 7	1918	-	31 73	9 86	1 73	1 6	-	" 12	1923	-	20 44	4 58	5 20	1 5	-

年	月	前 年		本 年				年	月	前 年	本 年				
		11	12	1	2	3	4				11	12	1	2	3
大正13	1924	-	欠	9 14	24 36	欠	-	昭和20	1945	-	17 35	27 220	5.6 290	1 200	-
" 14	1925	-	12 7	31 15	25 26	17 12	-	" 21	1946	-	19 80	^{12.13.18} 80	3 40	7 20	-
" 15	1926	-	19 25	25.26 100	17 80	27 23	-	" 22	1947	-	20 30	3 20	22 170	10 75	-
昭和 2	1927	-	27 80	31 101	1 85	1 37	-	" 23	1948	-	29.30 45	18 24	24 10	-	-
" 3	1928	-	24 31	13 68	19 45	7 1	-	" 24	1949	-	-	17 30	17 35	19 10	-
" 4	1929	-	21 30	8 27	14 65	15 22	-	" 25	1950	-	30 40	^{1.7} 24.25 20	5 25	-	-
" 5	1930	-	欠	9 60	11 25	11 1	-	" 26	1951	15 0	25 2	22 32	5 23	5 6	-
" 6	1931	-	23 1	12 62	9 42	1 8	^{7.8.9} 0	" 27	1952	-	16.17 8	26 26	6 64	4 3	-
" 7	1932	-	13.14 1	欠	29 62	1 38	-	" 28	1953	-	29 5	15 79	3 110	1 5	-
" 8	1933	-	13 5	28 75	4 50	9.13 10	-	" 29	1954	-	31 22	30 45	3 49	13 8	-
" 9	1934	-	25 10	24 130	3 81	6 74	-	" 30	1955	-	28 14	7 73	22 47	-	-
" 10	1935	-	-	25 60	8 39	6 21	-	" 31	1956	-	18 13	16 38	12 55	10 23	-
" 11	1936	-	12 15	23 70	3 130	10 67	-	" 32	1957	-	24 58	8 31	1 25	1.15 20	-
" 12	1937	-	-	14.15 18	16 38	26 20	-	" 33	1958	-	-	25 34	28 11	30 40	1 10
" 13	1938	-	6 30	9 60	21 50	1 8	-	" 34	1959	-	10 0	8 46	1 16	14 10	-
" 14	1939	13 0	27.29 4	14 75	9.10 65	19 15	-	" 35	1960	-	21 8	29 70	1 27	24.25 0	-
" 15	1940	-	19 4	30 125	9.10 140	1 72	-	" 36	1961	-	29 10	13 37	18 29	10 7	-
" 16	1941	-	-	27 20	2 26	5 16	-	" 37	1962	-	28 8	28 47	17 45	-	-
" 17	1942	-	-	19.20 90	21 70	1 9	-	" 38	1963	-	-	16 68	2 95	1 27	-
" 18	1943	-	28 23	^{9.18} 22	1 30	10 6	-	" 39	1964	-	28 8	21 18	13.14 40	1 0	-
" 19	1944	-	-	9 30	20 60	1 5	-	" 40	1965	-	12 3	10 15	27 46	1.10 12	2 4

大 津

年	月	前 年		本 年				年	月	前 年		本 年			
		11	12	1	2	3	4			11	12	1	2	3	4
大正10	1921	-	31 20	14 14	4 6	15 9	-	昭和19	1944	-	-	7 3	2 3	-	-
" 11	1922	-	25 1	14.15 8	-	-	-	" 20	1945	-	-	19 0	1 6	-	-
" 12	1923	-	12 3	10 12	28 3	-	-	" 21	1946	-	18.22 2	1.5.10 1	2 2	10 10	-
" 13	1924	-	1 0	23 6	24 0	-	-	" 22	1947	-	-	2.3 5	14 15	-	-
" 14	1925	-	13 8	-	3.28 4	-	-	" 23	1948	-	29.30 3	27 3	11 0	-	-
" 15	1926	-	-	10 9	1 3	20 5	-	" 24	1949	-	-	26 1	8 5	1.7 8.19 0	-
昭和 2	1927	-	26 27	29 6	26 1	-	-	" 25	1950	-	27 3	7 4	28 6	21 0	-
" 3	1928	-	24 7	30 8	1 5	7 2	-	" 26	1951	15 0	24 0	14 3	4 7	23 0	-
" 4	1929	-	-	2 6	2.3 0	12 25 0	-	" 27	1952	-	-	8 3	8 6	-	-
" 5	1930	-	-	9 1	11.12 0	-	-	" 28	1953	-	-	8 3	22 20	-	-
" 6	1931	-	-	27.29 0	10 13	1 0	-	" 29	1954	-	31 2	1 4	22 3	-	-
" 7	1932	-	-	-	23 6	11 3	-	" 30	1955	-	27 1	7 7	11.21 0	-	-
" 8	1933	-	13 1	6 10	17 9	11 10	-	" 31	1956	-	17 2	15 2	12 10	-	-
" 9	1934	-	-	20 12	15 7	-	-	" 32	1957	-	14.15.16 0	7 2	28 1	15 35	-
" 10	1935	-	-	-	7 4	-	-	" 33	1958	-	-	3 2	14.25.28 0	7 4	-
" 11	1936	-	19 5	-	5 41	10 6	-	" 34	1959	-	10 0	8.14.31 0	10.11 0	13 0	-
" 12	1937	-	-	13.28 0	16 0	-	-	" 35	1960	-	22 0	24.25.29 0	12.15 0	16.17 0	-
" 13	1938	-	-	31 6	2 2	-	-	" 36	1961	-	-	19 2	6 0	-	-
" 14	1939	-	-	12 5	12 0	-	-	" 37	1962	-	-	24 10	27 1	-	-
" 15	1940	-	-	10.30 2	7 15	22 4	-	" 38	1963	-	-	8.23 6	9 7	13 2	-
" 16	1941	-	-	-	10 13	-	-	" 39	1964	-	-	20 1	12.13 14.25 0	-	-
" 17	1942	-	-	13 7	21 8	-	-	" 40	1965	-	-	25 2	-	-	-
" 18	1943	-	-	31 10	1 10	10 0	-								

八 幡

年 月		前 年		本 年				年 月		前 年		本 年			
		11	12	1	2	3	4			11	12	1	2	3	4
大正元	1912	-	^{22.25.29} 0	17 11	19 12	14.19 0	-	昭和10	1935	-	-	24 15	8 22	6 12	-
" 2	1913	-	欠	欠	欠	欠	-	" 11	1936	-	19 7	欠	5 15	5 17	-
" 3	1914	-	19 19	4.31 7	3.9 6	欠	-	" 12	1937	-	-	13 10	16.17 0	26 0	-
" 4	1915	-	欠	15 5	6 2	15 8	-	" 13	1938	-	-	9 25	2 13	-	-
" 5	1916	-	19 27	14 15	10 29	18.19 0	-	" 14	1939	-	-	13 44	9 20	18 3	-
" 6	1917	-	28 13	25 17	14 14	-	-	" 15	1940	-	-	11 15	9 52	22 5	-
" 7	1918	-	-	8 23	19 17	2 5	-	" 16	1941	-	-	21 5	10 9	5 5	-
" 8	1919	-	^{8.10.11} 0	^{2.13.31} 0	5 15	-	-	" 17	1942	-	-	20 45	1.13 2	-	-
" 9	1920	-	22 5	23 17	5.12 2	6 0	-	" 18	1943	-	29 4	18 15	1 9	10 3	-
" 10	1921	-	28.31 1	14 9	6 18	15 2	-	" 19	1944	-	-	19 14	1 17	25 2	-
" 11	1922	-	25 16	31 24	1 15	25 4	-	" 20	1945	-	17 23	8.29 13	4 35	18 5	-
" 12	1923	-	12 30	17 45	28 12	6 0	-	" 21	1946	-	13 0	11 49	22 8	8 25	-
" 13	1924	-	-	24 11	24 24	14 7	-	" 22	1947	-	20 13	22 1	5 25	10 7	-
" 14	1925	-	13 3	30 8	3 20	8 1	-	" 23	1948	-	30 20	27 4	24 3	-	-
" 15	1926	-	19 9	4 13	1 10	27 2	-	" 24	1949	-	欠	欠	欠	欠	-
昭和2	1927	-	25 24	30 25	^{1.2} ^{5.6} 0	^{2.6} ^{11.13} 0	-	" 25	1950	-	欠	欠	欠	欠	-
" 3	1928	-	24 3	8 8	18 19	7 6	-	" 26	1951	15 3	28 7	14 7	5 18	-	-
" 4	1929	-	21 1	3 31	2 13	14 20	-	" 27	1952	-	-	9 12	6 27	24 0	-
" 5	1930	-	-	9 21	12 31	11 1	-	" 28	1953	-	29 0	8.23 5	22 10	-	-
" 6	1931	-	23 5	12 5	10 10	1 5	-	" 29	1954	-	-	1 5	1.22 10	-	-
" 7	1932	-	-	-	21 5	9 6	-	" 30	1955	-	-	11 20	21 1	-	-
" 8	1933	-	13 0	13 14	19 20	14 10	-	" 31	1956	-	18 10	15 12	12 26	9 2	-
" 9	1934	-	-	23 45	20 15	10 7	-	" 32	1957	-	16 5	8 8	3 1	13 16	-

年	月	前年		本年				年	月	前年		本年			
		11	12	1	2	3	4			11	12	1	2	3	4
昭和33	1958	-	-	5 7	14 7	29 5	-	昭和37	1962	-	31 0	25 17	1 7	-	-
" 34	1959	-	-	8.31 4	11 8	13 8	-	" 38	1963	-	-	14 11	4 17	9 0	-
" 35	1960	-	22 1	25 20	15 8	16 1	-	" 39	1964	-	-	20 13	13 8	1.14 0.18	-
" 36	1961	-	-	13 18	13 7	9 4	-	" 40	1965	-	-	10 6	26 9	5 3	-

北 小 松

年	月	前年		本年				年	月	前年		本年			
		11	12	1	2	3	4			11	12	1	2	3	4
大正1	1912	-	-	16 18	19 11	-	-	昭和2	1927	-	25.26 41	30 54	1 35	欠	-
" 2	1913	-	欠	欠	欠	欠	-	" 3	1928	-	25 12	8 11	20 33	7 5	-
" 3	1914	-	19 24	1 15	欠	欠	-	" 4	1929	-	19 5	3 29	14 26	14.15 40	-
" 4	1915	-	欠	15 15	6 18	欠	-	" 5	1930	-	欠	9 30	12.13 50	11 0	-
" 5	1916	-	-	6 15	13 24	24 6	-	" 6	1931	-	23 8	12 26	8 14	2 7	-
" 6	1917	-	28 18	25 30	3 21	1.16 6	-	" 7	1932	-	-	-	18 17	9 12	-
" 7	1918	-	30 9	9 71	1 21	1 2	-	" 8	1933	-	13 3	15 25	19 29	14 6	-
" 8	1919	-	9 5	5 15	4 15	26.31 0	-	" 9	1934	-	-	23 80	1 35	6 13	-
" 9	1920	-	22.23 6	23 25	12 24	7 15	-	" 10	1935	-	-	24 18	7 25	7 16	-
" 10	1921	-	28.31 9	9.15 7	7 27	4 5	-	" 11	1936	-	19 14	23 32	5 25	5 11	-
" 11	1922	-	25 20	31 46	1 29	25 4	-	" 12	1937	-	-	13 15	16 9	18.26 1	-
" 12	1923	-	13 21	3 44	5 27	1 2	-	" 13	1938	-	-	15 30	2 19	-	-
" 13	1924	-	1 0	24 10	24 42	14 24	-	" 14	1939	-	-	13 52	9 20	18 5	-
" 14	1925	-	13 11	18 16	3 35	8 5	-	" 15	1940	-	11.19 1	21 20	9 68	23 4	-
" 15	1926	-	19 11	25 16	1 17	27 1	-	" 16	1941	-	-	21 8	2 10	5 11	-

年	月	前年		本年				月	前年	本年					
		11	12	1	2	3	4			年	11	12	1	2	3
昭和17	1942	-	-	20	20	欠	-	昭和29	1954	-	31	26.31	22	-	-
" 18	1943	-	28	18	8	10	-	" 30	1955	-	13	10	10	-	-
" 19	1944	-	30	37	22	10	-	" 31	1956	-	28	7	12	-	-
" 20	1945	-	4	31	2	12.21.24	-	" 32	1957	-	4	48	29	-	-
" 21	1946	-	0	20	25	0	-	" 33	1958	-	17	16	13.19.25	10	-
" 22	1947	-	17	29	4	11	-	" 34	1959	-	16	16	5	16	-
" 23	1948	-	31	35	59	25	-	" 35	1960	-	22	8	28	13	-
" 24	1949	-	19	11	3	7	-	" 36	1961	-	9	28	25	29	-
" 25	1950	-	19	58	30	16	-	" 37	1962	-	-	4	15	30	-
" 26	1951	-	20	3	12	10	-	" 38	1963	-	-	21	10	16	-
" 27	1952	-	12	14	13	25	-	" 39	1964	-	-	20	1	14	-
" 28	1953	-	20	17	7.9	-	-	" 40	1965	-	-	45	30	11	-
		-	20	12	5	-	-			-	2	22	25	16	-
		-	欠	27	欠	欠	-			-	-	2	43	10	-
		-	欠	1	欠	欠	-			-	-	12	2	9	-
		-	欠	欠	欠	欠	-			-	-	28	1	-	-
		-	25	14	4	12	-			-	-	41	36	-	-
		-	3	19	18	1	-			-	-	14	4	5	-
		-	-	12	4	11	-			-	-	16	10	0	-
		-	-	28	52	4	-			-	-	20	13	-	-
		-	28	29	1	-	-			-	-	10.11	26	27	-
		-	.2	40	23	-	-			-	-	13	35	18	-

彦 根 の 季 節 表

		30年間の統計		70年間の統計	
		(1931年秋～1960年)		(創立(1893)～1960年)	
霜	初日	平均	11月11日	11月10日	
		最早	1936年10月24日	1926年10月21日	
結	終日	平均	4月21日	4月22日	
		最晩	1949年5月4日	1908年5月16日	
氷	初日	平均	11月25日	11月24日	(1903年～1960年)
		最早	1932年11月9日	1913年11月4日	
雪	終日	平均	4月9日	4月10日	(1925年～1960年)
		最晩	1934年5月3日	1934年5月3日	
雪	初日	平均	12月8日	12月7日	
		最早	1938年11月12日	1904年11月6日	
雪	終日	平均	3月24日	3月23日	
		最晩	1947年4月22日	1947年4月22日	

あ　と　が　き

- ◎ 収録した資料の中には、多少疑義あるものも見受けられたが、充分な考証、論議を果し得ず、未完のまま採録した。また、資料収集の不足、編集の不馴れ等から誤記の点があるかも知れません。
- ◎ 編集にあたり、多くの関係者から資料の提供や助言を戴いたこと、特に県立図書館、溝田義道氏にいろいろと御教示に預ったことを感謝します。
- ◎ 本誌の編さんは、主として県消防防災課員および彦根地方気象台防災業務課員（主担当者・防災気象官 田沢清一）があたった。
- ◎ 用いた主な書名

日本気象史料	中央気象台 海洋気象台	近江栗太郡志	
日本気象史料総覧	中央気象台	近江蒲生郡志	
日本気象災害年表	気象庁編	近江愛知郡志	
気象要覧	中央気象台 気象庁	東浅井郡志	
日本旱魃：霖雨史料	荒川秀俊 大隅和雄 田村勝正	高島郡誌	
増訂大日本地震史料	文部省震災予防 評議委員会	新大津市史	
日本地震史料	武者金吉	彦根市史 彦根百年譜稿	彦根市史編さん 事務局
震災予防調査会報告	震災予防調査会	彦根市史稿	中川泉三
本邦被害地震表(案)	気象庁	懐郷坐談	平田好
地震観測法	中央気象台	わが国の災害誌	社団法人全国 防災協会
琵琶湖付近における 地震帯の調査	彦根測候所長技師 筒井百平	琵琶湖治水沿革誌	琵琶湖治水会
日本及び隣接地域 大地震年表	財団法人震災 予防協会	淀川水系水文資料	近畿地方建設局
中央気象台地震報告	中央気象台	滋賀県統計全書 滋賀県統計書	滋賀県
験震時報	中央気象台 気象庁	滋賀県消防年報	滋賀県
近世気象災害志	荒川秀俊	災害統計	建設省河川局
大震火災対策の研究	消防庁	農地災害統計 農業用施設	農林省農地局
滋賀県気象月報	彦根地方気象台	暦に関する資料総覧	佐藤敬治
異常気象報告	彦根地方気象台	三正総覧	内務省地理局
気象調査報告	彦根地方気象台		
滋賀県史			

滋賀県災害誌

昭和41年3月刊行

編 集	滋賀県総務部消防防災課 彦根地方气象台
発 行	滋 賀 県
印 刷	大津紙業写真印刷株式会社